

2021

# 消防年報

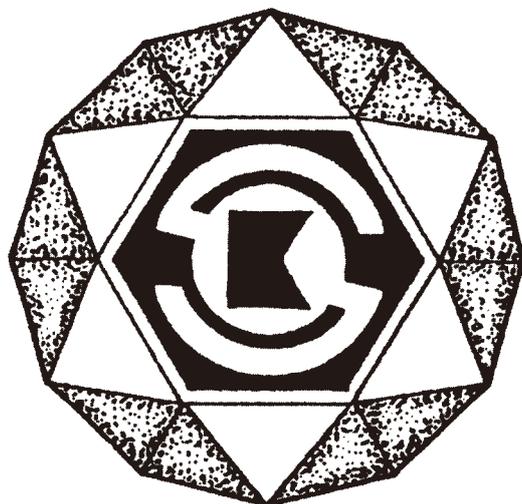
大曲仙北広域市町村圏組合

消 防 本 部



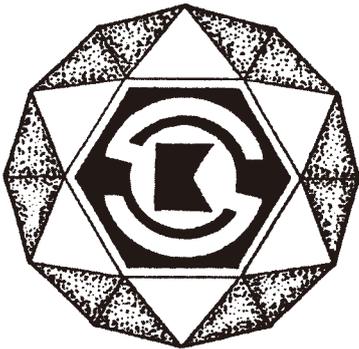


# 奉仕の実践



大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

## 大曲仙北広域市町村圏組合消防本部章



大曲仙北広域の「O」「S」「K」をデザイン化したもので、広域消防のシンボルマーク「K」を中央の基点とし、消防章を一つのこまになぞらえ、外周の円は団結を表し、広域をつつみ、守ることを意味している。

(昭和 54 年 6 月 13 日制定)

# はじめに

大曲仙北広域消防は、昭和47年の発足以来49年が経過しました。この間、各構成市町をはじめ関係各位の多大なるご支援とご協力を賜り、地域社会に密着した防災機関として、着実な発展と充実を遂げてまいりました。

昨今の社会情勢を見ますと、災害の大規模化や住民ニーズの多様化など、消防行政を取り巻く環境は大きく変化しており、また近隣諸国の緊張した国際情勢と国民保護法の制定などを鑑みても、地域における消防の役割はますますその重要性を増してきております。

当広域消防はこのような変化に的確に対応し、圏民生活の「安全と安心」を実現するため、国・県・市町・警察・消防団等、関係機関との連携を深め、総合的な防災協力体制を確立する一方、最新装備の導入と合わせて、より専門的で高度な教育訓練を実施しております。

また、市町村合併による行政のスリム化にならない、消防体制の基盤強化と人員配置の効率化を目指して、分署所の統合を推進するなど、将来を見据えた消防力の自主再編統合を図ってまいりました。また、高機能消防指令センターの更新により、新たに障がい者向けの通報システム「NET119」の導入や、インバウンドの対応のため多言語通訳システムを導入するなど、さらなる消防力の強化・充実に向けて整備を進めております。

今後も職員一丸となり、圏民の信頼と期待に応えるべく、消防防災という崇高な使命の達成に向けて勇往邁進する所存であります。

この年報は、令和2年中の統計及び令和3年4月1日をもって集計した当広域消防の消防実態を収録したものであり、災害や消防活動の現状を広く一般に紹介することで、より一層のご理解とご協力を賜りたく作成したものであります。幅広くご活用いただければ幸いです。

令和3年4月1日

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部  
消防長 佐藤 広樹

# 目 次

## 管内概況

1. 一目統計	1
2. 広域圏の概要	2
3. 大曲仙北広域市町村圏組合構成市町	3
4. 管内状況	4
5. 管内図	4
6. 広域消防の沿革	5
7. 広域消防のあゆみ	6

## 総務関係

1. 消防組織図	14
2. 消防本部事務分掌	15
3. 消防署事務分掌	18
4. 消防庁舎の現況	20
5. 令和3年度消防費（当初予算）	21
6. 最近5年間の構成市町消防費負担金（当初予算）	22
7. 令和3年度構成市町総予算額に対する消防予算額（当初予算）	22
8. 職員配置状況	23
9. 職員階級別年齢表	24
10. 職員勤続年数表	24
11. 消防職員意見発表会出場者	25

## 警防関係

1. 消防車両及び無線局配置状況	26
2. 現有車両明細	27
3. 火災出動区分	29
4. 消防・救助用特殊資機材一覧表	31
5. 職員の免許等取得状況	32
6. 職員教養訓練実施状況	33
7. 消防水利の状況	34
8. 緊急消防援助隊	35
9. 緊急消防援助隊合同訓練への参加状況	37
10. 消防相互応援協定等の締結状況	38

## 予防関係

1. 市町別中高層建築物	39
2. 防火対象物一覧表並びに立入検査状況	40
3. 防火対象物階数別一覧表	41
4. 用途別建築同意件数	42
5. 火災予防条例に基づく各種届出	43
6. 市町別危険物施設一覧	44

7. 数量別危険物施設	45
8. 容量別屋外タンク貯蔵所	46
9. 類別危険物施設	46
10. 危険物許認可等調べ	47
11. 火災予防組合結成調べ	47

## ☆ 火災統計

1. 令和2年の火災概要	48
2. 損害及びり災状況	48
3. 地域別火災発生状況	49
4. 月別・曜日別・時間別火災発生状況	50
5. 死傷者の状況	52
6. 原因別火災発生状況	52
7. 住宅火災の出火箇所と主な原因	53
8. 地域別火災発生状況	54
9. 月別火災発生状況	56
10. 最近5カ年間の火災発生状況	58

## 救急救助関係

1. 救急出勤件数とその内容	59
2. 救急搬送人員とその内容	61
3. 搬送先病院と現場到着・病院到着所要時間	63
4. 高度救命処置	64
5. 救命講習	64
6. CPA蘇生状況	65
7. 地域別救急出動状況	66
8. 月別救急出動状況	67
9. 曜日別救急出動状況	68
10. 救急隊の行った応急処置	69
11. 事故種別救助出動件数・救助人員数	70
12. 全国救助大会出場者一覧	71

## 通信指令関係

1. 消防無線局設置状況	73
2. 119番受信件数	76
3. 高機能消防指令センター（II型）機器構成	78
4. 通信網図	80

## 消防団関係

1. 消防団員数・機械等配置状況	81
2. 正副団長・支団長名簿	82
3. 消防団員等報酬調べ	83
4. 過去消防訓練大会成績一覧表	84

☆ 災害記録	86
--------	----

# 一 目 統 計

## 管内状況

構成市町	2市1町
管轄面積	2,128.67km <sup>2</sup>
管轄人口	122,539人
管轄世帯数	48,627世帯

## 火 災

火災件数	43件
損害額	11,127万5千円
焼損面積	2,340m <sup>2</sup>

## 消防機関

1本部 2署 8分署	
消防職員	
職員数	291名
平均年齢(再任用11名除く)	36.0歳

## 救 急

救急件数	5,189件
搬送人員	4,925人
普通救命講習修了者	50,941名
<small>(令和2年末時点)</small>	

## 消防車両

車両台数	50台
消防ポンプ車	16台
はしご車	2台
化学車	1台
救助工作車	2台
救急車	12台
指揮車	3台
資機材搬送車	2台
広報連絡車等	12台

## 救 助

救助件数	78件
救助人員	23人

## 予 防

防火対象物数	6,103施設
危険物施設数	896施設

## 無 線

デジタル無線局数	135局
基地局	7局
車載陸上移動局	50局
携帯陸上移動局	67局
可搬型移動局	1局
卓上型移動局	10局

## 消 防 団

団員数(実員)計	1,903名
大仙市消防団	1,051名
仙北市消防団	509名
美郷町消防団	343名

# 広域圏の概要

本広域圏は秋田県のほぼ中央部、奥羽山脈と出羽丘陵に囲まれたところに位置しており、雄物川・玉川の二大河川から恵みを受けた仙北平野は県下有数の穀倉地帯となっている。

広域圏の中心である大仙市大曲は、藩政時代から雄物川水運による交易の地として栄え、近代以降もその地の利を生かし、商業によって発展してきた。平成9年3月22日秋田新幹線開通、同年7月23日秋田自動車道全線開通によって、今も交通の結節点としての役割を受け継ぎ、秋田県の高速度交通化時代の表玄関として重要な位置を占めている。毎年8月に開催される「全国花火競技大会」は大曲の代名詞として知られ、全国から集う一流花火師たちの競演が70万人の大観衆を魅了する。

広域圏の北東部に位置する仙北市は、多くの観光資源に恵まれた東北屈指の観光地である。中世末期に芦名氏によって町の原型が造られ、その後佐竹北家の城下町として発展した角館は「みちのくの小京都」として名高く、枝垂れ桜に彩られた武家屋敷群と桧木内川堤の桜並木の美しさに、毎年たくさんの観光客が訪れる。日本最深423.4メートルを誇る田沢湖の周囲には、すぐれた効能と豊富な湯量で全国に知れ渡る名湯、玉川温泉・乳頭温泉郷があり、駒ヶ岳山麓のスキー場は良質な雪質と多様なコース、田沢湖を眼下に滑り降りる眺望の良さで人気を博している。

広域圏南東部にある美郷町は、雪深い奥羽山脈を水源とする発達した扇状地にあり、小河川や湧水群などの農業用水と豊富な土壌に恵まれていたことから、県内有数の穀倉地帯として発展してきた。全国名水百選に選定された六郷湧水群、ラベンダー園の花々、六郷・千畑・仙南の各地区にある温泉施設などが訪れる人を癒やし、和ませる。

昭和46年、大曲仙北広域市町村圏組合は1市8町5村の構成により発足、当時の人口は約17万人であった。

いわゆる「平成の大合併」にともない、平成16年11月1日に千畑町・六郷町・仙南村が合併して美郷町、翌平成17年3月22日に大曲市・神岡町・西仙北町・中仙町・協和町・南外村・仙北町・太田町の8市町村が合併して大仙市、同年9月20日に角館町・田沢湖町・西木村が合併して仙北市となり、新たなスタートを切った。これにより構成市町は大仙市・仙北市・美郷町の2市1町となった。

令和3年4月1日現在の人口は122,539人である。

# 大曲仙北広域市町村圏組合 構成市町

## 大 仙 市



大仙市は平成17年3月22日、大曲市・神岡町・西仙北町・中仙町・協和町・南外村・仙北町・太田町の8市町村が合併して誕生しました。

古くから県南の交通の要衝であったことから、現在でも秋田新幹線や秋田自動車道等、陸路・鉄道の結節点として拠点機能の強化が図られ、県の8地方の一つである仙北地方の中心として国や県の様々な機関が設置されています。

市章は未来（あす）に向って力強く羽ばたく鵬（おおとり）のイメージを大仙市のイニシャル「D」の文字にアレンジしたもので、背中の円は夢と希望に満ちた同市の活力と発展を象徴しています。

## 仙 北 市



仙北市は平成17年9月20日、角館町・田沢湖町・西木村の3町村が合併して誕生しました。

奥羽山脈の山々に抱かれた仙北市は、秋田県全体の9.4%を占める広大な面積を有しており、その約8割が森林地帯となっている自然豊かな地域です。角館の武家屋敷と桜並木、水深日本一の田沢湖、西木の小正月行事「紙風船上げ」には毎年多くの観光客が訪れています。

市章は「仙北市」の頭文字「S」を抽象化したもので、3町村の集結と新市の発展・広がり象徴するとともに、光の3原色がはためく表現から「観光」と「躍動」を表しています。

## 美 郷 町



美郷町は平成16年11月1日、千畑町・六郷町・仙南村の3町村が合併して誕生しました。

奥羽山脈を源流部とする発達した扇状地は、豊かな土壌に恵まれた県内有数の穀倉地帯を形成しています。貴重な高山植物群落が見られる真昼岳の県立自然公園、2万株が咲き誇る千畑ラベンダー園、全国名水百選の一つである六郷湧水群、後三年の役に関する史跡など、いたるところに自然と文化の魅力が満ちあふれています。

町章はひらがなの「み」を抽象化し、「希望」「飛躍」「親睦」を表現しています。

# 管内状況

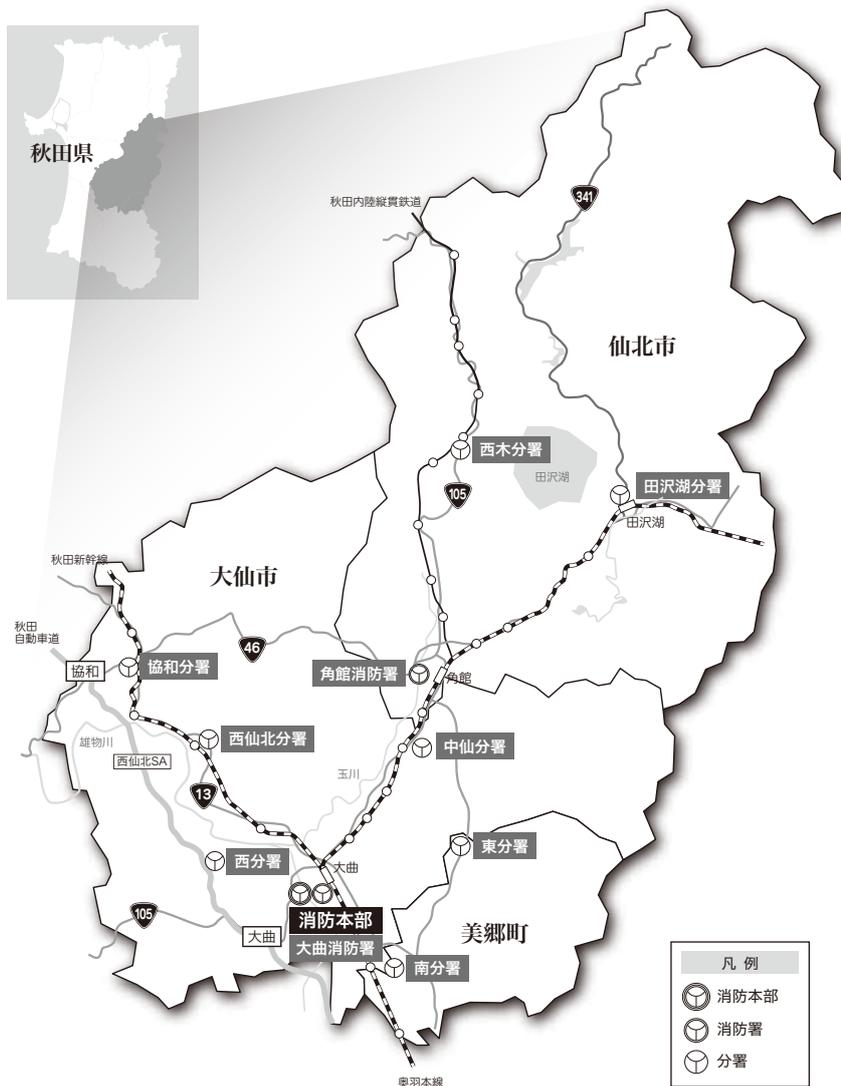
令和3年3月31日現在

	面積 (km <sup>2</sup> )	人口			世帯数	人口密度 (1km <sup>2</sup> あたり)
		総数 人	男 人	女 人		
合計	2,128.67	122,539	57,491	65,048	48,627	57.57
大仙市	866.79	78,603	36,912	41,691	31,484	90.68
仙北市	1,093.56	25,084	11,674	13,410	10,533	22.94
美郷町	168.32	18,852	8,905	9,947	6,610	112.00

## 大曲仙北広域市町村圏組合消防本部の管轄区域

- 大曲消防署管内
- 大曲消防署**  
〒014-0061  
大仙市大曲栄町13-47  
TEL.0187-63-0151
- 南分署**  
〒019-1237  
仙北郡美郷町佐野字倉合172  
TEL.0187-87-8119
- 東分署**  
〒019-1602  
大仙市太田町三本扇字野沢268-9  
TEL.0187-88-2119
- 西分署**  
〒019-1853  
大仙市南外字坊田黒沢152  
TEL.0187-73-1197
- 西仙北分署**  
〒019-2112  
大仙市刈和野字上ノ台荒屋敷134-42  
TEL.0187-75-1119
- 協和分署**  
〒019-2413  
大仙市協和上淀川字中嶋17-1  
TEL.018-892-3119

- 角館消防署管内
- 角館消防署**  
〒014-0378  
仙北市角館町西野川原25-10  
TEL.0187-54-2302
- 田沢湖分署**  
〒014-1201  
仙北市田沢湖生保内字上清水674  
TEL.0187-43-1139
- 中仙分署**  
〒014-0203  
大仙市北長野字茶畑96  
TEL.0187-56-4119
- 西木分署**  
〒014-0602  
仙北市西木町松木内字高屋132-1  
TEL.0187-48-2324



- 凡例
- 消防本部
  - 消防署
  - 分署

# 広域消防の沿革

昭和22年12月の消防組織法公布にともない、昭和23年3月に大曲町消防本部・消防署、翌昭和24年4月には、角館町消防本部・消防署が設置され、それぞれ独自に運用されていた。当時圏域内町村では他に、六郷町・神岡町・西仙北町・中仙町・田沢湖町・千畑村等で常備消防が組織されていた。

昭和29年5月、大曲町は、周辺5か村との合併により大曲市となり、あわせて大曲市消防本部が設置された。

昭和47年4月、大曲仙北広域市町村圏組合消防本部が設置され、当初定数202名、1本部・2消防署・12分署・2出張所をもって発足した。

平成8年3月、救助工作車Ⅲ型を配置、国より緊急消防援助隊救助部隊の指定を受け、東北・北海道エリアに派遣されることとなった。現在は都道府県大隊指揮隊1隊、救助小隊1隊、消火小隊5隊、救急小隊1隊、後方支援小隊3隊の計11隊を緊急消防援助隊として登録しており、大規模災害発生時には要請・指示を受け全国各地に派遣される。

平成12年1月1日、高規格救急車の運用を開始し、平成23年には広域圏民が高度な救急救命処置を等しく受けられるよう「救急業務高度化推進計画」を策定し、平成30年度までに全所属に高規格救急車を配置した。

広域再編計画に基づき、平成13年12月1日に太田・千畑・仙北の3分署を統合して東分署、次いで平成16年10月20日に六郷・仙南分署と大曲消防署南出張所を統合して南分署、さらに平成20年12月1日に神岡・南外分署と大曲消防署北出張所を統合して西分署とし、それぞれ運用を開始した。

平成17年3月1日、消防本部に高機能消防指令センター（Ⅱ型）が完成、「発信地表示システム」をはじめとする最先端技術の導入により、迅速かつ確実な消防防災体制が実現した。同年4月1日には通信指令課を新設して高機能消防指令センターの運用を開始し、より効率的な消防防災・救急救助活動を確立した。

平成26年4月1日、消防救急無線をデジタル化整備、従来の無線不感エリアについても各基地局を介し消防指令センターから一元的にコントロールすることが可能となり、より迅速かつ高度な消防通信運用を確立している。

平成30年3月23日、消防本部・大曲消防署新庁舎建設に併せ、当本部にとって2代目となる高機能消防指令センターが運用を開始している。また、同年5月25日には消防本部・大曲消防署新庁舎庁舎棟が完成、同年6月11日から地域防災の新たな拠点として運用を開始し、翌年4月25日には消防本部・大曲消防署新庁舎訓練棟の完成引渡を受け、同日をもって消防本部・大曲消防署新庁舎が竣工となった。

現在は職員291人、1本部・2消防署・8分署、指揮車3台、消防ポンプ車16台・はしご車2台・化学車1台・救助工作車2台・資機材搬送車2台・高規格救急車10台・救急車2台・広報連絡車等12台をもって、広域圏民12万人の安全確保のため日夜精励している。

# 広域消防のあゆみ

47. 4. 1	1市8町5村で大曲仙北広域市町村圏組合消防本部発足
”	(1本部・2署・12分署・2出張所) 条例定数 202 名
	初代消防長に佐々木佳夫氏就任
7. 19	消防本部に広報車 (ニッサングロリア・バン) 購入配置
8. 31	大曲消防署・角館消防署に連絡車 (トヨタランドクルーザー) 購入配置
11. 30	角館消防署に水槽付消防ポンプ自動車 (いすゞ A-2 級 1,800 ℓ) 購入配置
12. 2	神岡分署庁舎新築落成
12. 8	大曲消防署に普通消防ポンプ自動車 (いすゞ A-2 級) 購入配置
”	南外分署に普通消防ポンプ自動車 (いすゞ A-2 級) 購入配置
48. 1. 4	千畑分署庁舎新築落成
1. 5	南外分署庁舎新築落成
1. 8	大曲消防署に救急自動車 (ニッサンシビリアン 3 級・B 型) 購入配置
	(S 56. 4 隊員搬送車に改装)
3. 20	協和分署庁舎新築落成
4. 10	太田分署庁舎新築落成
5. 1	角館消防署に救急自動車 (トヨタ 2 B 型) 購入配置
5. 25	西木分署庁舎新築落成
7. 20	消防本部に小型動力ポンプ積載車 (トヨタダイナ) 購入配置
10. 1	大曲消防署に救助隊発足、隊員 11 名
10. 20	六郷分署庁舎新築落成
10. 22	西仙北分署に普通消防ポンプ自動車 (ニッサン A-2 級) 購入配置
11. 28	大曲消防署に水槽付消防ポンプ自動車 (いすゞ A-2 級 2,000 ℓ) 購入配置
12. 27	仙南分署庁舎新築落成
49. 1. 19	中仙分署庁舎新築落成
3. 30	消防本部に一斉指令装置完成 (東消式 B 型)
”	角館消防署に一斉指令装置完成 (東消式 B 型)
”	消防本部消防課を廃止し、総務課、警防課、予防課の三課を新設
4. 19	仙北分署庁舎新築落成
5. 1	西仙北分署庁舎新築落成
5. 23	北出張所庁舎新築落成
6. 21	田沢湖分署庁舎新築落成
9. 26	六郷分署に水槽付消防ポンプ自動車 (いすゞ A-2 級 1,500 ℓ) 購入配置
11. 29	協和分署に救急自動車 (トヨタ 2 B 型) 購入配置
12. 27	田沢湖分署に救急自動車 (トヨタ 2 B 型) 購入配置
	(S 61.12 角館救助隊資機材搬送車に改装)
50. 7. 18	六郷分署に救急自動車 (トヨタ 2 B 型) 購入配置
7. 31	田沢湖分署に普通消防ポンプ自動車 (トヨタ A-2 級) 購入配置
”	南出張所に普通消防ポンプ自動車 (トヨタ A-2 級) 購入配置
”	西木分署に普通消防ポンプ自動車 (トヨタ A-2 級) 購入配置

51. 4. 1	角館消防署に救助隊発足・隊員 5 名
7. 29	中仙分署に普通消防ポンプ自動車（ニッサン A-2 級）購入配置
〃	北出張所に普通消防ポンプ自動車（ニッサン A-2 級）購入配置
7. 31	仙北分署に普通消防ポンプ自動車（トヨタ A-2 級）購入配置
52. 2. 22	大曲消防署に救急自動車（トヨタ 2 B 型）配置 社団法人日本自動車工業会寄贈
2. 25	消防本部に指令車（トヨタクラウン）購入配置
4. 1	条例改正により定数 204 名
〃	西仙北分署に大曲消防署の救急自動車（トヨタ I B 型）配置
7. 1	消防本部に広報車（トヨタクラウンバン）購入配置
8. 4	神岡分署に普通消防ポンプ自動車（トヨタ A-2 級）購入配置
〃	千畑分署に普通消防ポンプ自動車（トヨタ A-2 級）購入配置
〃	太田分署に普通消防ポンプ自動車（トヨタ A-2 級）購入配置
53. 4. 1	条例改正により定数 206 名
〃	大曲消防署・角館消防署に連絡車（ニッサンブルーバードバン）購入配置
8. 3	角館消防署に普通消防ポンプ自動車（ニッサン A-2 級）購入配置
〃	協和分署に普通消防ポンプ自動車（ニッサン A-2 級）購入配置
〃	仙南分署に普通消防ポンプ自動車（ニッサン A-2 級）購入配置
12. 14	西仙北分署に救急自動車（トヨタ 2 B 型）配置 秋田県共済農業協同組合連合会寄贈
54. 4. 1	条例改正により定数 207 名
6. 1	2 代目消防長に米谷辰之助氏就任
10. 2	大曲消防署に普通消防ポンプ自動車（トヨタ A-1 級）配置 社団法人日本損害保険協会寄贈
55. 2. 15	大曲消防署に救急自動車（ニッサン 2 B 型）配置 社団法人日本損害保険協会寄贈
4. 11	救急自動車を角館消防署に配置
9. 2	六郷分署に普通消防ポンプ自動車（ニッサン A-2 級）購入配置
56. 1. 27	大曲消防署に救急自動車（ニッサン 2 B 型）配置 秋田県共済農業協同組合連合会寄贈
4. 1	3 代目消防長に渡部長一氏就任
〃	大曲消防署に隊員搬送車配置
57. 3. 13	消防本部庁舎、大曲消防署庁舎、第二車庫及び訓練塔新築落成
〃	緊急情報現示装置完成（富士写真フィルム）
4. 1	4 代目消防長に千羽孝氏就任
〃	条例改正により定数 221 名
6. 29	消防本部に広報車（ニッサンブルーバードバン）購入配置
12. 22	大曲消防署に救助工作車（シャシーいすゞ、ぎ装森田ポンプ）購入配置
59. 3. 3	田沢湖分署に救急自動車（トヨタ 2 B 型）配置 社団法人日本損害保険協会寄贈
5. 16	角館消防署に連絡車（ニッサンブルーバードバン）購入配置 更新
9. 25	角館消防署に水槽付消防ポンプ自動車（日野 A-2 級 2,000 ℓ）購入配置 更新
9. 26	協和分署に救急自動車（ニッサン 2 B 型）配置 財団法人日本消防協会寄贈
9. 28	南外分署に消防ポンプ自動車 C D-I（三菱 A-2 級）購入配置 更新
11. 28	消防本部に防火広報車（トヨタ）配置 財団法人日本消防協会寄贈
60. 4. 1	5 代目消防長に熊澤龍雄氏就任

60.12.20	大曲消防署に消防ポンプ自動車CD-II (いすゞA-2級) 購入配置 更新
〃	西仙北分署に消防ポンプ自動車CD-I (いすゞA-2級) 購入配置 更新
61.3.31	消防本部に指令車(トヨタクラウン) 購入配置 更新
6.2	大曲消防署に連絡車(トヨタマークIIバン) 購入配置 更新
6.6	大曲市を会場に東北地方建設局雄物川水防演習が開催される
8.22	南出張所庁舎移転新築落成
9.22	六郷分署に水槽付消防ポンプ自動車(いすゞA-2級2,000ℓ) 購入配置 更新
12.24	六郷分署に救急自動車(トヨタ2B型) 購入配置 更新
〃	角館消防署に救助資機材搬送車配置
62.9.7	大曲消防署に消防資機材搬送車(いすゞエルフダンプ) 購入配置
11.12	田沢湖分署に消防ポンプ自動車CD-I (ミツビシ4WD・A-2級) 購入配置 更新
〃	西木分署に消防ポンプ自動車CD-I (ミツビシ4WD・A-2級) 購入配置 更新
12.4	大曲消防署に水槽付消防ポンプ自動車(いすゞA-2級3,000ℓ) 購入配置 更新
63.3.31	角館消防署に救急自動車(ニッサン2B型) 配置 社団法人日本自動車工業会寄贈
9.3	大曲消防署に救急自動車(ニッサン2B型) 配置 財団法人日本消防協会寄贈
9.30	消防本部に広報車(トヨタマークIIバン) 購入配置 更新
12.28	仙北分署に消防ポンプ自動車CD-I (いすゞ4WD・A-2級) 購入配置 更新
〃	中仙分署に消防ポンプ自動車CD-I (いすゞ4WD・A-2級) 購入配置 更新
〃	南出張所に消防ポンプ自動車CD-I (いすゞ4WD・A-2級) 購入配置 更新
H11.4.1	消防本部に救急救助課を新設
6.17	西仙北分署に救急自動車(トヨタ2B型) 購入配置 更新
10.9	中仙分署救急業務開始、救急自動車配置
10.11	神岡分署に消防ポンプ自動車CD-I (いすゞ4WD・A-2級) 購入配置 更新
〃	太田分署に消防ポンプ自動車CD-I (いすゞ4WD・A-2級) 購入配置 更新
〃	千畑分署に消防ポンプ自動車CD-I (いすゞ4WD・A-2級) 購入配置 更新
2.4.1	6代目消防長事務取扱に千田宏二氏就任
4.5	中仙分署に救急自動車(ニッサン2B型) 配置 社団法人日本自動車工業会寄贈
5.8	7代目消防長事務取扱に高橋司氏就任
7.27	8代目消防長事務取扱に西村茂氏就任
10.8	西木分署救急業務取扱開始、救急自動車配置
10.23	大曲消防署にはしご付消防ポンプ自動車(25m級) 購入配置
11.9	協和分署に消防ポンプ自動車CD-I (いすゞ4WD・A-2級) 購入配置 更新
〃	仙南分署に消防ポンプ自動車CD-I (いすゞ4WD・A-2級) 購入配置 更新
12.20	仙南分署庁舎移転新築落成
3.2.6	消防本部に消防緊急情報システム装置完成(II型)
4.1	条例改正により定数241名
7.17	協和分署に救急自動車(トヨタ2B型) 購入配置
8.10	協和分署庁舎移転新築落成
10.16	南外分署救急業務開始、救急自動車配置

3. 12. 1	消防本部通信指令室に気象情報収集装置配置
12. 3	角館消防署庁舎新築落成
4. 1. 16	角館消防署に消防緊急情報指令施設完成（I型）
2. 4	消防本部通信指令室に消防無線固定局（第4装置）増設
2. 13	角館消防署に救助補助訓練塔完成
3. 4	南外分署に救急自動車（トヨタ2B型）配置 社団法人日本損害保険協会寄贈
4. 1	9代目消防長に富樫俊悦氏就任
〃	田沢湖、中仙町、西木村の119番を角館消防署に集約
5. 26	角館消防署に連絡車（トヨタマークII）購入配置
7. 10	西木分署に救急自動車（トヨタ2B型）購入配置
8. 21	六郷町、西仙北町の119番を消防本部通信指令室に集約
9. 1	大曲市を会場に秋田県総合防災訓練が開催される
10. 1	田沢湖分署に救急自動車（トヨタ2B型）配置更新 財団法人日本消防協会寄贈
11. 30	北出張所に消防ポンプ自動車CD-I（トヨタ4WD・A-2級）購入配置 更新
12. 14	消防本部通信指令室、角館消防署に固定無線局配置 更新
5. 5. 18	消防本部警防課に広報車（トヨタカルディナ）購入配置 更新
9. 6	大曲消防署に救急自動車（いすゞ2B型）配置更新 財団法人日本消防協会寄贈
10. 6	角館消防署に救助工作車（いすゞフォワード・ぎ装森田）配置 社団法人日本損害保険協会寄贈
12. 3	田沢湖分署庁舎移転新築落成
6. 1. 31	角館消防署に消防ポンプ自動車CD-I（いすゞ4WD・A-2級）購入配置 更新
3. 31	中仙分署庁舎新築落成
4. 1	10代目消防長に山崎敏彦氏就任
11. 4	田沢湖分署にはしご付消防ポンプ自動車（30m級）購入配置
〃	大曲消防署に消防ポンプ自動車CD-I（いすゞ4WD・A-2級）購入配置 更新
11. 11	田沢湖分署救急無線基地局設置
7. 2. 5	角館消防署通信指令室に設置されている救急無線基地局 更新
〃	田沢湖分署消防無線基地局設置
11. 22	西木分署庁舎移転新築落成
8. 3. 26	大曲消防署に救助工作車Ⅲ型（日野レンジャー4WD・ぎ装森田）購入配置 更新
4. 1	11代目消防長に山崎堅治氏就任
11. 26	六郷分署に救急自動車（トヨタ2B型）購入配置 更新
12. 19 ～20	緊急消防援助隊北海道、東北ブロック第1回合同訓練に救助部隊で参加（仙台市）
9. 1. 30	南外分署に消防ポンプ自動車CD-I（いすゞエルフ4WD・A-2級）購入配置 更新
7. 12	大曲消防署に防火広報車（トヨタハイエース）配置 京呉服川崎屋寄贈
8. 5	大曲消防署に救急自動車（トヨタ2B型）購入配置 更新
8. 28	消防本部に公用車（トヨタクラウン）購入配置 更新
10. 15	西木分署に無線基地局（消防波・救急波）設置
10. 22	西仙北分署に消防ポンプ自動車CD-I（いすゞエルフ4WD・A-2級）購入配置
10. 4. 1	県南3消防本部（大曲仙北広域・横手平鹿広域・湯沢雄勝広域）自動車電話・携帯電話 119番 受信開始（集約大曲消防本部）

10. 6. 23	消防本部予防課に広報車（トヨタ・マークIIクオリス）購入配置 更新
7. 1	六郷分署に消防ポンプ自動車CD-I（いすゞエルフ4WD・A-2級） 購入配置 更新
10. 17	西仙北分署庁舎移転新築落成
〃	西仙北分署に消防無線基地局（消防波・救急波）設置
12. 2	角館消防署に救急自動車（トヨタ2B型）購入配置 更新
11. 3. 30	大曲消防署に広報・連絡車（トヨタクラウン・バン）配置 株式会社川端寄贈
11. 7	中仙分署に防火広報車（ホンダアクティ・バン）配置 中仙ライオンズクラブ寄贈
11. 29	大曲消防署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック4WD）購入配置
12. 8	大曲消防署に消防ポンプ自動車CD-II（日野4WD・A-2級）購入配置 更新
12. 3. 17	消防本部予防課に広報車（トヨタランドクルーザープラド）配置 財団法人日本消防協会寄贈
〃	消防本部予防課の広報車（トヨタ・マークIIクオリス）を角館消防署連絡車として異動配置
4. 1	大曲仙北広域消防体制の再編計画を策定（第一次）
9. 25	角館消防署に水槽付消防ポンプ自動車（日野4WD・A-2級2,000ℓ） 購入配置 更新
10. 16	西仙北分署に救急自動車（トヨタ2B型）購入配置 更新
13. 9. 5	大曲市を会場に秋田県総合防災訓練が開催される
10. 23	大曲仙北広域市町村圏組合消防30周年記念式典開催
〃	大曲消防署に化学消防ポンプ自動車（日野レンジャー4WD・化学I型）配置 社団法人日本損害保険協会寄贈
11. 22	中仙分署に救急自動車（トヨタ2B型）購入配置 更新
11. 30	太田、千畑、仙北分署を統合し、東分署庁舎、訓練塔及び常設ヘリポート新築落成
12. 1	東分署運用開始、勤務体制に3部制を試行導入
〃	大曲消防署の勤務体制に3部制を試行導入
〃	東分署に救急自動車（トヨタ2B型）購入配置
〃	東分署に広報・連絡車（トヨタカルディナバン4WD）設置 太田町寄贈
〃	東分署に消防無線基地局（消防波）設置
14. 2. 1	消防本部消防無線基地局に全国共通波（3波）設置
2. 4	角館消防署消防無線基地局に第2装置（県内共通波）設置
4. 1	条例改正により定数245名
〃	12代目消防長に里見喜代治氏就任
5. 1	大曲仙北広域消防体制の再編計画を策定（第二次）
7. 19	消防本部警防課に連絡車（トヨタハリアー4WD）購入配置 更新
10. 29	協和分署に救急自動車（トヨタ2B型4WD）購入配置 更新
15. 2. 5	田沢湖分署、西木分署に消防ポンプ自動車CD-I（三菱4WD・A-2級） 購入配置 更新
12. 18	角館消防署に高規格救急車（トヨタハイメディック4WD）購入配置
16. 2. 19	中仙分署に消防ポンプ自動車CD-I（いすゞ4WD・A-2級）購入配置 更新
2. 23	大曲消防署に水槽付消防ポンプ自動車水-II（いすゞ4WD・A-2級3,000ℓ水槽） 購入配置 更新

16.10.20	六郷分署・仙南分署・大曲消防署南出張所を統合し、南分署庁舎を新築落成
11.1	南分署運用開始、勤務体制に3部制を試行導入
17.2.18	南分署に消防無線基地局（消防波）設置
3.1	消防本部に高機能消防指令センター（II型）完成
4.1	消防本部に通信指令課を新設。高機能消防指令センターの運用開始
〃	大曲消防署、東分署及び南分署の勤務体制に3部制を導入
8.1	大曲仙北広域消防体制の再編計画を策定（第三次）
12.28	南外分署に救急自動車（トヨタ2B型4WD）購入配置 更新
18.2.9	神岡分署に消防ポンプ自動車CD-I（日野4WD・A-2級）購入配置 更新
12.13	大曲消防署はしご付消防ポンプ自動車 オーバーホール実施
19.1.1	広域消防情報管理システムの運用開始
2.8	田沢湖分署に救急自動車（トヨタ2B型4WD）購入配置 更新
4.1	13代目消防長に佐藤富男氏就任
7.31	田沢湖分署に災害対策支援車（三菱デリカ4WD）購入配置
10.3	協和分署に広報・連絡車（トヨタカローラフィールダー4WD）配置 更新
12.14	西木分署に救急自動車（トヨタ2B型4WD）購入配置 更新
20.2.7	東分署に消防ポンプ自動車CD-I（日野4WD・A-2級）購入配置 更新
2.29	田沢湖分署はしご付消防ポンプ自動車 オーバーホール実施
4.1	条例改正により定数255名
10.15	平成20年度緊急消防援助隊 北海道・東北ブロック合同訓練が大仙市大曲地区を
～16	会場として開催される
11.26	神岡分署、南外分署、大曲消防署北出張所を統合し、西分署を新築落成
〃	西分署に広報・連絡車（トヨタカローラフィールダー4WD）配置
12.1	西分署運用開始、勤務体制に3部制を試行導入
〃	通信指令課及び角館消防署の勤務体制に3部制を試行導入
21.4.1	14代目消防長に高橋庄孝氏就任
〃	西分署の勤務体制に3部制を導入
〃	通信指令課及び角館消防署の勤務体制を3部制に移行
7.30	東分署、南分署、西木分署に広報・連絡車（トヨタカローラフィールダー4WD）
	配置 更新
9.29	大曲消防署に資機材搬送車（いすゞエルフ4WD・2tロングボディ）購入配置 更新
22.1.15	東分署、協和分署に消防ポンプ自動車CD-I（日野デュトロ4WD・A-2級・CAFS）
	購入配置 更新
2.19	大曲消防署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック4WD）、南分署に救急自動車（トヨタ・2B型4WD）購入配置 更新
6.8	高機能消防指令センターに統合型位置情報通知システムを導入
7.23	大曲消防署に指揮車（三菱デリカ4WD）購入配置 更新
7.28	西仙北分署、中仙分署に広報・連絡車（トヨタカローラフィールダー4WD）配置 更新
10.18	大仙市大曲地区を会場として秋田県総合防災訓練が開催される
23.1.7	角館消防署、西分署に消防ポンプ自動車CD-I（日野4WD・A-2級・CAFS）、大曲消防署に消防ポンプ自動車CD-I（日野4WD・A-2級）購入配置 更新

23. 3. 11	田沢湖分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック4WD）配置 全国共済農業協同組合連合会寄贈
4. 1	条例改正により定数267名
〃	15代目消防長に伊藤和美氏就任
〃	田沢湖分署の勤務体制を3部制に移行
8. 25	角館消防署に指揮車（ニッサン・エクストレイル4WD）配置 更新
8. 30	救急業務高度化推進計画を策定
9. 1	消防本部に広報連絡車（トヨタ・ノア4WD）配置 更新
11. 23	西仙北分署に救急自動車（トヨタ2B型4WD）購入配置 更新
24. 2. 6	南分署に消防ポンプ自動車CD-I（日野・デュトロ4WD・A-2級・CAFS） 購入配置 更新
8. 10	田沢湖分署庁舎3部制移行に伴い28.65㎡増築
9. 20	大曲消防署に燃料補給車（三菱・キャンター4WD・軽油990リットル）配置 総務省消防庁無償使用
9. 24	協和分署の勤務体制を3部制に移行
11. 1	協和分署に高規格救急自動車（トヨタ・ハイメディック4WD）購入配置 更新
12. 17	西仙北分署に消防ポンプ自動車CD-I（日野・デュトロ4WD・A-2級・CAFS）購入配置 更新
25. 2. 28	協和分署庁舎3部制移行に伴い23.08㎡増築
3. 22	大曲消防署に資機材搬送車（三菱キャンター4WD・3tロングボディ）配置 総務省消防庁無償使用
〃	角館消防署に資機材搬送車（いすゞエルフ4WD・2tロングボディ）を大曲消防署から移動配置
3. 27	角館消防署に救助工作車II型（いすゞフォワード4WD・消防ポンプ付・ぎ装平和機械） 購入配置 更新
4. 1	16代目消防長に菅原達美氏就任
9. 19	角館消防署庁舎女性職員配置に伴い79.36㎡増築
9. 20	角館消防署、南分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック4WD）購入配置 更新
12. 9	南分署に消防ポンプ自動車CD-I（いすゞ・エルフ4WD・A-2級） 購入配置 更新
26. 2. 13	消防本部予防課に広報車（トヨタ・ランドクルーザー4WD）配置 更新 総務省消防庁無償使用（機動連絡車）
3. 15	消防救急無線をデジタル化整備し運用開始
3. 27	大曲消防署に高規格救急車（ニッサン・パラメディック4WD）配置 座間市寄贈
4. 1	17代目消防長に三浦肇氏就任
5. 7	大曲厚生医療センター内に大曲仙北救急ワークステーションを設置し運用開始 （試行期間6ヶ月、大曲消防署、南分署、協和分署、角館消防署、田沢湖分署対象）
11. 1	大曲仙北救急ワークステーション本運用開始（全署対象）
11. 10	中仙分署に高規格準拠救急車（トヨタ・ハイメディック4WD）購入配置 更新
27. 3. 27	大曲消防署に救助工作車II型（日野・レンジャー4WD）購入配置
6. 29	大曲仙北広域消防職員配置再編計画を策定
8. 9	仙北市全域を会場として秋田県総合防災訓練が開催される

27.10.13	西分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック4WD）購入配置 更新
28.1.21	大曲消防署に消防ポンプ自動車CD-I（日野・デュトロ4WD・A-2級・CAFS）購入配置 更新
4.1	条例改正により定数291名
〃	18代目消防長に森川正明氏就任
4.23	消防本部警防課に災害対策用UAV（Phantom3 Professional）購入配備
9.28	東分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック4WD）購入配置 更新
11.10	中仙分署庁舎 48.85㎡増築
12.9	西木分署庁舎 29.74㎡増築
29.1.25	角館消防署に水槽付消防ポンプ自動車水-II（いすゞ・フォワード4WD・A-2級3,000ℓ水槽）購入配置 更新
9.17	中仙分署の勤務体制を3部制に移行
〃	西木分署の勤務体制を3部制に移行
10.24	中仙分署の高規格準拠救急車へ高度救命資機材を積載し、高規格運用を開始
10.24	西木分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック4WD）購入配置 更新
12.27	田沢湖分署に消防ポンプ自動車CD-I（日野・デュトロ4WD・A-2級・CAFS）購入配置 更新
30.2.1	消防本部警防課に指揮車（トヨタ・レジアスエース4WD）購入配置 更新
3.23	消防本部新庁舎に高機能消防指令センター（II型）完成 運用開始
4.1	19代目消防長に鈴木良則氏就任
5.25	消防本部・大曲消防署新庁舎庁舎棟完成引渡
6.11	消防本部・大曲消防署新庁舎移転運用開始
9.19	西仙北分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック4WD）購入配置 更新
12.13	南分署庁舎 28.71㎡増築
31.4.25	消防本部・大曲消防署新庁舎訓練棟完成引渡
〃	消防本部・大曲消防署新庁舎竣工
R1.5.28	消防本部警防課に災害対策用UAV（Phantom4 Advanced+）購入配備
11.27	大曲消防署にはしご付き消防ポンプ自動車（伸縮水路管付き35m級）購入配置 更新
〃	田沢湖分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック4WD）購入配置 更新
12.18	西仙北分署庁舎 56.64㎡増築
2.1.15	西木分署に消防ポンプ自動車CD-I（日野・デュトロ4WD・A-2級・CAFS）購入配置 更新
4.1	20代目消防長に佐藤広樹氏就任
10.19	大曲消防署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック4WD）購入配置 更新
12.15	中仙分署に消防ポンプ自動車CD-I（日野・デュトロ4WD・A-2級・CAFS）購入配置 更新
12.23	協和分署庁舎 9.62㎡増築
3.2.16	大曲消防署に水槽付消防ポンプ自動車水-II（いすゞ・フォワード4WD・A-2級3,000ℓ水槽）購入配置 更新
3.16	田沢湖分署にはしご付き消防ポンプ自動車（伸縮水路管付き35m級）購入配置 更新

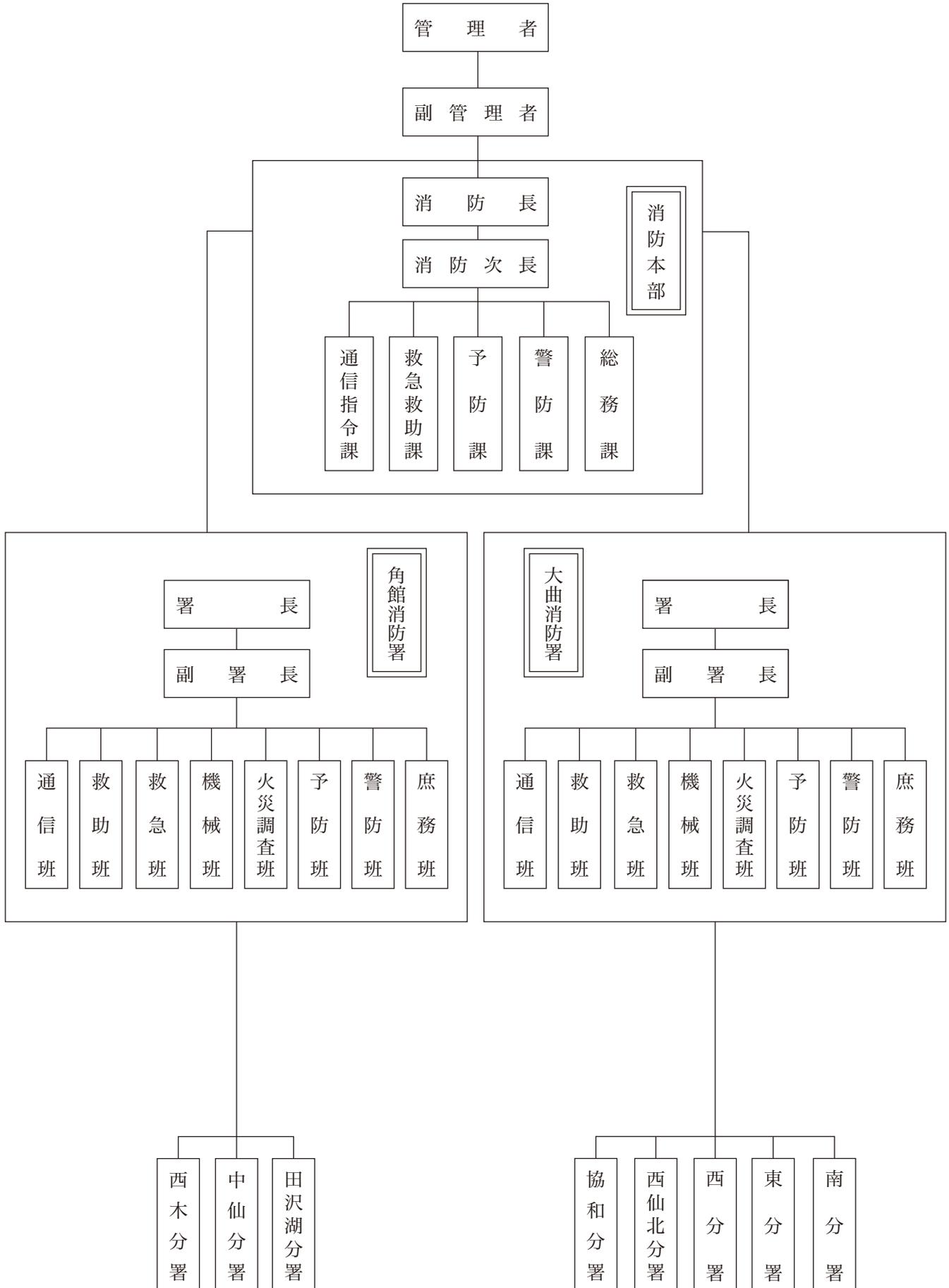
# 総務関係



令和2年8月27日  
アネスト岩田株式会社秋田工場から  
新型コロナウイルス感染症対策としてフェイスシールド100枚寄贈



# 消防組織図



# 消防本部事務分掌

## 総務課

### •総務班

- (1) 組織及び運営に関すること。
- (2) 職員の任免、承認、賞罰、服務その他身分に関すること。
- (3) 職員の福利厚生に関すること。
- (4) 職員の公務災害補償手続に関すること。
- (5) 公印の新調、改廃及びその手続に関すること。
- (6) 条例、規則等の制定、改廃及び公布に関すること。
- (7) 文書の収受、発送及び整理保存に関すること。
- (8) 予算、決算及び経理に関すること。
- (9) 職員の給与に関すること。
- (10) 物品の調達、被服等の給貸与に関すること。
- (11) 儀式に関すること。
- (12) 消防職員委員会に関すること。
- (13) その他、他課に属さない事項に関すること。

## 警防課

### •警防班

- (1) 水火災その他の災害の警戒及び防ぎよに関すること。
- (2) 職員及び消防団員の教養並びに訓練に関すること。
- (3) 警防計画に関すること。
- (4) 消防地理水利の調査及び保全に関すること。
- (5) 火災警報発令、解除及び気象情報に関すること。
- (6) 各関係機関と結ぶ協定に関すること。
- (7) 消防相互応援協定に関すること。
- (8) 緊急消防援助隊に関すること。
- (9) 消防車両の整備に関すること。
- (10) 消防機械器具に関すること。
- (11) 消防統計に関すること。
- (12) その他、警防に関すること。

- 救 助 班

- (1) 救助業務計画に関すること。
- (2) 救助技術及び訓練に関すること。
- (3) 救助統計に関すること。
- (4) その他、救助に関すること。

## 予 防 課

- 予 防 班

- (1) 火災予防の立入検査に関すること。
- (2) 火災予防の広報及び企画に関すること。
- (3) 消防法令に適合している旨の通知書の交付に関すること。
- (4) 立入検査計画及び技術に関すること。
- (5) 建築同意事務の指導に関すること。
- (6) 防火対象物の違反指導に関すること。
- (7) 特定防火対象物等の意見書に関すること。
- (8) 防火対象物に係る特例認定に関すること。
- (9) 防火管理者の資格取得講習及び指導に関すること。

- 危険物班

- (1) 危険物製造所等の許可、承認等に関すること。
- (2) 危険物製造所等の立入検査に関すること。
- (3) 危険物取扱者及び危険物保安監督者の指導に関すること。
- (4) 予防規程の認可に関すること。
- (5) 液化石油ガス販売事業等の許可に対する意見に関すること。
- (6) 火薬類の販売及び設置の許可に対する意見に関すること。
- (7) 危険物関係事故の原因調査及び報告に関すること。
- (8) その他、危険物全般に関すること。

- 火災調査班

- (1) 火災の原因及び損害調査に関すること。
- (2) 警察との連絡に関すること。
- (3) その他、調査全般に関すること。

## 救急救助課

- (1) 救急業務の管理及び計画に関すること。
- (2) 救急技術の指導、訓練及び教育に関すること。
- (3) 救急装備品等の配置運用及び整備並びに維持管理に関すること。
- (4) 救急救助統計に関すること。
- (5) 救急医療機関との連絡調整に関すること。
- (6) 応急手当の普及啓発に関すること。
- (7) メディカルコントロール体制に関すること。
- (8) 救急業務の高度化推進に関すること。
- (9) その他、救急に係る救助に関すること。

## 通信指令課

- (1) 災害通報の受信及び指令業務に関すること。
- (2) 指令システム、通信施設、情報システムの整備及び管理に関すること。
- (3) 消防無線、通信施設及び情報システムの整備及び管理に関すること。
- (4) 通信業務における各種記録の管理に関すること。
- (5) 気象の観測及び警報、注意報の伝達に関すること。
- (6) 消防通信に関すること。
- (7) 救急医療情報の収集に関すること。
- (8) 報道対応に関すること。
- (9) その他、通信に関すること。

# 消防署事務分掌

## 庶務班

- (1) 令達及び例規に関すること。
- (2) 文書の収受、発送、処理及び保存に関すること。
- (3) 庁舎及び附属施設の保守管理に関すること。
- (4) 署員の衛生管理に関すること。
- (5) 行事及び会議に関すること。
- (6) 署員の福利厚生に関すること。
- (7) その他、他の班に属しないこと。

## 警防班

- (1) 火災警報発令、解除及び気象情報に関すること。
- (2) 非常警備に関すること。
- (3) 消防統計及び消防情報に関すること。
- (4) 消防地理水利の保守に関すること。
- (5) 緊急消防援助隊に関すること。
- (6) その他警防に関すること。

## 予防班

- (1) 火災予防の査察及び普及広報に関すること。
- (2) 火災予防条例の規定による届出に関すること。
- (3) 建築同意事務に関すること。
- (4) 工事整備対象設備等の着工届及び検査に関すること。
- (5) 危険物に関すること。
- (6) 防火対象物の管理指導及び訓練に関すること。
- (7) その他予防に関すること。

## 火災調査班

- (1) 火災の原因及び損害調査に関すること。
- (2) 警察との連絡に関すること。
- (3) 火災調査全般に関すること。

## 機 械 班

- (1) 消防機械器具の整備計画に関すること。
- (2) 消防機械器具の改善研究に関すること。
- (3) 消防機械器具の運用技術の指導に関すること。
- (4) 消防車両の燃料に関すること。
- (5) 庁舎車両の保守管理に関すること。

## 救 急 班

- (1) 救急装備品等の保管及び管理に関すること。
- (2) 応急手当の普及啓発に関すること。
- (3) 救急の搬送証明に関すること。
- (4) 救急出動の記録及び救急統計に関すること。
- (5) その他救急業務に必要な事項に関すること。

## 救 助 班

- (1) 災害救助活動に関すること。
- (2) 救助資機材の点検整備及び保全に関すること。
- (3) 救助訓練に関すること。
- (4) 救助出動の記録及び救助統計に関すること。
- (5) 山岳及び水難救助に関すること。
- (6) 緊急消防援助隊装備品の管理及び保全に関すること。
- (7) その他救助業務に必要な事項に関すること。

## 通 信 班

- (1) 消防通信の統制及び通信機器の整備保全に関すること。

# 消 防 庁 舎 の 現 況

(令和3年4月1日現在)

区 分 署 別	現 住 所	電話番号	敷地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	延面積 (㎡)	建築完成 年月日 (増改築等)
消 防 本 部	〒014-0061 大仙市大曲栄町13-47	0187 63-0150	4690.66	1484.92	4300.82	H30. 5.25
大 曲 消 防 署		0187 63-0151				
南 分 署	〒019-1237 美郷町佐野字倉合172	0187 87-8119	4109.00	494.29	598.46	H16.10.20 (H30.12.13)
東 分 署	〒019-1602 大仙市太田町三本扇 字野沢268-9	0187 88-2119	4098.23	482.04	516.22	H13.11.30
西 分 署	〒019-1853 大仙市南外字坊田黒沢152	0187 73-1197	4382.87	554.43	659.36	H20.11.26
西 仙 北 分 署	〒019-2112 大仙市刈和野 字上ノ台荒屋敷134-42	0187 75-1119	1381.20	356.35	356.35	H10.11.12 (R 1.12.18)
協 和 分 署	〒019-2413 大仙市協和上淀川 字中嶋17-1	018 892-3119	1388.99	347.80	345.32	H 3. 8.10 (R 2.12.23)
角 館 消 防 署	〒014-0378 仙北市角館町西野川原25-10	0187 54-2302	2903.54	580.05	819.50	H 7.12. 3 (H25. 9.19)
田 沢 湖 分 署	〒014-1201 仙北市田沢湖生保内 字上清水674	0187 43-1139	1829.50	414.80	410.81	H 5.12. 3 (H24. 8.10)
中 仙 分 署	〒014-0203 大仙市北長野字茶畑96	0187 56-4119	1431.00	348.79	348.79	H 6. 3.31 (H28.11.10)
西 木 分 署	〒014-0602 仙北市西木町桧木内 字高屋132-1	0187 48-2324	2054.00	329.26	329.26	H 7.11.22 (H28.12. 9)

## 令和3年度消防費（当初予算）

（歳出）

款	項	目	区 分 ・ 金 額	千円
5. 消防費	1. 消防費			2,561,704
		1. 常備消防費		2,275,109
			2. 給 料	943,661
			3. 職 員 手 当	657,185
			4. 共 済 費	445,590
			7. 報 償 費	80
			8. 旅 費	8,852
			9. 交 際 費	50
			10. 需 用 費	80,564
			11. 役 務 費	23,867
			12. 委 託 料	80,467
			13. 使用料及び手数料	10,504
			14. 原 材 料 費	80
			15. 備 品 購 入 費	10,419
			16. 負 担 金 補 助 金 及 び 交 付 金	12,281
			26. 公 課 費	1,509
		2. 施設整備費		286,595
			8. 旅 費	103
			12. 委 託 料	56,749
			14. 工 事 請 負 費	110,565
			18. 備 品 購 入 費	119,178

## 最近5年間の構成市町消防費負担金（当初予算）

（単位：千円）

市町名 \ 年度	令和3年度	令和2年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度
大 仙 市	1,473,934	1,393,553	1,706,329	1,987,714	4,441,530
仙 北 市	636,603	840,517	779,161	624,863	1,216,464
美 郷 町	429,388	403,686	570,219	416,597	815,681
合 計	2,539,925	2,637,756	3,055,709	3,029,174	6,473,675

## 令和3年度構成市町予算額に対する消防予算額（当初予算）

（単位：千円）

市町名 \ 区分	市町総予算額 (A)	市町消防予算額 (B)	比 率 B/A%	常備消防費 (C)	比 率 C/A%
大 仙 市	42,018,000	1,760,441	4.19	1,473,934	3.51
仙 北 市	20,450,000	1,534,379	7.50	636,603	3.11
美 郷 町	11,171,749	548,963	4.91	429,388	3.84
合 計	73,639,749	3,843,783	5.22	2,539,925	3.45

# 職 員 配 置 状 況

(令和3年4月1日現在)

		消防正監	消防監	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	計
現 在 数		1	3	12	42	52	51	63	69	293
消 防 本 部		1	1	5	5	5	9	4		30
大 曲 消 防 署 管 内	大曲消防署		1	3	3	12	7 (1)	17	15	58
	南 分 署			1	3	4 (2)	5 (1)	7	6	26
	東 分 署				4	4 (1)	4 (2)	3	6	21
	西 分 署				4	4 (1)	5 (2)	2	6	21
	西仙北分署				3	3	5 (3)	3	7	21
	協 和 分 署				4	2	5 (2)	3	4	18
角 館 消 防 署 管 内	角館消防署		1	3	3	8	3	9	9	36
	田沢湖分署				4	3 (1)	4	4	6	21
	中 仙 分 署				4	4	1	6	6	21
	西 木 分 署				4	2	3 (2)	5	4	18
他 機 関 派 遣					1	1				2

※( )は再任用

## 職員階級別年齢表

(令和3年4月1日現在)

階級 年齢	計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
20才未満	9								9
20才以上～25才未満	45								45
25才以上～30才未満	62							47	15
30才以上～35才未満	33						17	16	
35才以上～40才未満	21					1	20		
40才以上～45才未満	22					21	1		
45才以上～50歳未満	33				11	22			
50才以上～55才未満	20				18	2			
55才以上	30	1	3	12	13	1			
再任用	18					5	13		
計	293	1	3	12	42	52	51	63	69
平均年齢(再任用除く)	36.0	57.0	57.0	56.8	52.6	44.8	35.1	28.5	22.5

## 職員勤続年数表

(令和3年4月1日現在)

階級 年数	計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
1年未満	7								7
1年以上～5年未満	43							2	41
5年以上～10年未満	70						4	45	21
10年以上～15年未満	42						26	16	
15年以上～20年未満	15					7	8		
20年以上～25年未満	18					18			
25年以上～30年未満	21				3	18			
30年以上	59	1	3	12	39	4			
再任用	18					5	13		
計	293	1	3	12	42	52	51	63	69
平均年数(再任用除く)	16.0	39.0	37.7	38.1	33.4	24.8	12.4	8.2	3.2

# 消防職員意見発表会出場者

(県大会以上)

年次	出場者名	所属(当時)	成績		
			県大会	東北大会	全国大会
昭和53年	高川恒雄	大曲消防署	入賞		
昭和54年	大澤善樹	中仙分署	優秀賞		
昭和55年	加藤隆一	大曲消防署	努力賞		
昭和56年	佐々木邦夫	西木分署	優秀賞		
昭和57年	門脇民夫	西木分署	入賞		
昭和58年	長澤典雄	仙北分署	最優秀賞	優秀賞	
昭和59年	原茂樹	仙北分署	優秀賞		
昭和60年	佐藤良美	仙北分署	優秀賞		
昭和61年	鈴木良則	仙北分署	最優秀賞	優秀賞	
昭和62年	鈴木尚老	仙北分署	優秀賞		
昭和63年	柏谷伸幸	仙北分署	優秀賞		
平成元年	栗林一吉	田沢湖分署	優秀賞		
平成2年	伊藤定夫	南外分署	最優秀賞	最優秀賞	入賞
平成3年	伊藤清隆	協和分署	最優秀賞	優秀賞	
平成4年	山崎慎	六郷分署	入賞		
平成5年	伊藤博文	田沢湖分署	優秀賞		
平成6年	戸島浩樹	神岡分署	最優秀賞	優秀賞	
平成7年	畠山満輝	角館消防署	入賞		
平成8年	武藤亮幸	大曲消防署	入賞		
平成9年	稲葉和也	大曲消防署	入賞		
平成10年	八木克司	六郷分署	優秀賞		
平成11年	後藤恵太	神岡分署	最優秀賞	入賞	
平成12年	小松知巳	角館消防署	最優秀賞	最優秀賞	入賞
平成13年	鈴木一伊	大曲消防署	優秀賞		
平成14年	伊藤岳	大曲消防署	最優秀賞	入賞	
平成15年	小友亘	大曲消防署	入賞		
平成16年	田口勝彦	大曲消防署	優秀賞		
平成17年	清水川良弘	角館消防署	入賞		
平成18年	高橋俊幸	角館消防署	優秀賞		
平成19年	佐藤玲緒奈	大曲消防署	入賞		
平成20年	進藤秀俊	西仙北分署	優秀賞		
平成21年	高野和春	角館消防署	入賞		
平成22年	河原智海	大曲消防署	入賞		
平成23年	高橋洋平	中仙分署	優秀賞		
平成24年	佐藤勝昭	田沢湖分署	最優秀賞	入賞	
平成25年	阿部和範	西木分署	最優秀賞	入賞	
平成26年	中谷壮志	大曲消防署	最優秀賞	入賞	
平成27年	新田理沙	角館消防署	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞
平成28年	石郷岡美幸	角館消防署	最優秀賞	優秀賞	
平成29年	茂木雄大	東分署	最優秀賞	入賞	
平成30年	吉田瑞穂	角館消防署	最優秀賞	最優秀賞	入賞
平成31年	藤井和磨	角館消防署	最優秀賞	優秀賞	
令和2年	齊藤佳祐	大曲消防署	優秀賞		
令和3年	武石駿帆	大曲消防署	入賞		

警 防 関 係



秋田県消防防災航空隊との合同訓練風景



# 消防車両及び無線局配置状況

(令和3年4月1日現在)

区分 所属		消防ポンプ自動車・その他の車両												無線局（デジタル）				
		車両 総計	ポン プ車	水槽付 ポンプ車	は しご 車	化 学 車	救 助 工 作 車	救 急 車	指 揮 車	広 報 ・ 連 絡 車 等	資 機 材 搬 送 ・ 燃 料 補 給	ボ ー ト ト レ ー ラ ー	救 助 艇	基 地 局	移 動 局			
															可 搬 型	卓 上 型	車 載	携 帯
計		50	14	2	2	1	2	12	3	11	3	1	2	7	1	10	50	67
消 防 本 部		4							1	3				1	1		3	3
大 曲 消 防 署 管 内	大曲消防署	12	2	1	1	1	1	3	1		2	1	1			1	13	13
	南 分 署	4	2					1		1						1	4	6
	東 分 署	4	2					1		1						1	4	6
	西 分 署	4	2					1		1				1		1	4	6
	西仙北分署	3	1					1		1				1		1	3	5
	協 和 分 署	3	1					1		1				1		1	3	5
角 館 消 防 署 管 内	角館消防署	6	1	1			1	1	1		1		1	1		1	6	7
	田沢湖分署	4	1		1			1		1				1		1	4	6
	中仙分署	3	1					1		1						1	3	5
	西木分署	3	1					1		1				1		1	3	5

# 現有車両明細

(令和3年4月1日現在)

区分 所属	種別	車両 メーカー	車両番号	年式	機装 メーカー	車齢 (年度)	摘要		
消防本部	公用車	トヨタ	秋田 300 た 2445	H14		18			
	指揮車	トヨタ	秋田 830 す 1801	H30		3	警防課		
	機動連絡車	トヨタ	秋田 800 す 1940	H26		7	予防課 総務省消防庁無償使用車両		
	指揮・連絡車	トヨタ	秋田 830 す 1108	H23		9			
大曲消防署	水槽付きポンプ車	いすゞ	秋田 830 さ 2102	R3	長野 ポンプ	0	水-II型 (水槽3,000ℓ)		
	ポンプ1号車	日野	秋田 830 さ 1601	H28	モリタ	5	CD-I型 (CAFS装置付き) 水槽600ℓ		
	ポンプ2号車	日野	秋田 830 す 1101	H23	モリタ	10	CD-I型 (非常用予備車)		
	救助工作1号車	日野	秋田 830 さ 1503	H27	モリタ	6	救助工作車II型		
	はしご車	日野	秋田 830 す 1911	R1	モリタ	1	35m級先端屈折伸縮水路管 付き		
	化学車	日野	秋田 800 は 135	H13	岩手 ポンプ	19	化学-I型 (水槽1000ℓ、 薬液槽300ℓ×2)		
	資機材搬送車	三菱	秋田 800 す 1371	H25		8	総務省消防庁無償使用車両		
	指揮・連絡車	三菱	秋田 830 さ 1007	H22		10			
	燃料補給車	三菱	秋田 800 す 1072	H24		8	軽油990ℓ 総務省消防庁無償使用車両		
	救急1号車	トヨタ	秋田 830 す 2010	R2		0	高規格救急車		
	救急2号車	トヨタ	秋田 831 と 119	H19		12	2B型救急車(非常用救急車)		
	救急3号車	トヨタ	秋田 831 は 119	H23		9	2B型救急車		
	管内	南分署	ポンプ1号車	日野	秋田 830 さ 1201	H24	モリタ	9	CD-I型 (CAFS装置付き) 水槽600ℓ
			ポンプ2号車	いすゞ	秋田 830 す 1312	H25	モリタ	7	CD-I型
救急車			トヨタ	秋田 831 や 119	H25		7	高規格救急車	
連絡車			トヨタ	秋田 830 す 907	H21		11		
東分署		ポンプ1号車	日野	秋田 830 そ 1001	H22	モリタ	11	CD-I型 (CAFS装置付き) 水槽600ℓ	
		ポンプ2号車	日野	秋田 830 す 802	H20	モリタ	13	CD-I型	
		救急車	トヨタ	秋田 830 さ 1609	H28		4	高規格救急車	
		連絡車	トヨタ	秋田 830 さ 907	H21		11		

所属	区分	種別	車 両 メーカー	車 両 番 号	年式	機 装 メーカー	車 齢 (年度)	摘 要	
大 曲 消 防 署 管 内	西 分 署	ポンプ1号車	日 野	秋田830そ 1101	H23	モリタ	10	CD-I型 (CAFS装置付き) 水槽600ℓ	
		ポンプ2号車	日 野	秋田800さ 6698	H18	モリタ	15	CD-I型	
		救 急 車	トヨタ	秋田830さ 1510	H27		5	高規格救急車	
		連 絡 車	トヨタ	秋田830す 810	H20		12		
	西 仙 北 分 署	ポ ン プ 車	日 野	秋田830た 1212	H24	モリタ	8	CD-I型 (CAFS装置付き) 水槽600ℓ	
		救 急 車	トヨタ	秋田830さ 1809	H30		2	高規格救急車	
		連 絡 車	トヨタ	秋田830す 1007	H22		10		
	協 和 分 署	ポ ン プ 車	日 野	秋田830た 1001	H22	モリタ	11	CD-I型 (CAFS装置付き) 水槽600ℓ	
		救 急 車	トヨタ	秋田831ほ 119	H24		8	高規格救急車	
		連 絡 車	トヨタ	秋田800さ 7971	H19		13		
	角 館 消 防 署 管 内	角 館 消 防 署	水槽付きポンプ車	いすゞ	秋田830さ 1701	H29	長野ポンプ	4	水-II型 (水槽3,000ℓ)
			ポ ン プ 車	日 野	秋田830せ 1101	H23	モリタ	10	CD-I型 (CAFS装置付き) 水槽600ℓ
救助工作車			いすゞ	秋田830す 1303	H25	平和機械	8	救助工作車II型、消防ポン プ積載	
資機材搬送車			いすゞ	秋田830さ 909	H21		11		
指揮・連絡車			ニッサン	秋田830さ 1108	H23		9		
救 急 車			トヨタ	秋田831も 119	H25		7	高規格救急車	
田 沢 湖 分 署 管 内		田 沢 湖 分 署	ポ ン プ 車	日 野	秋田830す 1712	H29	モリタ	3	CD-I型 (CAFS装置付き) 水槽600ℓ
			は し ご 車	日 野	秋田830さ 2103	R3	モリタ	0	35m級先端屈折伸縮水路管 付き
			救 急 車	トヨタ	秋田830さ 1911	R1		1	高規格救急車
			災害対策支援車	三 菱	秋田830せ 707	H19		12	
		中 仙 分 署	ポ ン プ 車	日 野	秋田830た 2012	R2	モリタ	0	CD-I型 (CAFS装置付き) 水槽600ℓ
			救 急 車	トヨタ	秋田831ら 119	H26		6	高規格救急車
			連 絡 車	トヨタ	秋田830せ 1007	H22		10	
		西 木 分 署	ポ ン プ 車	日 野	秋田830つ 2001	R2	モリタ	1	CD-I型 (CAFS装置付き) 水槽600ℓ
			救 急 車	トヨタ	秋田830さ 1709	H29		3	高規格救急車
			連 絡 車	トヨタ	秋田830せ 907	H21		11	

# 火 災 出 動 区 分

## 大曲消防署管内

発生場所		区 分	第 1 出 動	第 2 出 動	第 3 出 動	出 動 台 数			
						第1	第2	第3	
大 仙 市	大 地 曲 域	市街地No.1	大曲(2) 南(1) 西(1) 東(1)	南(1) 中仙	東(1) 角館(1)	5	7	9	
		市街地No.2	大曲(2) 南(2) 西(1)	東(1) 中仙	西(1) 角館(1)	5	7	9	
		花 館	大曲(2) 南(1) 西(2)	東(1) 中仙	角館(1)	5	7	8	
		角間川・ 藤 木	大曲(2) 南(2) 西(1)	東(1) 西(1)	東(1)	5	7	8	
		四 ツ 屋	大曲(2) 西(2) 中仙	南(1) 東(1)	角館(1)	5	7	8	
		内小友・ 大川西根	大曲(2) 南(1) 西(1)	南(1) 西(1)	中仙	4	6	7	
	神 岡 地 域		西(2) 西仙北	大曲(1) 協和	中仙	3	5	6	
	西 仙 北 地 域	土 川 以 外	西仙北 西(1) 協和	大曲(1) 西(1)	中仙	3	5	6	
		土 川	西仙北 西(1) 中仙	大曲(1) 角館(1)	東(1)	3	5	6	
	太 地 田 域	長 信 田	東(2) 中仙	大曲(1) 角館(1)	南(1)	3	5	6	
		横 沢 ・ 国 見	東(2) 中仙	角館(1) 南(1)	大曲(1)	3	5	6	
	仙 北 地 域	高 梨	東(2) 大曲(1) 南(1)	南(1) 中仙	大曲(1)	4	6	7	
		横 堀	東(2) 大曲(1) 中仙	角館(1) 南(1)	大曲(1)	4	6	7	
	協 和 地 域	荒 川	協和 西仙北 角館(1)	大曲(1) 西(1)	西(1)	3	5	6	
		荒川以外	協和 西(1) 西仙北	大曲(1) 角館(1)	西(1)	3	5	6	
	南 外 地 域	南 檜 岡	西(2) 大曲(1)	西仙北 南(1)	中仙	3	5	6	
		外 小 友	西(2) 大曲(1)	南(1) 西仙北	大曲(1)	3	5	6	
	美 郷 町	六 郷 地 域		南(2) 東(1)	大曲(1) 東(1)	大曲(1)	3	5	6
		千 畑 地 域	千 屋	東(2) 南(1)	大曲(1) 中仙	南(1)	3	5	6
			畑 屋	東(2) 南(1)	大曲(1) 南(1)	大曲(1)	3	5	6
仙 南 地 域		南(2) 大曲(1)	大曲(1) 東(1)	西(1)	3	5	6		

## 角館消防署管内

発生場所		区分	第1出動	第2出動	第3出動	出動台数		
						第1	第2	第3
大仙市	中仙地域		中仙 角館(1) 東(1)	大曲(1) 東(1)	南(1)	3	5	6
仙北市	角館地域	角 館	角館(2) 中仙	西木 東(1)	大曲(1) 田沢湖	3	5	7
		白 岩	角館(2) 中仙	田沢湖 東(1)	東(1)	3	5	6
		雲 沢	角館(2) 中仙	西木 東(1)	西仙北	3	5	6
		中 川	角館(2) 中仙	西木 東(1)	東(1)	3	5	6
	田沢湖地域		田沢湖 角館(1) 西木	中仙 東(1)	大曲(1)	3	5	6
	西木地域	上・下 桧 木 内	西木 角館(1) 田沢湖	中仙 東(1)	大曲(1)	3	5	6
		西 明 寺	西木 角館(1) 中仙	田沢湖 東(1)	大曲(1)	3	5	6

※ ( ) 内は出動台数とする。

※ 指令により火災発生場所の第1出動隊は、直ちに出動すること。  
危険区域は、第2出動を第1出動とする。

※ 火災規模・種別・その他の状況により隊編成が変更となる。

※ 救助工作車・はしご自動車・化学車の出動については、個別指令により運用する。

※ 特定地域については、次のとおりとする。  
なお、細部については隣接する所属において決定運用する。  
市街地No.1 ……丸子川以北地域の出動編成  
市街地No.2 ……丸子川以南地域の出動編成

※ 圏外応援出動 南分署(1) ……横手市金沢本町、金沢中野、安本、黒川、寺村  
南分署(1) ……横手市大雄地区(福島、野崎地内)  
大曲消防署(1) ……横手市大森地区(板井田地内)

※ 上記出動区分はあくまでも基準であり、災害発生時には災害状況に応じ、管轄車両及び現場直近車両等を指令システムにより選定し、運用されるものである。

# 消防・救助用特殊資機材一覧表

(令和3年4月1日現在)

種 別	消防本部	大曲管内	角館管内	合計	種 別	消防本部	大曲管内	角館管内	合計
画像探索機Ⅰ型		1		1	ハンマードリル		2	1	3
画像探索機Ⅱ型		1		1	携帯用コンクリート破壊器具		2	2	4
地中音響探知機		1		1	削岩機		2		2
熱画像直視装置		7	6	13	ペダルカッター			1	1
夜間暗視装置		1		1	マット型空気ジャッキ		1	2	3
放射線測定器 (サーベイメーター)		2	1	3	可搬式ウインチ		4	4	8
放射線個人線量計		14	12	26	車両移動器具 (ゴージャック)		2	1	3
可燃性・有毒ガス・酸素測定器		2	7	9	空気式救助マット		1	2	3
送排風機		1	3	4	マンホール救助器具 (救助用支点器具)		1	1	2
耐熱服		4		4	緩降機		2	1	3
放射線防護服		3		3	三連はしご		12	9	21
化学防護服 (レベルA対応)		5		5	ワイヤーはしご		1	1	2
化学防護服 (レベルB対応)		3	7	10	バスケット担架		6	3	9
化学防護服 (レベルC対応)		13	2	15	携帯GPS			4	4
防毒衣			3	3	平担架		1	1	2
防毒マスク		26	29	55	サーバイバースリング		2	3	5
除染シャワー		1		1	救命索発射銃		1		1
耐電用具		9	11	20	インパルス消火装置			3	3
大型油圧救助器具		3	1	4	背負式消火水のう (ジェットシューター)		75	34	109
電動救助工具 (マルチカッター)		1	2	3	空気呼吸器		79	41	120
ポートパワー			2	2	酸素呼吸器				0
プランジャーラム		1		1	簡易呼吸器		2		2
エンジンカッター		5	4	9	電動ソー		3	4	7
チェーンソー		10	7	17	救助艇		1	1	2
エアーツール		1	1	2	救命胴衣		97	35	132
充電式鉄線カッター		1		1	災害対策用 UAV (ドローン)		1	1	2
ガス溶断機		1	1	2					

# 職員の免許等取得状況

(令和3年4月1日現在)

階級別 免許・資格別	計	消防 正監	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士
大型自動車	216	1	3	10	37	48	44	60	13
中型自動車(8t限定)	154	1	3	12	42	51	45		
準中型自動車	5								5
準中型自動車(5t限定)	109					1	6	63	39
大型特殊自動車	68		1	5	12	14	19	13	4
自動二輪	57			3	13	14	16	6	5
けん引車	13			1	1	6	3	2	
小型車両系建設機械	114		1	6	27	24	22	30	4
車両系建設機械	16			2	6	4	3	1	
小型移動式クレーン	43			2	8	16	8	8	1
玉掛け技能	46			3	6	16	11	9	1
小型船舶操縦士	62		2	3	11	15	15	14	2
特殊無線技士	254	1	1	8	37	48	42	63	54
酸素欠乏・硫化水素 危険作業主任者	26			2	4	7	6	7	
特定化学物質作業主任者(EOG)	18			1	4	7	4	2	
アマチュア無線技士	39		3	7	17	8	4		
衛生管理者	10		2	1	4	2	1		
電気工事士	9				2		2	2	3
アセチレンガス溶接士	25			3	3	12	6		1
ボイラー技士	7		1		1	2	2	1	
消防設備士	43		1	4	7	8	9	6	8
危険物取扱者 甲	10				1	2	3	4	
危険物取扱者 乙	250	1	3	8	29	49	44	62	54
危険物取扱者 丙	17			2	9	1	1	2	2
商業簿記三級以上	23				3	4	5	5	6
救急救命士	66		1	1	5	17	17	19	6
救急課程	241	1	2	11	39	48	42	56	42
応急手当指導員	241	1	3	12	42	51	50	61	21
石油機器技術者	11			2	2	3	3	1	
潜水士	32			1	7	10	8	5	1
予防技術検定(消防用設備等)	23		1	3	7	5	5	2	
予防技術検定(査察)	78		1	5	9	11	21	26	5
予防技術検定(危険物)	19		1	1	4	6	5	2	

# 職員教養訓練実施状況

(令和2年度)

区分		階級別	延べ人員	回数	消防司令上長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
学校	消防	上級幹部科									
		幹部科	1			1					
		警防科	1				1				
	大学	予防科	1				1				
		救急科									
		救助科									
		新任教官科									
	校	国民保護コース									
		指揮隊長コース	2			2					
		救急救命研修所	3						3		
	教育等	県消防学校	初任教育	11							11
			警防科	3					2	1	
			予防科	4					1	2	1
			火災調査科	2					1	1	
救急科			11							11	
救助科			4						1	3	
特殊災害科			2					2			
救急特別講習			6				2	1	2	1	
追加処置認定講習			4					1	2	1	
ビデオ喉頭鏡追加講習			5						4	1	
幹部教育			2				2				
消防操法指導員講習											
		緊急自動車運転技能者講習									
本部・署教育訓練	実務	機関講習	1,819	478	28	298	316	263	255	659	
		救助艇操縦講習	44	4		2	6	13	9	14	
		交通法規講習	417	35	9	59	66	65	54	164	
		火災防ぎょ訓練	3,028	351	52	364	502	432	508	1,170	
		救助訓練	2,318	325	9	140	515	376	393	885	
		訓練礼式	2,137	190	20	159	360	367	395	836	
		凶上訓練	1,522	171	20	214	266	243	208	571	
		消防操法	1,826	171	20	254	320	292	272	668	
救急隊員講習	2,109	445		155	359	369	376	850			

# 消 防 水 利 の 状 況

(令和3年4月1日現在)

地 域 別	水 利 合 計	消 火 栓		防 火 水 槽				プ ー ル	指 定 消 防 水 利
		公 設	私 設	有 蓋		無 蓋			河 川 池・沼 井戸等
				4 0 t 以 上	4 0 t 未 満	4 0 t 以 上	4 0 t 未 満		
大仙市	2,466	1,238	7	1,012	173	1		32	3
仙北市	995	602	6	335	37	2	1	12	
美郷町	986	704		229	47	1		5	
合 計	4,447	2,544	13	1,576	257	4	1	49	3

# 緊急消防援助隊

緊急消防援助隊は、平成7年（1995年）1月17日の阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、国内で発生した地震等の大規模災害時における人命救助活動等をより効果的かつ迅速に実施し得るよう、全国の消防機関相互による援助体制を構築するため、全国の消防本部の協力を得て、平成7年6月に創設されました。

この緊急消防援助隊は、平常時においては、それぞれの地域（市町村）における消防責任の遂行に全力を挙げる一方、いったん、国内のどこかにおいて大規模災害が発生した場合には、消防庁長官の求め・指示により全国から当該災害に対応するための消防部隊が被災地に集中的に出動し、人命救助等の消防活動を実施するというシステムです。

## 緊急消防援助隊の登録状況（令和3年4月1日現在）

部隊種別	県指揮隊	消火部隊	救助部隊	救急部隊	後方支援部隊	合計
登録隊数	1隊	5隊	1隊	1隊	3隊	11隊

## 緊急消防援助隊の派遣状況（令和3年4月1日現在）

### ●平成20年岩手・宮城内陸地震

派遣期間	平成20年6月14日～17日（4日間）					
出動先	岩手県奥州市、宮城県栗原市					
活動概要	岩手県奥州市に出動するが、活動拠点（奥州市水沢公園）にて宮城県栗原市への転戦指示を受け駒ノ湯温泉における行方不明者の検索救助活動および栗駒スポーツセンターでの救急搬送支援活動にあたる。					
派遣規模	県指揮隊	消火隊	救助隊	救急隊	後方支援隊	合計
	1隊4名	1隊5名	1隊5名	1隊3名	1隊4名	5隊21名 (のべ20隊84名)

### ●岩手県沿岸北部を震源とする地震

派遣期間	平成20年7月24日（1日間）					
出動先	岩手県久慈市					
活動概要	進出拠点（盛岡市アイスアリーナ）にて待機する。					
派遣規模	県指揮隊	消火隊	救助隊	救急隊	後方支援隊	合計
	1隊3名	1隊5名	1隊5名	-	1隊2名	4隊15名 (のべ4隊15名)

●東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）

派遣期間	平成23年3月11日～4月28日（うち30日間）					
出動先	岩手県宮古市（3月11日～）、宮城県南三陸町（4月13日～）					
活動概要	岩手県宮古市	指揮隊・救助隊・消火隊は行方不明者の検索救助活動及び消火活動にあたる。救急隊は救急対応にあたる。				
	宮城県南三陸町	救急隊による救急活動にあたる。				
派遣規模 (1次隊～8次隊まで)	県指揮隊	消火隊	救助隊	救急隊	後方支援隊	合計
	1隊9名	2隊20名	1隊15名	1隊21名	3隊20名 (隊員搬送隊含む)	8隊85名※ (のべ104隊325名)

※その他引揚支援等に20名派遣

●北海道胆振東部地震

派遣期間	平成30年9月6日～9月11日（6日間）					
出動先	北海道厚真町（9月6日～）					
活動概要	北海道厚真町	救助隊による行方不明者の検索救助活動にあたる。				
派遣規模 (1次隊及び2次隊)	県指揮隊	消火隊	救助隊	救急隊	後方支援隊	合計
	—	—	2隊10名※	—	—	2隊10名

※統合機動部隊救助隊として9月6日～9月10日まで1次隊が派遣となり、9月9日～9月11日まで2次隊が派遣となる。

●令和元年東日本台風（台風19号）

派遣期間	令和元年10月13日～10月18日（6日間）					
出動先	宮城県伊具郡丸森町（10月13日～）					
活動概要	丸森町	指揮隊・消火隊は行方不明者の検索救助活動にあたる。救急隊は救急対応にあたる。				
派遣規模 (1次隊及び2次隊)	県指揮隊	消火隊	救助隊	救急隊	後方支援隊	合計
	1隊8名	1隊10名	—	1隊6名	1隊6名	4隊30名

※9月6日～9月10日まで1次隊が派遣となり、9月9日～9月11日まで2次隊が派遣となる。

## 緊急消防援助隊合同訓練への参加状況

緊急消防援助隊が発足した平成7年以降、5年ごとに全国合同訓練が実施されており、また、全国6ブロックごとに毎年地域ブロック合同訓練が実施されている。

訓練への参加状況は以下のとおりである。

訓練区分	開催年月日	開催地		参加部隊、参加状況等
第1回全国合同	H 7.11.28-29	東京都	江東区豊洲	視察
平成8年度北海道・東北ブロック	H 8.12.19-20	宮城県	仙台市	救助小隊
平成9年度北海道・東北ブロック	H 9. 7.28-29	北海道	札幌市	救助小隊
平成10年度北海道・東北ブロック	H10. 7.28-29	青森県	青森市	救助小隊
平成11年度北海道・東北ブロック	H11.11. 4- 5	岩手県	矢巾町 (消防学校)	救助小隊
平成12年度北海道・東北ブロック	H12. 8. 1- 2	秋田県	秋田市	県内応援隊として救助小隊参加
第2回全国合同	H12.10.23-24	東京都	江東区有明	救助小隊
平成13年度北海道・東北ブロック	H13.11. 6- 7	山形県	山形市	救助小隊
平成14年度北海道・東北ブロック	H14.10.30-31	福島県	福島市	救助小隊
平成15年度北海道・東北ブロック	H15.11. 6- 7	新潟県	新潟市	救助小隊
平成16年度北海道・東北ブロック	H16.10.28-29	宮城県	仙台市	新潟中越地震のため訓練中止
平成17年度北海道・東北ブロック	H17. 9. 6- 7	北海道	函館市	台風14号の影響により 参集訓練のみ実施
第3回全国合同	H17. 6.10-11	静岡県	静岡市	不参加
平成18年度北海道・東北ブロック	H18.10.19-20	青森県	八戸市	救助小隊
平成19年度北海道・東北ブロック	H19.10.18-19	岩手県	一関市	救助小隊、後方支援小隊
平成20年度北海道・東北ブロック	H20.10.15-16	秋田県	大仙市	地元開催
平成21年度北海道・東北ブロック	H21.10.13-14	山形県	鶴岡市	救助小隊、後方支援小隊
第4回全国合同	H22. 6. 4- 5	愛知県	知多市	不参加
平成22年度北海道・東北ブロック	H22.11. 8- 9	福島県	郡山市	秋田県防災訓練大仙市開催のため不参加
平成23年度北海道・東北ブロック	—	—	—	東日本大震災のため中止
平成24年度北海道・東北ブロック	H24.10. 7- 8	宮城県	利府市ほか	視察 (図上訓練のみ)
平成25年度北海道・東北ブロック	H25.10.11-12	北海道	苫小牧市	都道府県指揮隊、後方支援小隊
平成26年度北海道・東北ブロック	H26.10.22-23	青森県	弘前市	都道府県指揮隊、後方支援小隊
平成27年度北海道・東北ブロック	H27.10.28-29	岩手県	北上市	救助小隊、後方支援小隊
平成28年度北海道・東北ブロック	H28.10.12-13	秋田県	能代市	指揮隊、救助小隊、後方支援小隊
平成29年度北海道・東北ブロック	H29.10. 6- 7	山形県	米沢市	指揮隊、救助小隊、後方支援小隊
平成30年度北海道・東北ブロック	H30.11.17-18	福島県	いわき市	救助小隊、後方支援小隊
平成31年度北海道・東北ブロック	—	—	—	令和元年東日本台風のため中止
令和2年度北海道・東北ブロック	R 2.10. 3	宮城県	大崎市ほか	視察 (図上訓練のみ)

# 消防相互応援協定等の締結状況

消防組織法第39条に基づくもの

(令和3年4月1日現在)

協定の名称	締結年月日	対象災害	協定等締結市町村
横手平鹿・大曲仙北広域消防相互応援協定	S48.4.1	全ての災害	横手市
仙岩トンネル及び十和田八幡平国立公園八幡平地域における消防相互応援協定	S51.10.28 (H24.4.24全部改正)	トンネル災害 及び全ての災害	盛岡地区 消防組合
仙岩トンネル及び十和田八幡平国立公園八幡平地域における消防相互応援協定に基づく覚書	S51.10.28 (H24.4.24全部改正)	トンネル災害 及び全ての災害	盛岡地区広域消 防組合消防本部
秋田自動車道消防相互応援協定	H3.7.15	高速道路災害	秋田市 横手市
秋田県広域消防相互応援協定	H6.12.1 (H29.3.27再締結)	全ての災害	秋田県内 12市町・組合
秋田県広域消防相互応援協定に基づく覚書	H6.12.1 (H29.3.27再締結)	全ての災害	秋田県内12市町・ 組合消防本部
秋田県消防防災ヘリコプター応援協定	H11.4.1	全ての災害	秋田県内 12市町・組合
日本海東北自動車道消防相互応援協定	H13.6.22	高速道路災害	秋田市
榎森トンネル消防相互応援協定	H15.8.20	トンネル災害等	北秋田市
榎森トンネル消防相互応援協定に基づく覚書	H15.8.20	トンネル災害等	北秋田市
十和田八幡平国立公園八幡平地域における消防相互応援協定	H26.3.27	秋田県広域消防 相互応援協定に 定める大規模災 害以外の災害	鹿角広域 行政組合
十和田八幡平国立公園八幡平地域における消防相互応援協定に基づく覚書	H26.3.27	秋田県広域消防 相互応援協定に 定める大規模災 害以外の災害	鹿角広域行政 組合消防本部
八幡平山頂レストハウス付近で発生した災害に対する対応体制について（3消防本部申し合わせ）	H26.4.16	八幡平山頂付近 で発生した災害	盛岡地区広域消 防組合消防本部 鹿角広域行政 組合消防本部

## その他

協定の名称	締結年月日	対象災害	協定等締結機関
鉄道災害発生時における消防活動に関する協定	H20.9.17	鉄道災害	JR秋田支社 JR盛岡支社
鉄道災害発生時における消防活動に関する協定	H20.12.25	鉄道災害	北秋田市 秋田内陸縦貫 鉄道株式会社
災害時における消防用水の確保に関する協定	H30.11.28	火災・風水害等	秋田県南地区 生コンクリート協同組合



# 予 防 関 係



体験型防火寸劇  
火滅の刃～火遊びは絶対にやめよう！



# 市町別中高層建築物

(令和3年4月1日現在)

市町別 階数別	大 仙 市	仙 北 市	美 郷 町	計
3 階	232	70	24	326
4 階	56	12	4	72
5 階	26	15		41
6 階	2	3		5
7 階	2	1		3
8 階	2			2
9 階				
10 階	1			1
11 階	1			1
12 階	1			1
計	323	101	28	452

# 防火対象物一覽並びに立入検査状況

(令和3年4月1日現在)

用途	区分		大仙市		仙北市		美郷町		合計	
	イ	ロ	対象物数	立入検査延べ回数	対象物数	立入検査延べ回数	対象物数	立入検査延べ回数	対象物数	立入検査延べ回数
1 項	劇場、映画館等		13	6	4	1	6	4	23	11
	集会場等		100	42	25	13	20	8	145	63
2 項	キャバレー等									
	遊技場等		14	14	1		1	1	16	15
3 項	その他風俗店等									
	カラオケボックスその他		1	2					1	2
4 項	料理店等		12	2	9	4	1	1	22	7
	飲食店等		94	68	43	28	8	5	145	101
5 項	百貨店等、マーケット、店舗等		170	92	60	17	20	8	250	117
	旅館、ホテル等		50	28	134	127	5	5	189	160
6 項	寄宿舎、共同住宅等		705	14	161	7	37		903	21
	特定病院		3						3	
7 項	特定診療所				2				2	
	非特定医療機関(有床)		9	2	2				11	2
8 項	非特定医療機関(無床)		62	12	16	4	7	4	85	20
	高齢者施設関係		82	23	32	13	33		147	36
9 項	救護施設									
	乳児院									
10 項	障害者入所施設									
	障害者支援施設		2	1			2		4	1
11 項	老人デイサービスセンター等		25	11	7	8	2	1	34	20
	更生施設									
12 項	保育所・幼保連携型認定こども園		30	8	10	2	3	2	43	12
	児童発達支援センター等		3	2	1	2			4	4
13 項	障害者支援施設等		22	3	7	3	9	3	38	9
	幼稚園又は特別支援学校		2		2	1			4	1
14 項	各種学校等		113	38	31	12	18		162	50
	図書館、美術館等		15	5	12	11	1		28	16
15 項	蒸気、熱気浴場等									
	イ以外の公衆浴場		4	2	6	4	2	2	12	8
16 項	車両の停車場等		2		4	1	1		7	1
	神社、寺院等		88	19	33	10	42		163	29
17 項	工場、作業場		560	92	185	29	133	2	878	123
	映画スタジオ等									
18 項	自動車庫、駐車場		85	16	33	5	28	1	146	22
	飛行機格納庫									
19 項	倉庫		515	61	98	21	111	5	724	87
	前各号に該当しない事業所		749	94	189	30	103	7	1041	131
20 項	特定複合用途防火対象物		352	61	159	46	82	11	593	118
	上記以外の複合用途対象物		178	19	43	10	54	1	275	30
16の2	地下街									
16の3	雑地下街									
17 項	重要文化財、重要民俗資料等		5	3	15	9	3	1	23	13
18 項	延長50メートル以上のアーケード									
合計			4,065	740	1,324	418	732	72	6,121	1,230

# 防火対象物階数別一覽表

(令和3年4月1日現在)

用途	区分	広域										計	昨年 同期					
		1階	2階	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階			11階	12階	13階	14階	地階 のみ
1 項	イ ロ	劇場、映画館等	7	13	2	1											23	23
		集会場等 キャハレー等	91	49	4	1												145
2 項	イ ロ ハ	遊技場等	6	10													16	16
		カラオケボックスその他		1														1
3 項	イ ロ	料理店等	3	18	1												22	21
		飲食店等	49	85	11												145	158
4 項	イ ロ	百貨店等、マーケット、店舗等	175	66	9												250	236
		旅館、ホテル等	40	109	21	6	6	4	1	1	1						189	196
5 項	イ ロ	寄宿舎、共同住宅等	26	737	83	27	29										903	902
		(1) 特定病院	1	1													3	3
6 項	イ ロ	(2) 特定診療所		1	1												2	2
		(3) 非特定医療機関(有床)	2	5	1	3											11	11
6 項	イ ロ	(4) 非特定医療機関(無床)	27	51	7												85	86
		(1) 高齢者施設関係	107	28	7	5											147	147
6 項	イ ロ	(2) 救護施設																
		(3) 乳児院																
6 項	イ ロ	(4) 障害者入所施設																
		(5) 障害者支援施設	4														4	4
6 項	イ ロ	(1) 老人デイサービスセンター等	24	10													34	32
		(2) 更生施設																
6 項	イ ロ	(3) 保育所・幼保連携型認定こども園	39	4													43	43
		(4) 児童発達支援センター等	3	1													4	4
6 項	イ ロ	(5) 障害者支援施設等	18	16	4												38	36
		幼稚園又は特別支援学校	1	3													4	4
7 項	イ ロ	各種学校等	62	70	25	5											162	161
		図書館、美術館等	16	11	1												28	28
9 項	イ ロ	蒸気、熱気浴場等																
		イ以外の公衆浴場	11	1													12	12
10 項	イ ロ	車両の停車場等	4	3													7	7
		神社、寺院等	58	104	1												163	159
12 項	イ ロ	工場、作業場	485	381	11	1											878	884
		映画スタジオ等																
13 項	イ ロ	自動車車庫、駐車場	109	33	1	3											146	135
		飛行機格納庫																
14 項	イ ロ	倉庫	473	246	5												724	711
		前各に該当しない事業所	528	440	63	6	3	1									1,041	1,035
16 項	イ ロ	特定複合用途防火対象物	62	465	51	13	2										593	585
		上記以外の複合用途対象物	21	232	17	1	1	1	1								275	269
16の2		地下街																
16の3		準地下街																
17 項		重要文化財、重要民俗資料等	13	10													23	23
18 項		延長50メートル以上のアーケード																
		合 計	2,465	3,204	326	72	41	5	3	2	1	1	1	1		6,121	6,079	

# 用途別建築同意件数

(令和2年度)

用途			区分	総数	新築	増築	改築	その他
1項	イ		劇場、映画館等					
	ロ		集会場等					
2項	イ		キャバレー等					
	ロ		遊技場等					
	ハ		その他風俗店等					
	ニ		カラオケボックスその他					
3項	イ		料理店等					
	ロ		飲食店等					
4項			百貨店等、マーケット、店舗等	7	7			
5項	イ		旅館、ホテル等					
	ロ		寄宿舍、共同住宅等	4	4			
6項	イ	(1)	特定病院					
		(2)	特定診療所					
		(3)	非特定医療機関（有床）					
		(4)	非特定医療機関（無床）	4	1	3		
	ロ	(1)	高齢者施設関係	3	3			
		(2)	救護施設					
		(3)	乳児院					
		(4)	障害者入所施設					
		(5)	障害者支援施設	2	2			
	ハ	(1)	老人デイサービスセンター等					
		(2)	更生施設					
		(3)	保育所・幼保連携型認定こども園	1	1			
		(4)	児童発達支援センター等	1	1			
		(5)	障害者支援施設等	3	3			
ニ		幼稚園又は特別支援学校						
7項			各種学校等	2	1	1		
8項			図書館、美術館等					
9項	イ		蒸気、熱気浴場等					
	ロ		イ以外の公衆浴場					
10項			車両の停車場等					
11項			神社、寺院等	1		1		
12項	イ		工場、作業場	11	6	5		
	ロ		映画スタジオ等					
13項	イ		自動車車庫、駐車場	12	11	1		
	ロ		飛行機格納庫					
14項			倉庫	10	4	6		
15項			前各号に該当しない事業所	22	18	4		
16項	イ		特定複合用途防火対象物	1	1			
	ロ		上記以外の複合用途対象物	5	5			
その他				88	80	8		
総数				177	148	29		

# 火災予防条例に基づく各種届出

(令和2年度)

区 分 \ 署・分署別	大曲消防署	東分署	南分署	西分署	協和分署	西仙北分署	角館消防署	田沢湖分署	中仙分署	西木分署	合計
裸火使用	4						11		5		20
防火対象物使用開始	71	15	60	17	7	5	25	21	13	13	247
火を使用する設備等	4	2	2	8			1	3			20
発電設備	1		4	1			2		2		10
変電設備	4	1	3	1	2		5	5	1	1	23
蓄電池設備	5		3	2	2	2	4	4	1	2	25
ネオン管灯設備											
水素ガス気球設備											
火災とまぎらわしい行為	19	24	26	17	6	3	12	13	12	7	139
山野火入											
煙火打上げ仕掛け	212	10	53	68	4	11	32	14	30	3	437
催物開催									2		2
水道断減水			6								6
指定洞道等											
道路工事	126	28	27	9	24	6	47	15	16	5	303
少量危険物貯蔵取扱	12	9	8	10	2	3	4	7	3	6	64
指定可燃物貯蔵取扱			1	1	7						9
露店等開設	2	1	2				1		5		11
合計	460	90	195	134	54	30	144	82	90	37	1,316

# 市町別危険物施設一覽

(完成検査済証交付施設)

(令和3年4月1日現在)

施設別		市町別	大 仙 市	仙 北 市	美 郷 町	合 計
製 造 所						
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所		40	9	6	55
	屋外タンク貯蔵所		28	14	2	44
	屋内タンク貯蔵所		2	4		6
	地下タンク貯蔵所		157	78	28	263
	簡易タンク貯蔵所		1			1
	移動タンク貯蔵所		182	50	35	267
	屋 外 貯 蔵 所		2	5		7
取 扱 所	給 油 取 扱 所		73 (23)	33 (13)	17 (1)	123 (37)
	第1種販売取扱所					
	第2種販売取扱所		1			1
	移 送 取 扱 所					
	一 般 取 扱 所		70	33	20	123
合 計			556	226	108	890

( ) は自家用給油取扱所

# 数量別危険物施設

(完成検査済証交付施設)

(令和3年4月1日現在)

施設別 数量別	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所					合 計
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	第 1 種 販 売 取 扱 所	第 2 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所	
5倍以下		25	15	5	145	1	259	5	8				56	519
5倍超え		16	20	1	70			2	15				45	169
10倍超え		12	8		42		2		21		1		20	106
50倍超え		2			5		6		24				2	39
100倍超え			1						20					21
150倍超え									13					13
200倍超え					1				22					23
1,000倍超え														0
5,000倍超え														0
10,000倍超え														0
合 計		55	44	6	263	1	267	7	123		1		123	890

## 容量別屋外タンク貯蔵所

(令和3年4月1日現在)

容量別	種 類	合 計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類
合 計		44				44		
100 kℓ 未 満		43				43		
100 kℓ 以上 500 kℓ 未満		1				1		
500 kℓ 以上1,000 kℓ 未満								

## 類 別 危 険 物 施 設

(令和3年4月1日現在)

施設別 種 類	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				合 計	
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	第 1 種 販 売 取 扱 所	第 2 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所		一 般 取 扱 所
第 1 類														0
第 2 類														0
第 3 類														0
第 4 類		50	44	6	263	1	267	7	123		1		123	885
第 5 類														0
第 6 類														0
混 在		5												5
合 計		55	44	6	263	1	267	7	123		1		123	890

# 危険物許認可等調べ

(令和2年度)

施設別 処理状況	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所					合 計
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	第 1 種 販 売 取 扱 所	第 2 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所	
設 置 許 可			2				14						1	17
変 更 許 可					4		6		33				4	47
水 張 検 査														0
水 圧 検 査									6					6
設 置 完 成 検 査			2				14						1	17
変 更 完 成 検 査					4		5		31				4	44
廃 止 届		2	5		2		9		2				5	25
仮 使 用 承 認									30					30
仮 貯 蔵 承 認														0
仮 取 扱 承 認														2

# 火災予防組合等結成調べ

(令和3年4月1日現在)

区分 市町名	少 年 消 防 ク ラ ブ	婦 人 防 火 ク ラ ブ	火 災 予 防 組 合	自 主 防 災 組 織	計
大 仙 市	1			387	388
仙 北 市				35	35
美 郷 町				105	105
合 計	1			527	528

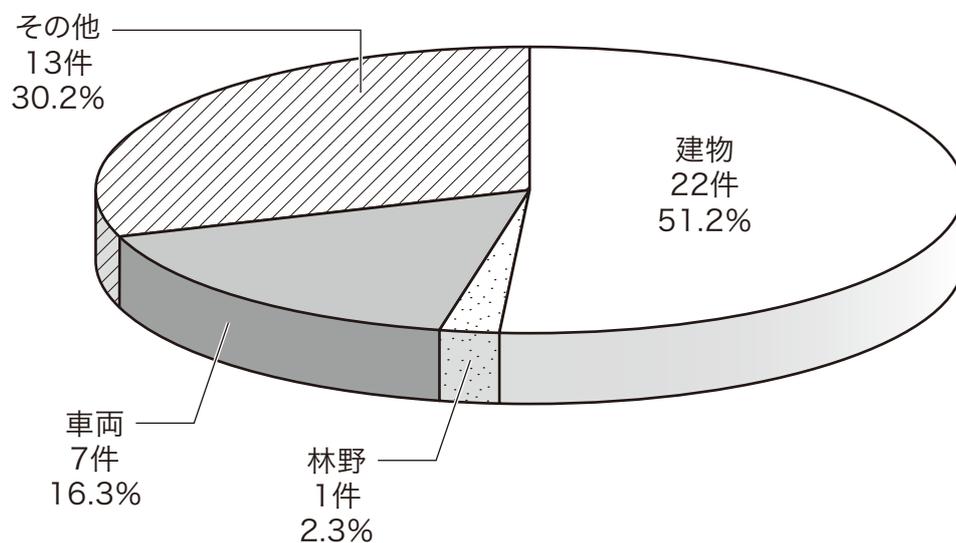
# 火 災 統 計

## 1. 令和2年の火災概要

令和2年の火災件数は43件で、前年の63件と比べて20件減少し、広域発足（昭和47年）以来最少タイとなった。種別ごとの件数を前年と比較すると、建物火災は17件減少、林野火災は1件減少、車両火災は同数、その他火災は2件減少した。

種別ごとに占める割合は、建物火災が全体の51.2%、その他火災が30.2%、車両火災が16.3%、林野火災が2.3%となっている。

### 火 災 種 別 の 内 訳



## 2. 損害及びり災状況

火災による損害額は1億1,127万5千円で、前年（4億6,448万6千円）より3億5,321万1千円減少した。

1日あたりに換算すると約30万4千円、火災1件あたりでは約258万8千円の損害を被ったことになる。

建物の焼損棟数は36棟で、前年の92棟に比べ56棟減少している。建物火災1件当たりですると約1.6棟が焼損したことになる。

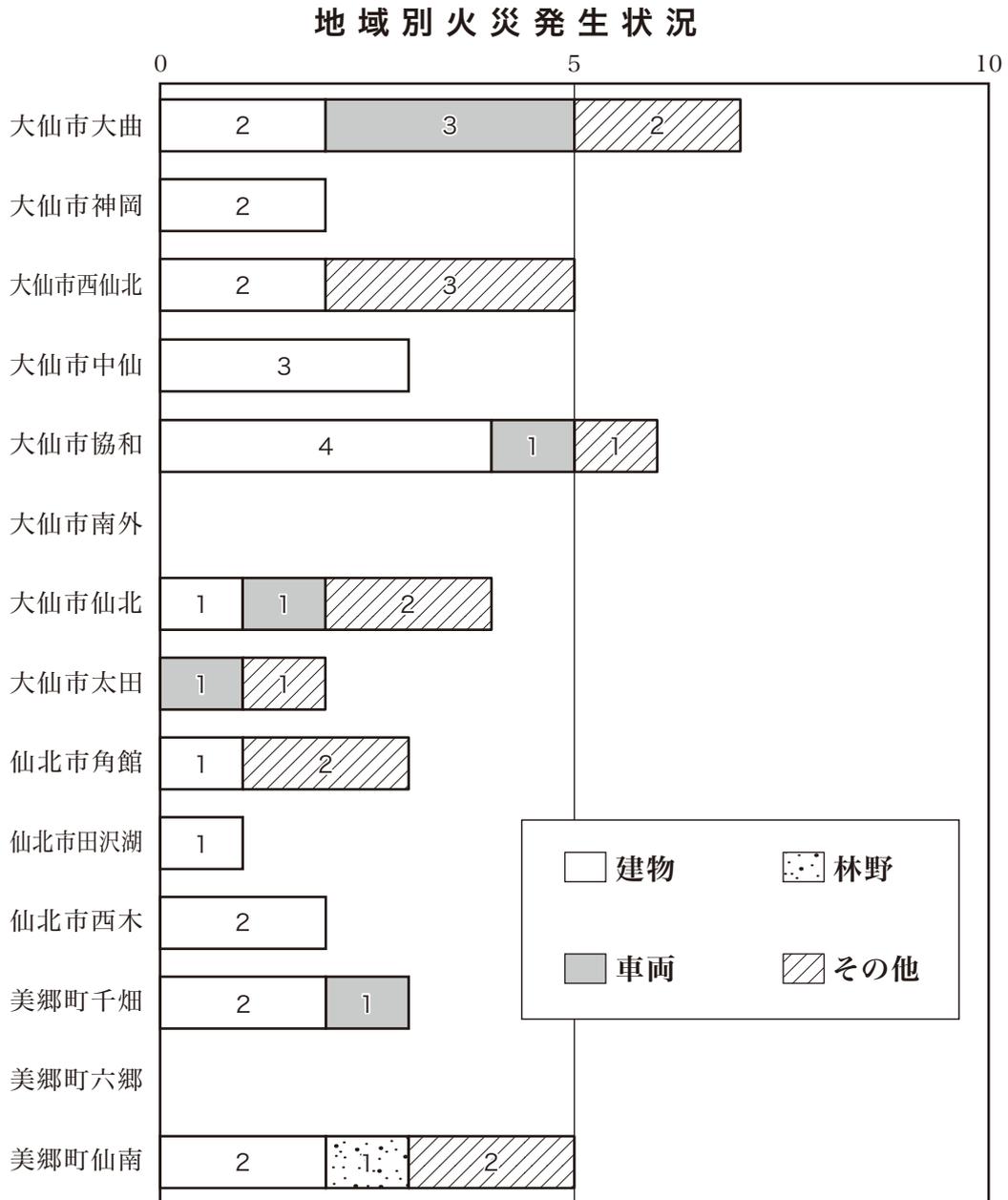
焼損面積（床面積）の合計が2,340㎡で、これは前年の8,953㎡に比べ約4分の1になっている。

り災世帯数は前年より28世帯減の14世帯、り災人員は38人となっている。

### 3. 地域別火災発生状況

地域別で最も火災が多かったのは、大仙市大曲の7件、その次に大仙市協和の6件と続いている。

また、大仙市南外・美郷町六郷では無火災となっている。



※ 火災種別の分類  
 建物火災：建物又はその収容物が焼損した火災  
 林野火災：森林、原野又は牧野が焼損した火災  
 車両火災：自動車車両、鉄道車両及び被けん引車又はこれらの積載物が焼損した火災  
 その他火災：上記以外（空地、田畑、道路、河川敷、ごみ集積場、電柱類など）の火災

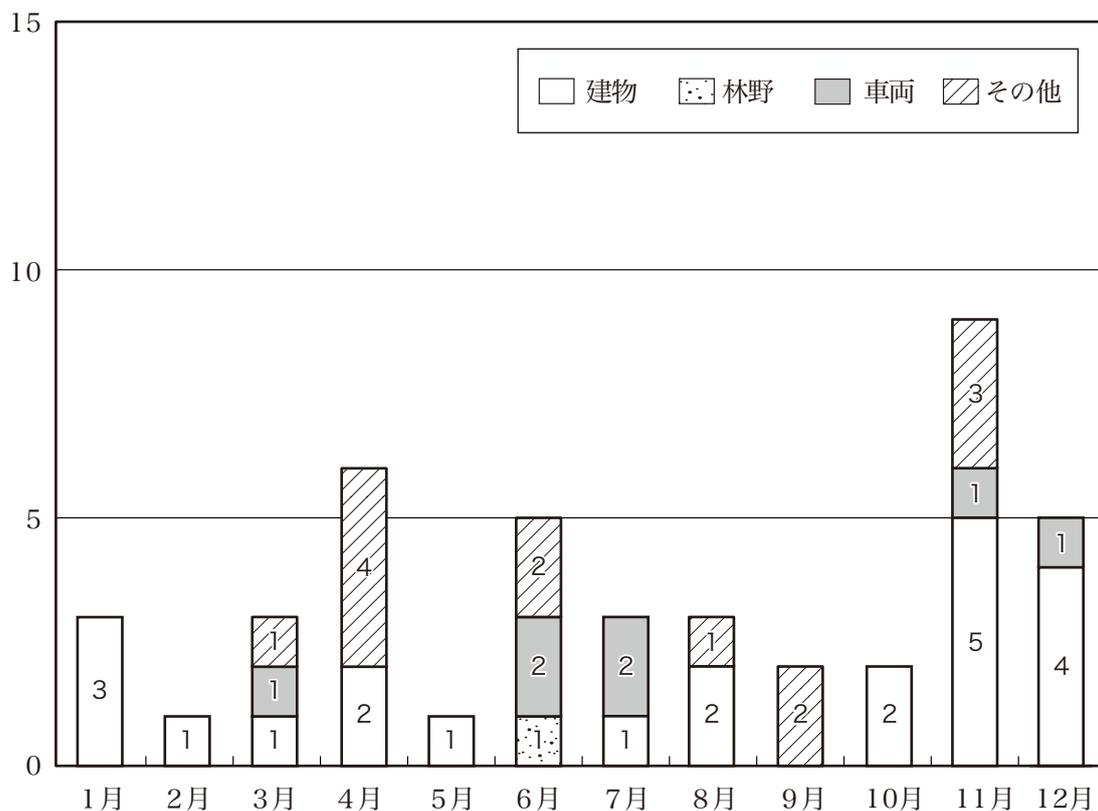
#### 4. 月別・曜日別・時間別火災発生状況

月別では、11月が9件と最も多く、続いて4月が6件、6月、12月が5件となっている。4月はその他火災の件数が多く、11月、12月は建物火災の件数が多くなっている。

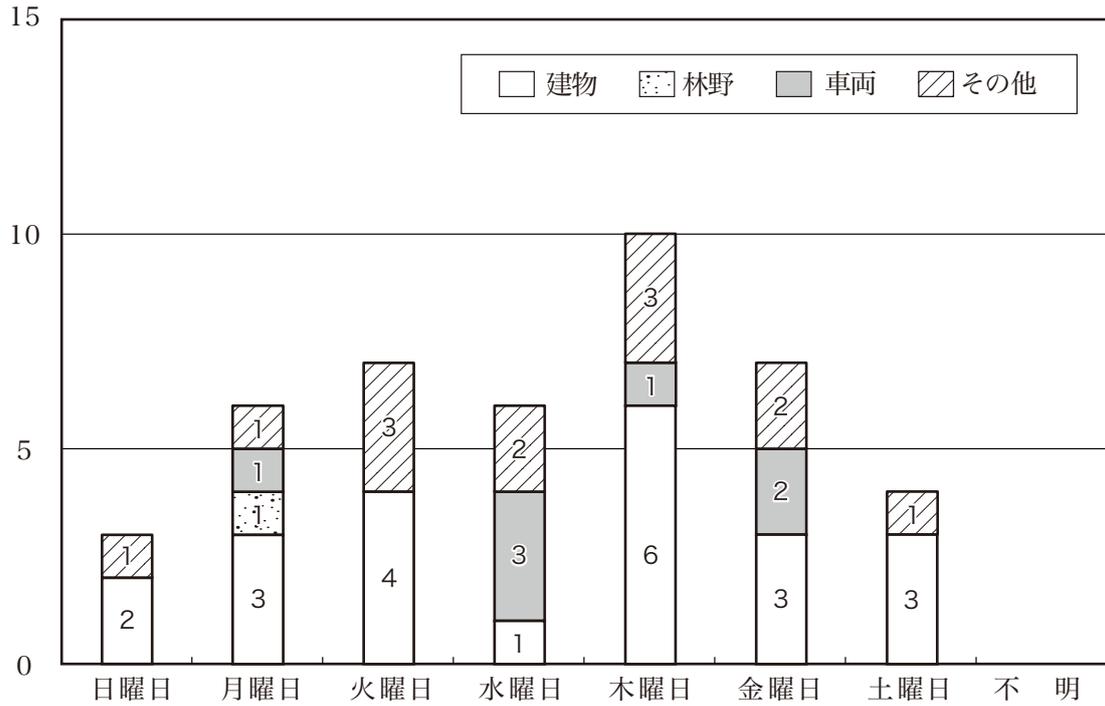
曜日別では、木曜日が10件と最も多く、反対に最も少ないのが日曜日で2件となっている。全体の割合として月曜日から金曜日が84%、土日が16%であり、土日の火災発生率は前年から半減している。

時間別に見ると、未明から朝（0時台～8時台）にかけて9件、日中（9時台～17時台）が27件、夜（18時台～23時台）が6件となっており、なかでも9時台が5件と最も多く、次いで7時台、14時台の4件となっており、日中における火災の発生が多い。

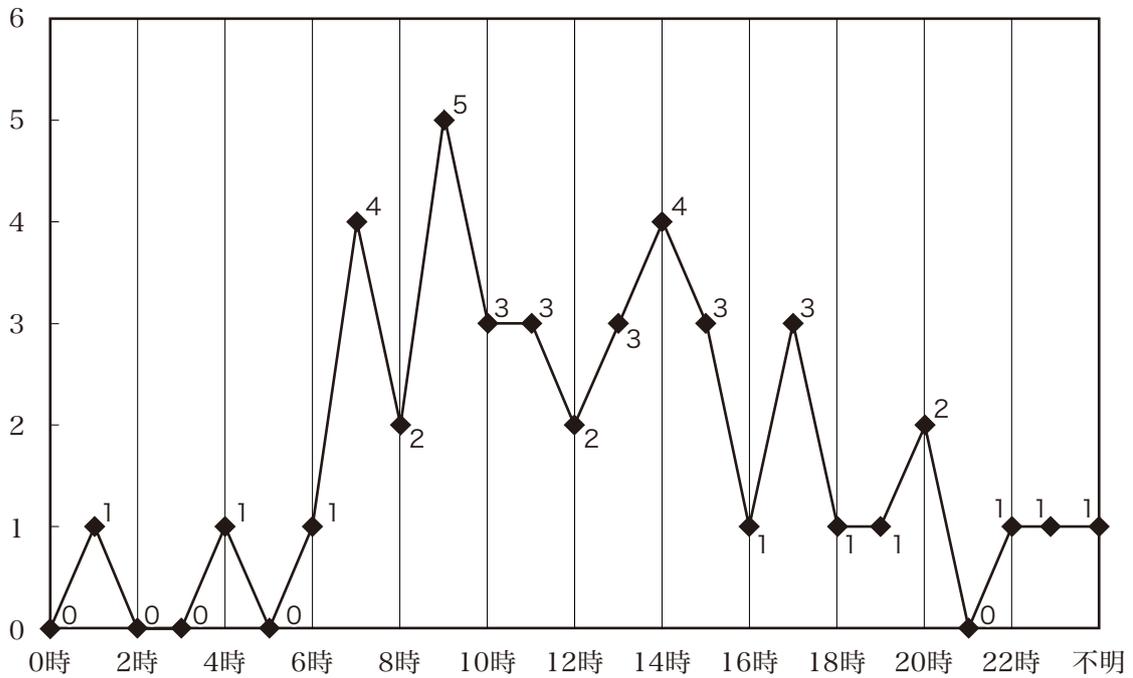
月別火災発生状況



曜日別火災発生状況



時間別火災発生状況



## 5. 死傷者の状況

火災による死者は前年より1名減り1名（男性1名）となっている。火災による負傷者は前年の7名から1名減り6名であった。

火災による死者の推移

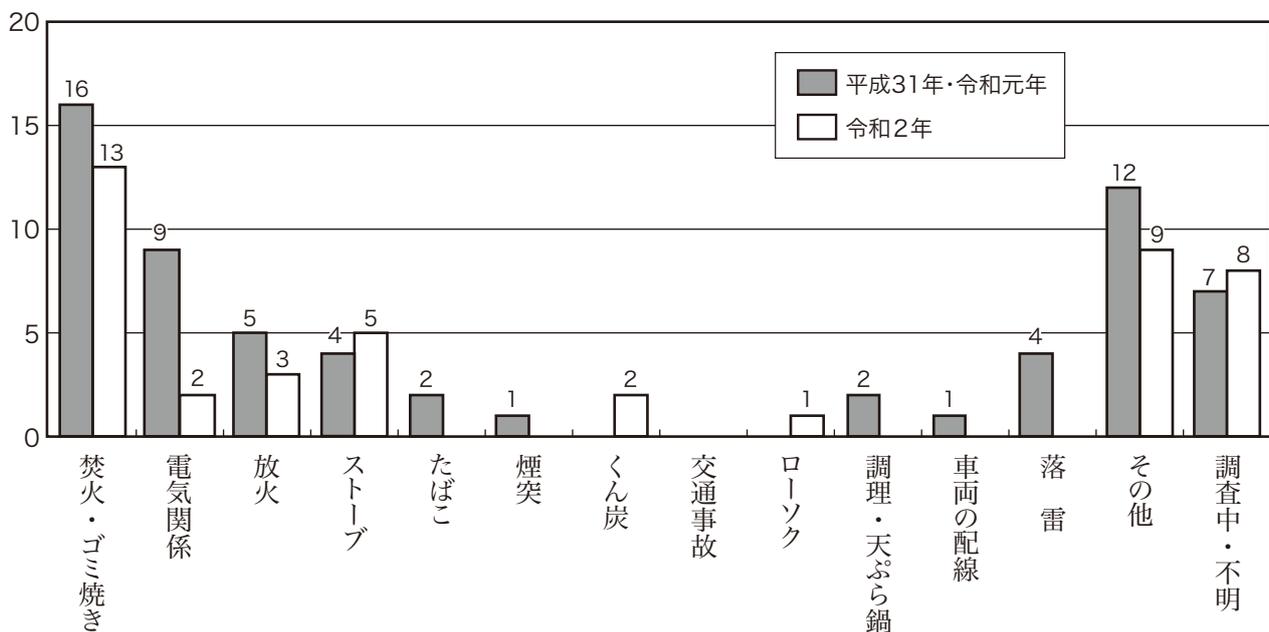
性別\年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年・令和元年	令和2年
男	1	1	3	1	1
女	4	0	1	1	0
計	5	1	4	2	1

## 6. 原因別火災発生状況

原因別の火災発生状況では「焚火・ゴミ焼き」が前年より3件減少しているものの最多の13件となっている。続いて「ストーブ」が5件、「放火」が3件となっている。

また、「電気関係」は前年に比べて7件減少し2件、「たばこ」は2件減少し0件となっている。

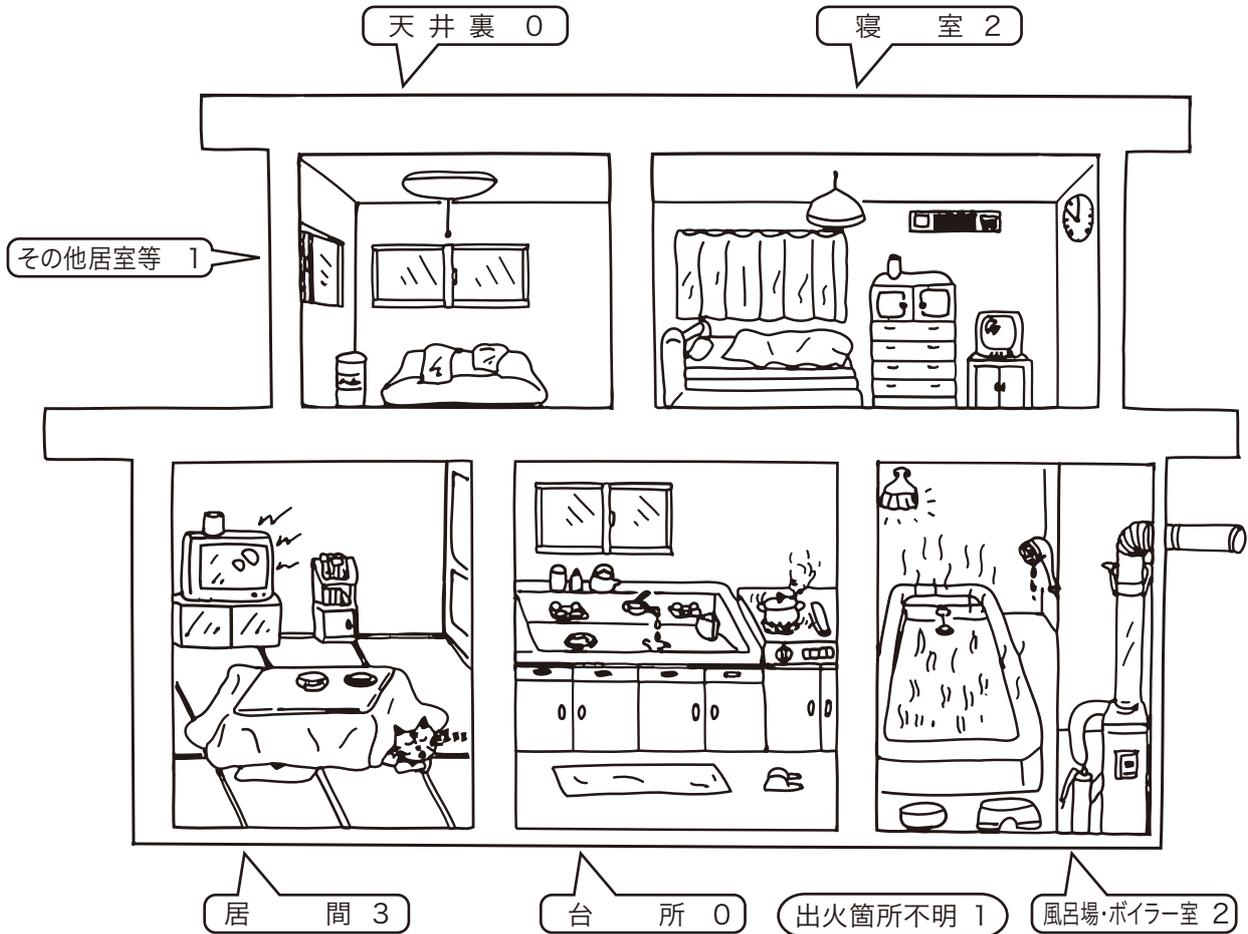
原因別火災発生状況



# 住宅火災の出火箇所と主な原因

(令和2年1月～令和2年12月)

9件中



## 住宅火災9件を分析

出火箇所	件数	原因別 (推定含む)
居間	3	・ストーブ2件 ・不明1件
寝室	2	・放火1件 ・不明1件
台所	0	
風呂場・ボイラー室等	2	・電気1件 ・ストーブ1件
その他居室等	1	・ローソク1件
天井裏	0	
不明	1	・不明1件

# 地 域 別 火 災

地 域 別	火 災 件 数	種 別						放水した ポンプ台数		出動人員		焼 損 棟 数								
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他					住 家				非 住 家				
								署	団	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や			
大 仙 市	大 曲	7	2		3			2	12	1	122	31	1			1			1	
	神 岡	2	2						2		28	27			1		1			
	西仙北	5	2					3	7	5	82	41					2		2	
	中 仙	3	3						4	4	57	55					1		1	3
	協 和	6	4		1			1	11	4	125	74	1	1	1	1	3		1	
	南 外																			
	仙 北	4	1		1			2	8	8	65	49	1							
	太 田	2			1			1	2		36	39								
小 計	29	14		6			9	46	22	515	316	3	1	2	2	7		5	3	
仙 北 市	角 館	3	1					2	4	3	73	46	1						2	
	田沢湖	1	1						1		23	13					1			
	西 木	2	2						4		37	39	1		1		1			
小 計	6	4					2	9	3	133	98	2		1		2		2		
美 郷 町	千 畑	3	2		1				10	3	87	86	1		1		1			
	六 郷																			
	仙 南	5	2	1				2	10	1	104	102		1						1
小 計	8	4	1	1			2	20	4	191	188	1	1	1		1			1	
合 計	43	22	1	7			13	75	29	839	602	6	2	4	2	10		7	4	

# 発 生 状 況

(令和2年1月～12月)

焼 損 面 積 等				り 災 世 帯	り 災 人 員	死 者	負 傷 者	損 害 見 積 額 (千円)							
床 面 積 ( $m^2$ )	表 面 積 ( $m^2$ )	林 野 等 (a)	車 両 等 (台)					建 物	内 容 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	合 計
128	11		3	2	4		2	2,160	1,053		1,148			130	4,491
10				1	7			181	19						200
77	1		1					759	316		100				1,175
182	20							2,782	1,316						4,098
852	16		2	4	13		3	32,063	4,010		269			794	37,136
140			1	1	1			2,948	416		30				3,394
			1											3	3
1,389	48		8	8	25		5	40,893	7,130		1,547			927	50,497
272	19			1	2			3,480	518					18,330	22,328
9								37	10						47
165	4		1	2	4	1		7,691	996		45				8,732
446	23		1	3	6	1		11,208	1,524		45			18,330	31,107
450	40		15	2	6			7,099	2,379		2,290			53	11,821
55		5		1	1		1	367	16,521	962					17,850
505	40	5	15	3	7		1	7,466	18,900	962	2,290			53	29,671
2,340	111	5	24	14	38	1	6	59,567	27,554	962	3,882			19,310	111,275

# 月 別 火 災

月 別	火 災 件 数	種 別						放水した ポンプ台数		出動人員		焼 損 棟 数							
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他					住 家				非 住 家			
								署	団	署 員	団 員	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や
1月	3	3						9	3	73	78			2		4		1	
2月	1	1						3	2	38	27	1						2	
3月	3	1		1			1	3		32	11					1			
4月	6	2					4	11	4	128	109		1		1	2			
5月	1	1								6								1	
6月	5		1	2			2	5		79	42								
7月	3	1		2				10	3	93	54	1							
8月	3	2					1	5	4	66	57					1		1	2
9月	2						2	1		38	13								
10月	2	2						7	1	54	43	1	1	1		1		1	
11月	9	5		1			3	10	10	130	120	1		1		1			2
12月	5	4		1				11	2	102	48	2			1			1	
合計	43	22	1	7			13	75	29	839	602	6	2	4	2	10		7	4

令和 元年	63	39	2	7			15	158	87	1,376	1,254	23	2	13	4	35	5	10	
前年比	-20	-17	-1				-2	-83	-58	-537	-652	-17		-9	-2	-25	-5	-3	4

# 発 生 状 況

(令和2年1月～12月)

焼 損 面 積 等				り 災 世 帯	り 災 人 員	死 者	負 傷 者	損 害 見 積 額 (千円)							
床 面 積 ( $m^2$ )	表 面 積 ( $m^2$ )	林 野 等 (a)	車 両 等 (台)					建 物	内 容 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	合 計
217	45		15	2	4			3,356	1,579		2,010			47	6,992
272	19			1	2			3,480	518					8	4,006
5			1								123				123
401				2	7		1	3,830	17,677					3	21,510
9								224							224
		5	2							962					962
320			2	1	5			4,282	1,221		1,355			6	6,864
181	20							2,782	1,443						4,225
														18,322	18,322
405	16		2	3	6	1	1	28,309	2,240		244				30,793
155			1	2	8		1	3,166	498		30			130	3,824
375	11		1	3	6		3	10,138	2,378		120			794	13,430
2,340	111	5	24	14	38	1	6	59,567	27,554	962	3,882			19,310	111,275
8,953	678	52	14	42	123	2	7	287,826	170,372	248	4,783			1,257	464,486
-6,613	-567	-47	10	-28	-85	-1	-1	-228,259	-142,818	714	-901			18,053	-353,211

## 最近5カ年間の火災発生状況

項目		年	令和2年	平成31年 令和元年	平成30年	平成29年	平成28年
		火災件数		43	63	46	47
種別	建物	22	39	30	28	31	
	林野	1	2		2	4	
	車両	7	7	9	2	9	
	船舶						
	航空機						
	その他	13	15	7	15	13	
放水したポンプ台数		署	75	158	90	101	110
		団	29	87	29	55	62
出動人員		署員	839	1,376	886	989	1,111
		団員	602	1,254	750	983	1,073
焼損棟数	住家	全焼	6	23	8	8	13
		半焼	2	2	1	5	1
		部分焼	4	13	14	6	8
		ぼや	2	4	1	5	4
	非住家	全焼	10	35	14	8	17
		半焼		5	2	2	3
		部分焼	7	10	9	11	10
		ぼや	4			3	5
焼損面積等	床面積 (㎡)	2,340	8,953	2,039	5,086	10,961	
	表面積 (㎡)	111	678	353	319	563	
	林野等 (a)	5	52		81	1,203	
	車両等 (台)	24	14	11	1	8	
り災世帯		14	42	24	32	32	
り災人員		38	123	45	83	86	
死者		1	2	4	1	5	
負傷者		6	7	9	4	5	
損害見積額 (千円)	建物	59,567	287,826	43,391	163,293	217,251	
	内容物	27,554	170,372	16,301	63,077	115,240	
	林野	962	248		2,639	35,881	
	車両	3,882	4,783	5,231	60	1,208	
	船舶						
	航空機						
	その他	19,310	1,257	31	103,167	599	
	合計	111,275	464,486	64,954	332,236	370,179	

# 救急救助関係



令和2年度 応急手当普及員養成講習

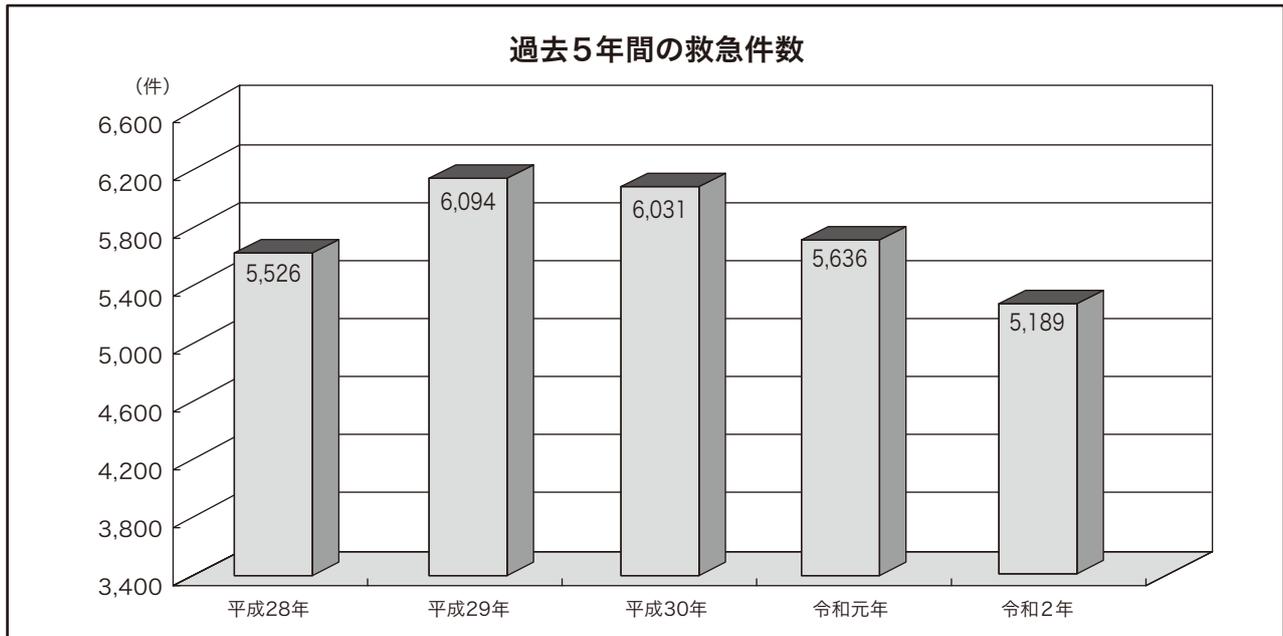


# 救 急 統 計

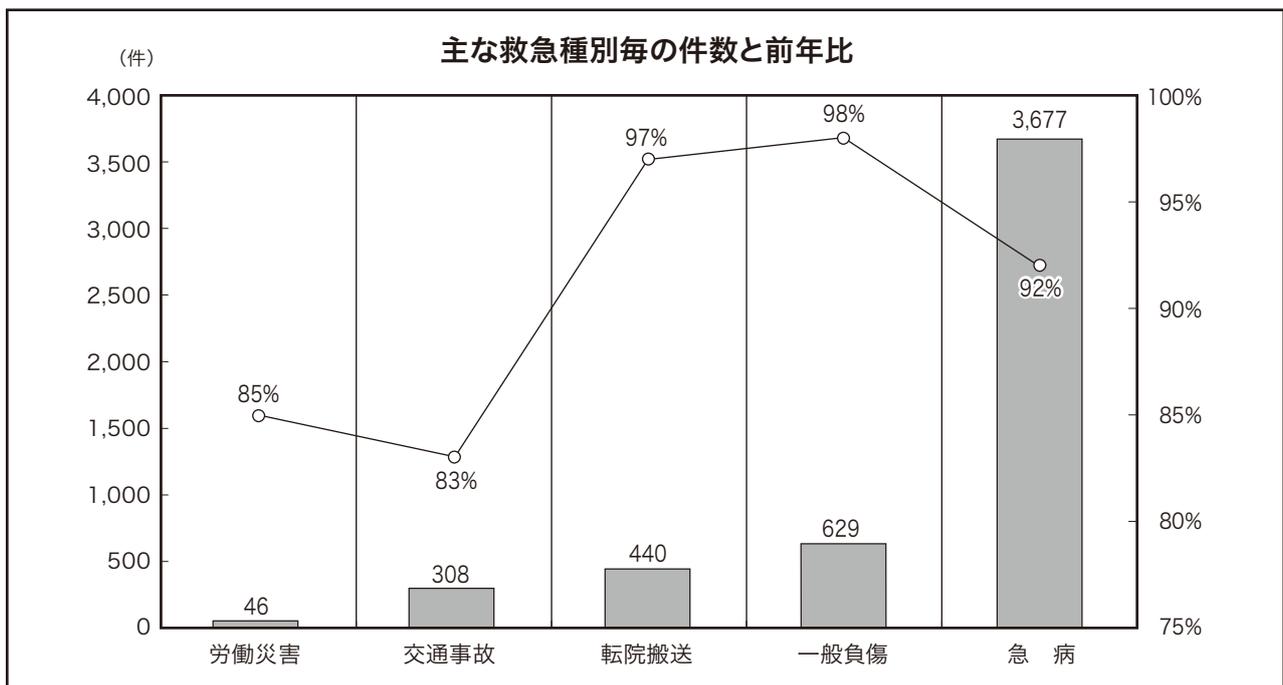
## 1. 救急出動件数とその内容

令和2年中の救急出動件数は5,189件で前年と比べると447件の減少となり、一日あたりの出動件数は14.2件で、101分に1回の割合で出動したことになる。

救急出動件数は全国的にみると、増加傾向であるが、当広域では管内の人口減少に比例して、3年連続で減少となっていることから、今後も人口減少とともに救急出動件数も減少傾向となることが予想される。



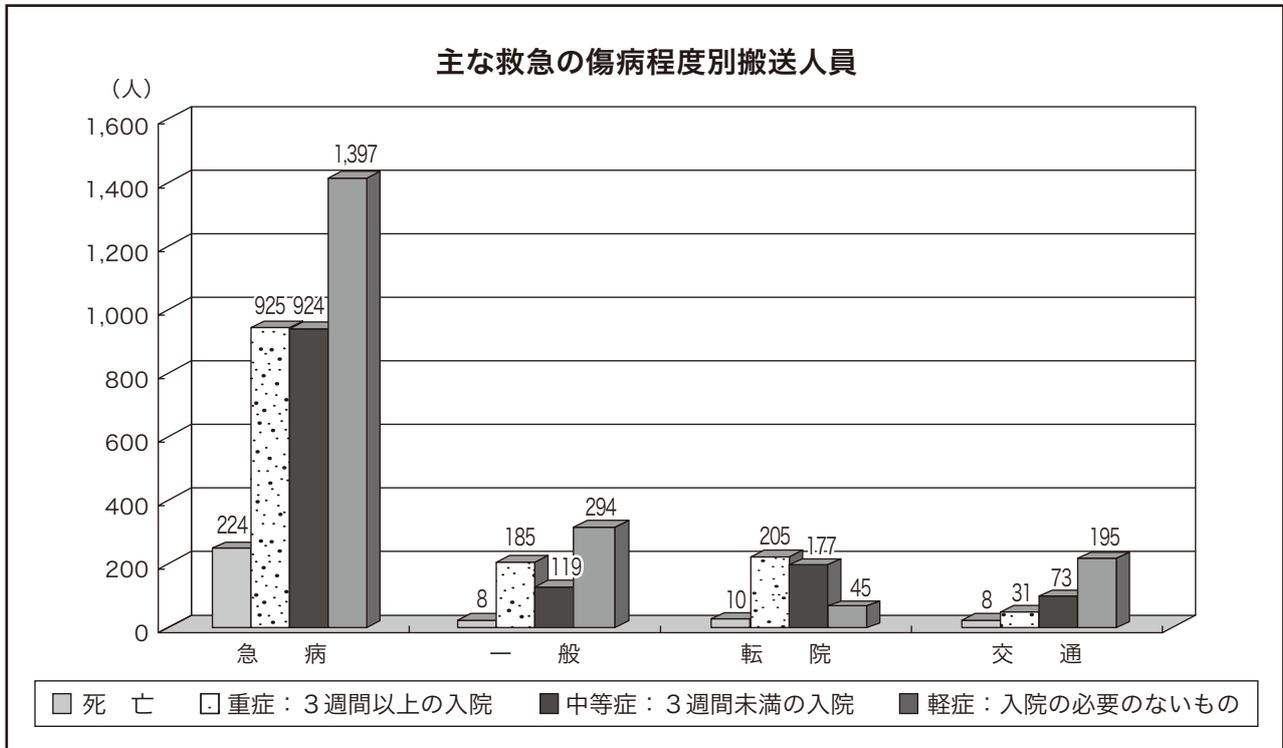
救急出動件数のうちもっとも多かった事故種別は、急病（3,677件、71%）、次いで一般負傷（629件、12%）である。前年と比べると、この事故種別ごとの割合は毎年ほぼ同じであり、大きな変化はみられない。



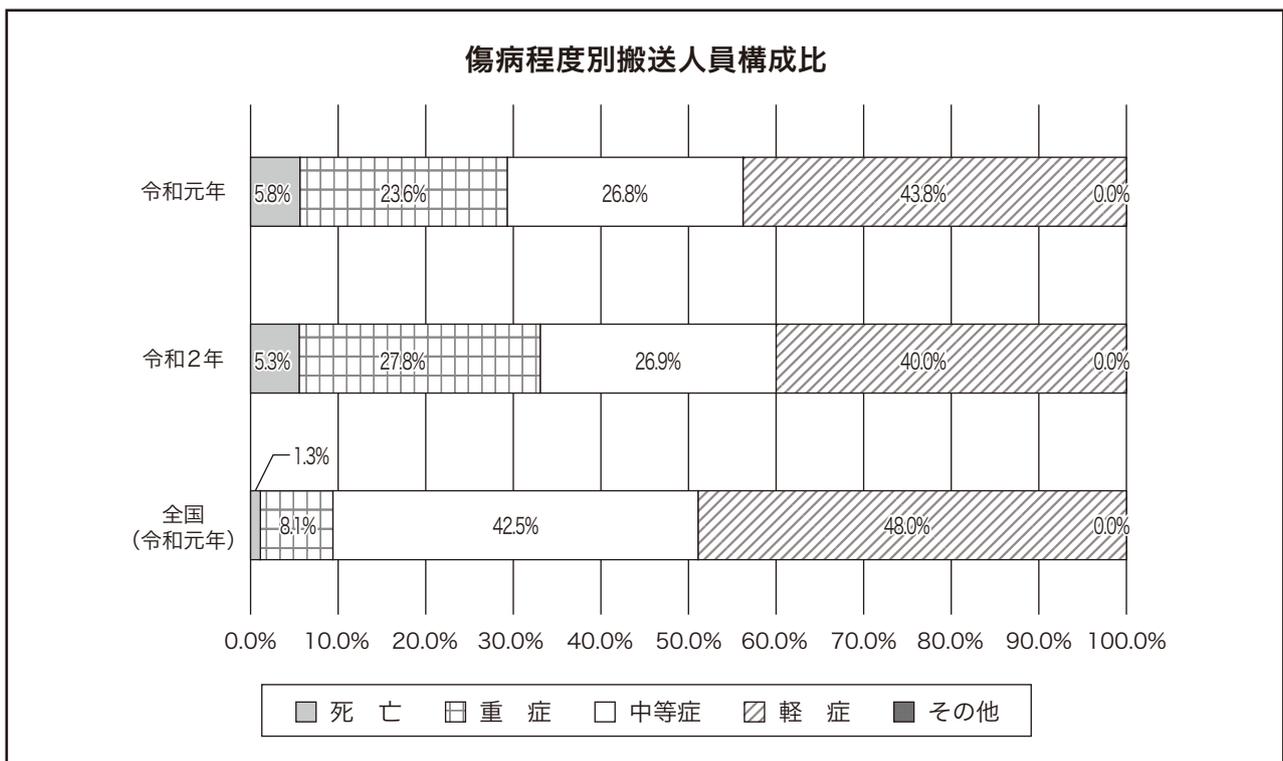


## 2. 救急搬送人員とその内容

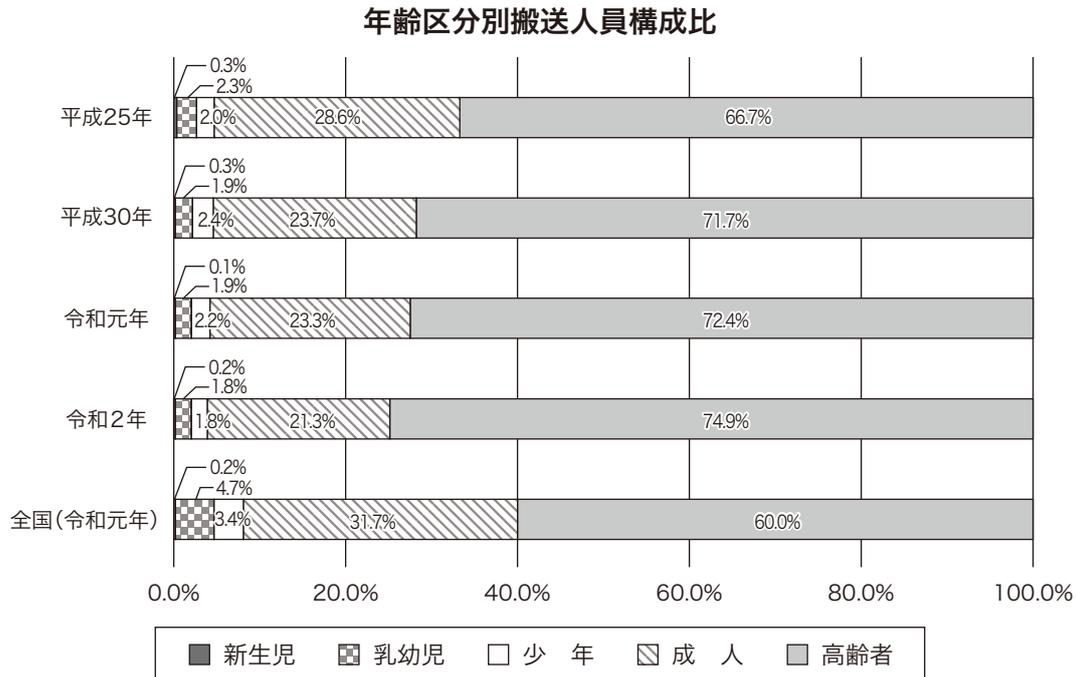
搬送人員は4,925人で、管内人口の約25人に1人、世帯割では約10世帯に1人が搬送されたことになる。種別では、急病（3,470人、70%）が多数を占めており、主な種別を傷病程度別にみると重症以上の割合は、急病33%（1,149人）、一般負傷32%（193人）、転院搬送49%（215人）となっている。



傷病程度別構成比をみると、全国と比べ重症以上の割合が高く、比較的救急車の適正な利用がされているものと分析する。引き続き救急車の適正利用について啓発していきたい。

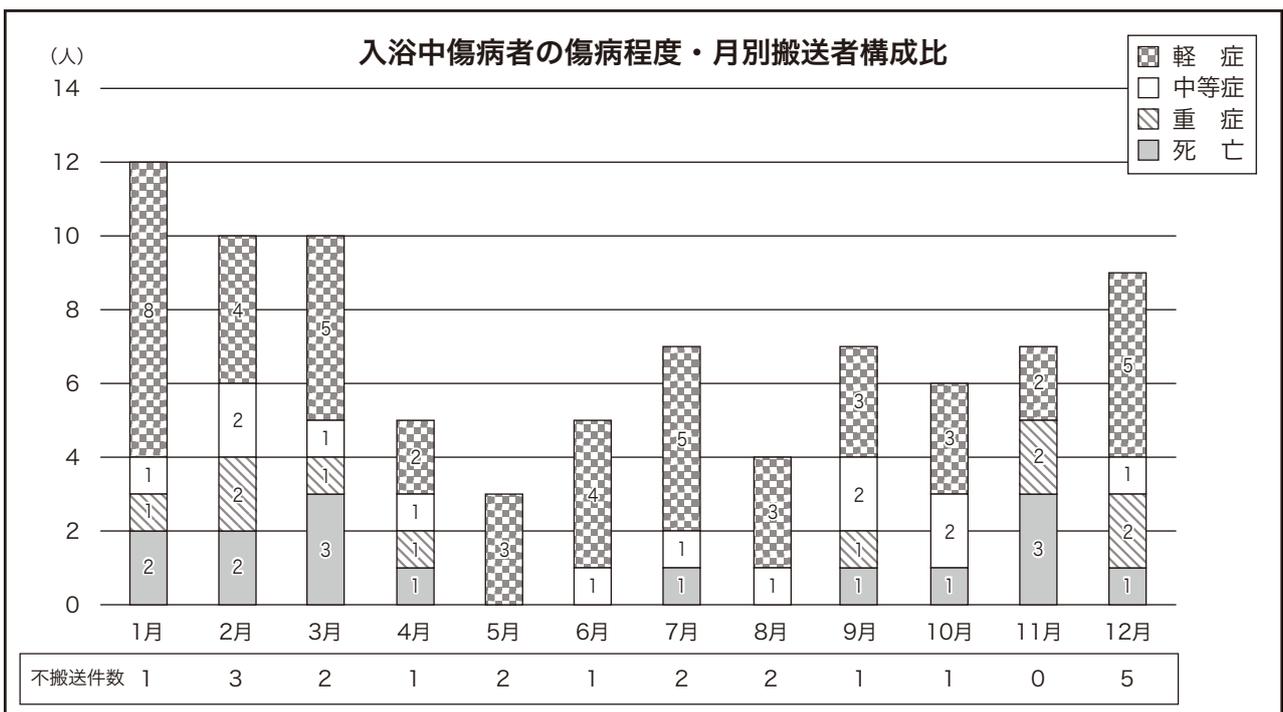


年齢別搬送人員をみると、高齢者の割合が年々増加し全国と比較しても高い割合を占めている。当地域の高齢化への人口構造の変化がここからもみて取れる。



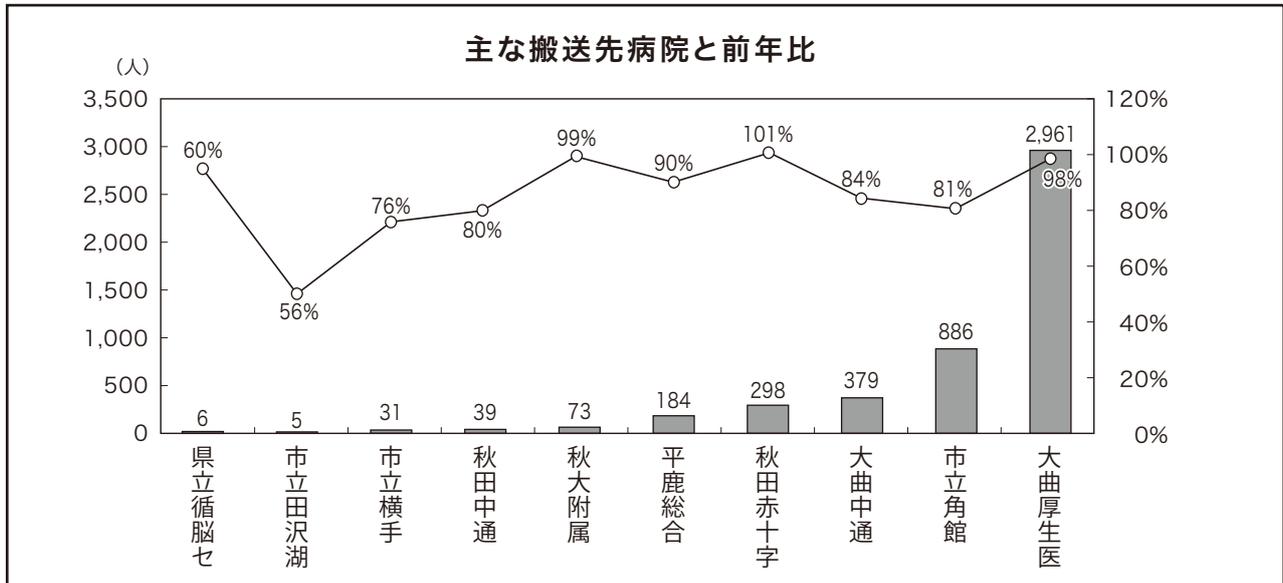
入浴に関する事故は、年間106件発生している。搬送者数は85人であり、うち73人（86％）は65歳以上である。不搬送であった21人については、搬送拒否の6人と緊急性なしの2人を除く13人が発見時すでに社会死状態で搬送に至らなかったものである。不搬送を含めた月別件数は12月（14件）、1月（13件）、2月（13件）が多くなっている。また、搬送者の重症度をみると、軽症が47人（55％）でもっとも多く、死亡は15人（18％）となっている。

不搬送の社会死を含めると28人が入浴中に亡くなっており、交通事故の搬送死亡者である8人の3倍を超えている。今後も関係機関と連携し、あらゆる機会を捉え入浴事故防止を啓発していく必要がある。

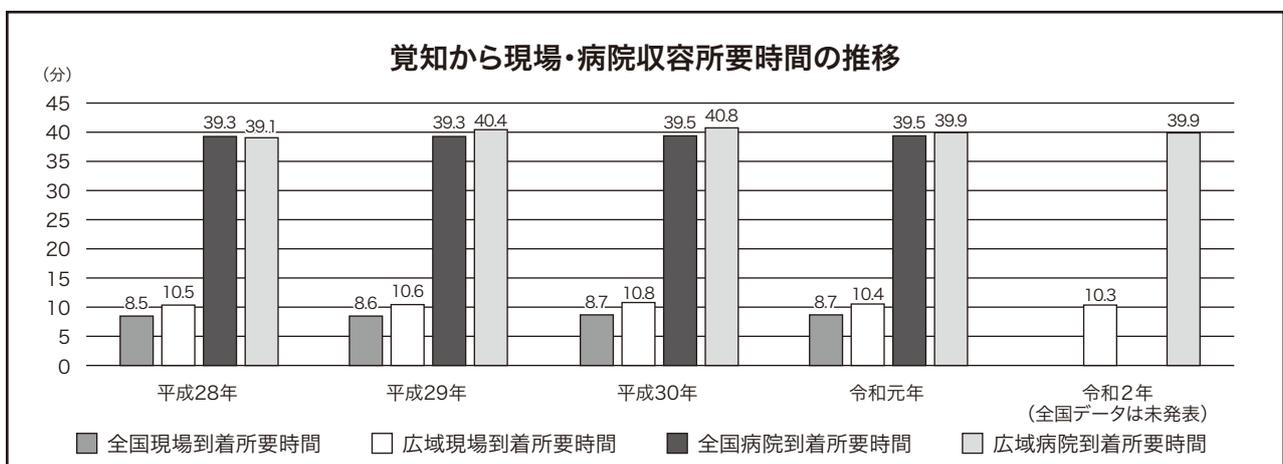
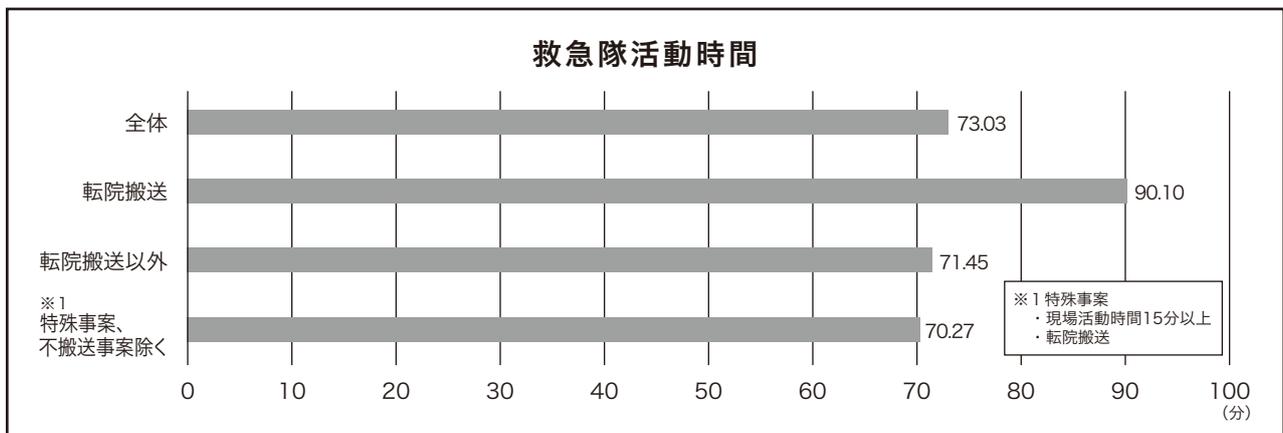


### 3. 搬送先病院と現場到着・病院到着所要時間

搬送先病院は、中核二次病院である大曲厚生医療センター（60％）と市立角館病院（18％）が多数を占めている。また、秋田市内の病院への主な搬送種別は転院となっている。

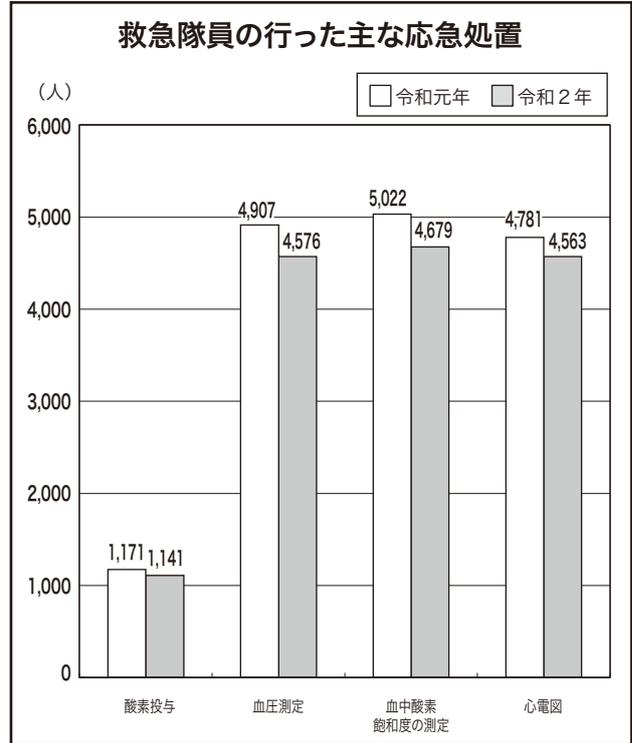
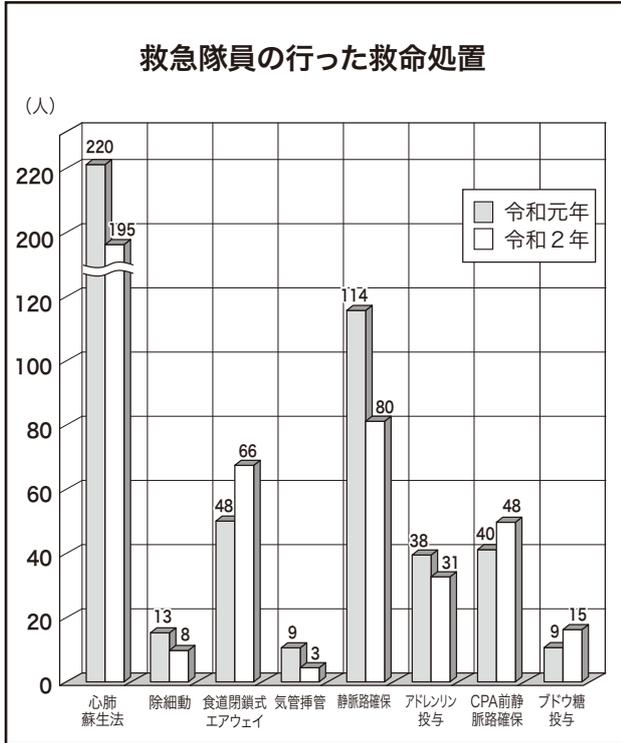


救急隊の平均活動時間をみると、全体では約73分であり、転院搬送では、約90分である。転院搬送のうち34％が管外病院への搬送であり、空白地域発生による、現場到着時間の延伸が危惧される。



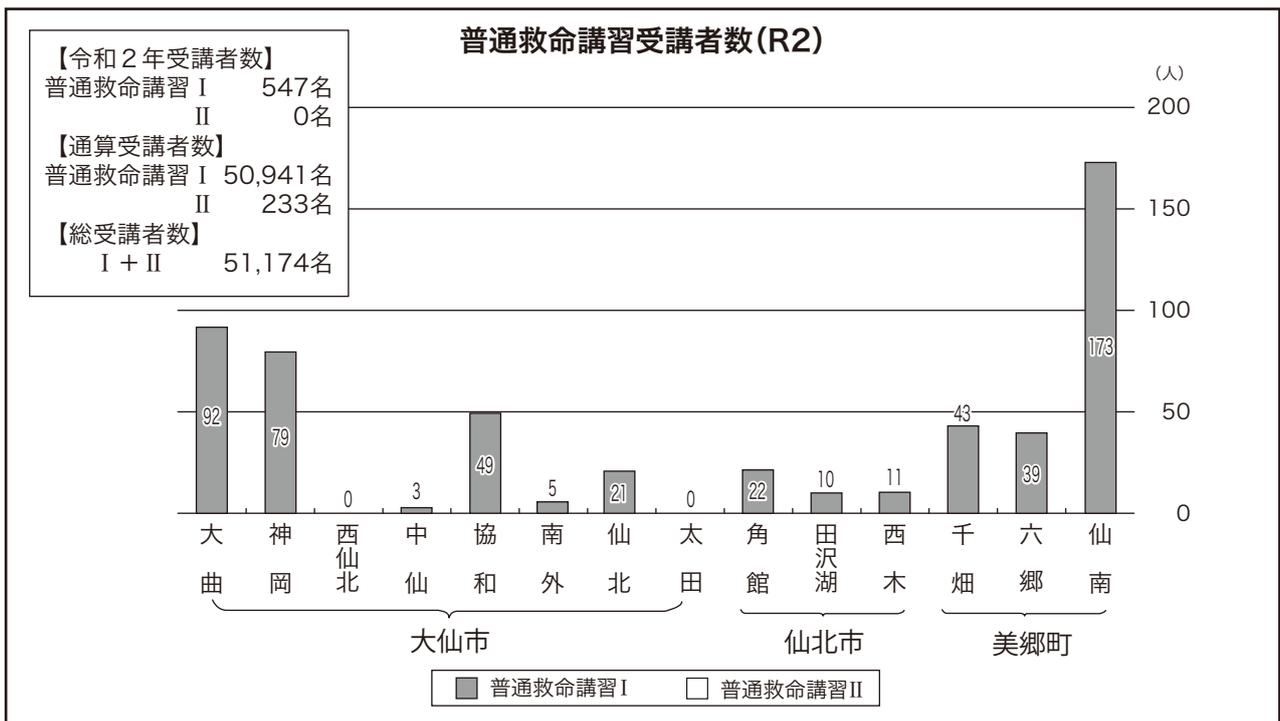
#### 4. 高度救命処置

平成26年4月1日から処置拡大として可能となったCPA前静脈路確保は48人に、低血糖に対するブドウ糖投与は15人に実施している。



#### 5. 救命講習

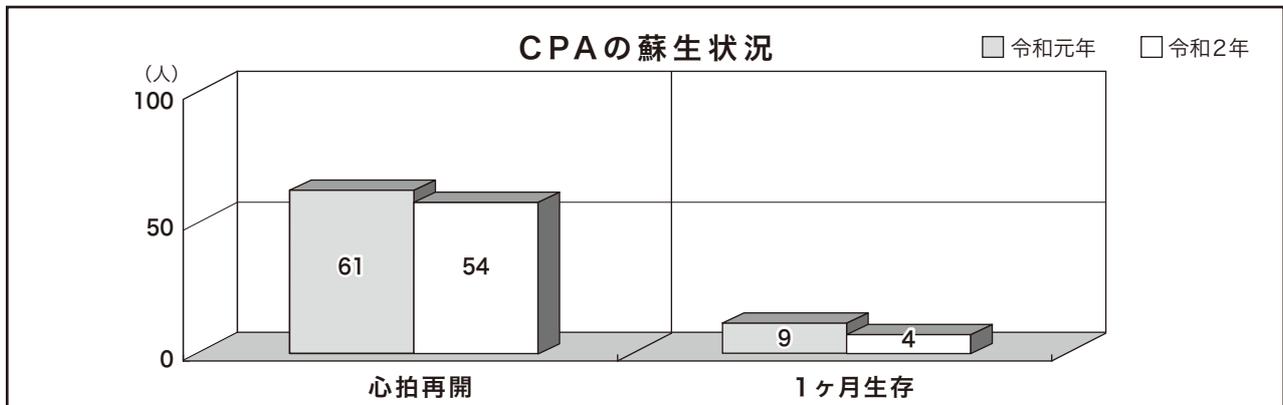
普通救命講習（Ⅰ・Ⅱ）受講者は51,174人を数えるまでとなり、1世帯に1人以上の受講者が存在することになる。近年、地震や集中豪雨などの自然災害により、住民の自助・共助への機運がさらに高まっており、引き続き救命手当の重要性を訴えていきたい。



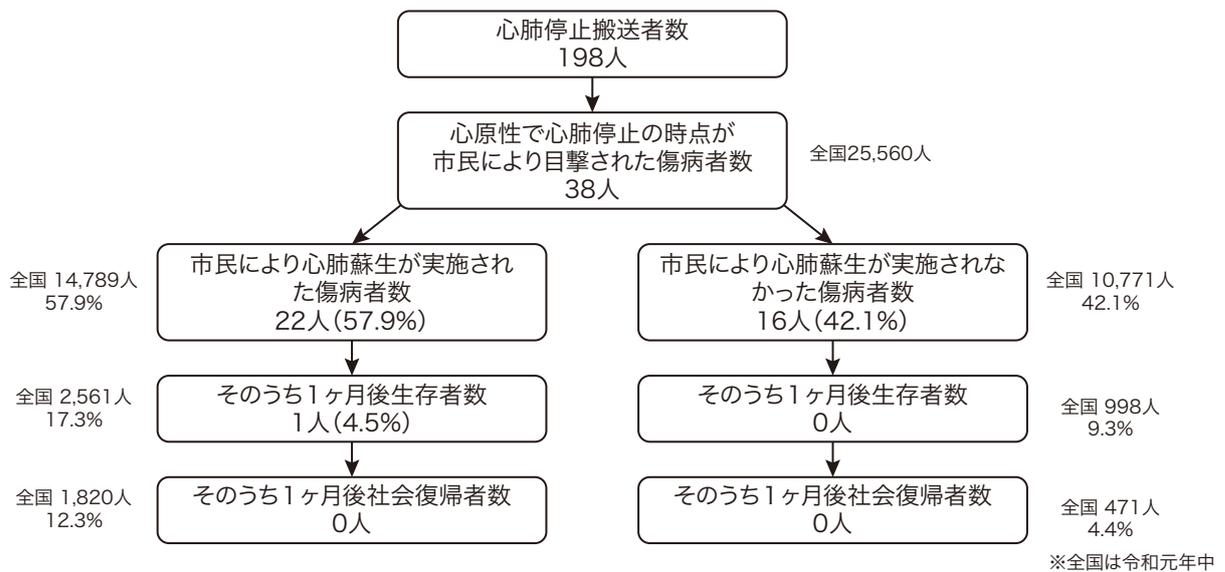
## 6. CPA蘇生状況

搬送されたCPA（心肺機能停止）傷病者は198人（4.0%）であり、そのうち心拍再開者は54人・27.3%（前年24.7%）、一ヶ月生存者は4人・2.0%（前年3.7%）であった。

今後とも圏民とともに救命率の向上を目指していきたい。

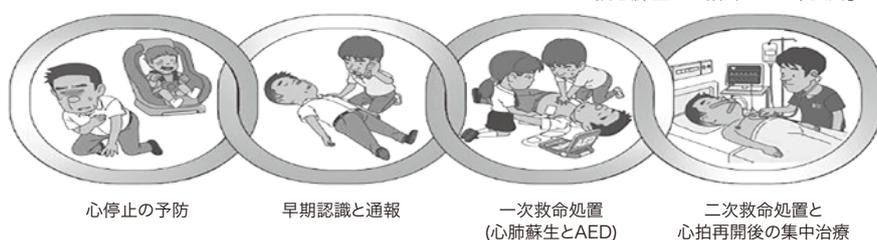


### 市民により目撃された心原性心肺停止傷病者のうち、市民による心肺蘇生等実施の有無別の生存率・社会復帰率



心原性（心臓等が原因）で心肺停止の時点が目撃された傷病者38人についてみると、市民により心肺蘇生が実施された傷病者の割合が22人、57.9%と全国と同レベル（57.9%）であり、約4割の方には心肺蘇生が実施されていない。全国では、市民により心肺蘇生が実施された傷病者と実施されなかった傷病者の予後に有意差があるが当地域ではほぼ見られなかった。救命率、社会復帰率の向上のためには市民による応急手当の実施が重要であることから、引き続き「救命の連鎖」について啓発していくとともに、私たち救急隊も更にレベルアップしていかなければならない。

### 救命の連鎖



# 地域別救急出動状況

令和2年1月～12月

地域別	区分	合計	前年比	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				令和元年	平成30年	平成29年	平成28年
														転院	医師	資器材	その他				
大曲地域	出動件数	1,374	-215	2		1	90	9	4	160	4	11	917	176			1,589	1,630	1,556	1,448	
	搬送人員	1,299	-196	2			86	9	4	153	3	7	861	174			1,495	1,566	1,478	1,370	
	搬送人員	151	-29				4			24		4	119				180	208	204	168	
	搬送人員	141	-36				4			23		3	111				177	200	189	155	
	出動件数	327	13				21	3		41		4	246	12			314	378	447	372	
	搬送人員	313	11				23	3		40		3	232	12			302	343	416	336	
	出動件数	324	-62				15	3		43		5	251	7			386	400	429	357	
	搬送人員	303	-55				15	3		39		3	236	7			358	376	402	329	
	出動件数	417	42	2			36	5	1	44	1	2	264	62			375	440	416	374	
	搬送人員	402	46	2			42	5	1	42	1	1	247	61			356	412	394	342	
南外地域	出動件数	160	-11				9	1		14		1	131	4			171	196	184	169	
	搬送人員	148	-22				7	1		12		1	124	4			170	193	178	162	
	出動件数	259	-11				25	2		28		3	183	18			270	288	273	234	
	搬送人員	248	-14				26	2		28		1	173	18			262	277	259	222	
仙北地域	出動件数	232	13				10			23		5	190	2			219	229	255	226	
	搬送人員	218	10				10			22		2	182	2			208	221	241	204	
小計	出動件数	3,244	-260	4		1	210	23	5	377	5	35	2,301	281			3,504	3,769	3,764	3,348	
	搬送人員	3,072	-256	4			213	23	5	359	4	20	2,166	278			3,328	3,588	3,557	3,120	
	出動件数	570	-25				24	2		65	2	3	356	117			595	676	736	628	
	搬送人員	553	-4				23	2		65	2	3	341	117			557	640	693	588	
	出動件数	515	-19			1	25	8	7	80	2	3	373	15	1		534	574	612	603	
	搬送人員	495	11				28	8	7	76	1	2	358	15			484	543	569	569	
	出動件数	172	-33			1	12	4		22	2	2	130	1			205	230	212	201	
	搬送人員	159	-38				7	4		21	2	2	124	1			197	218	196	183	
	出動件数	1,257	-77			2	61	14	7	167	6	6	859	133	1		1,334	1,480	1,560	1,432	
	搬送人員	1,207	-31				58	14	7	162	5	5	823	133			1,238	1,401	1,458	1,340	
千畑地域	出動件数	207	-50				11	3	1	24	1	2	161	4			257	249	241	216	
	搬送人員	195	-50				10	3	1	24	1	1	151	4			245	234	231	194	
	出動件数	255	-39				19	3	2	28	1	3	188	11			294	308	276	298	
	搬送人員	239	-41				18	3	2	28	1	1	175	11			280	298	274	284	
仙南地域	出動件数	225	-14	1			6	3		33	1	2	168	11			239	219	249	230	
	搬送人員	211	-15	1			7	3		33	1	1	155	11			226	209	234	212	
小計	出動件数	687	-103	1			36	9	3	85	3	7	517	26			790	776	766	744	
	搬送人員	645	-106	1			35	9	3	85	2	3	481	26			751	741	739	690	
圏外	出動件数	1	-7				1										8	6	4	2	
	搬送人員	1	-6				1										7	4	2	3	
合計	出動件数	5,189	-447	5		3	308	46	15	629	14	48	3,677	440	1		5,636	6,031	6,094	5,526	
	搬送人員	4,925	-399	5			307	46	15	606	11	28	3,470	437			5,324	5,734	5,756	5,153	

# 月別救急出動状況

令和2年1月～12月

月別	区分	合計	救急事故種別											その他				
			火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院	医師	資機材	その他		
1月	出動件数	469				28	2	1	43			1			37			2
	搬送人員	442				29	2	1	42						37			
2月	出動件数	433			2	35	7	5	50			1			38			
	搬送人員	398				30	7	5	46			1			37			
3月	出動件数	421				23	3		51			1			32			
	搬送人員	404				25	3		51			3			32			
4月	出動件数	375	1			21	2		41			4			23			
	搬送人員	358	1			20	2		41			3			23			
5月	出動件数	397				26	3		60			1			30	1		
	搬送人員	372				25	3		58			2			30			
6月	出動件数	438				34	3	1	45			2			49			
	搬送人員	414				33	3	1	40			2			47			
7月	出動件数	390				17	6	1	52			1			35			
	搬送人員	371				17	6	1	52			1			35			
8月	出動件数	482			1	27	5	3	55			3			33			
	搬送人員	467				28	5	3	54			2			33			
9月	出動件数	455				33	5	2	56			6			42			
	搬送人員	438				36	5	2	55			3			42			
10月	出動件数	442	1			24	2	1	66			1			42			1
	搬送人員	417	1			24	2	1	62			1			42			
11月	出動件数	407				13	3		58			3			30			
	搬送人員	396				14	3		56			3			30			
12月	出動件数	480	3			27	5	1	52			1			49			
	搬送人員	448	3			26	5	1	49			1			49			
合計	出動件数	5,189	5		3	308	46	15	629	14	48	14			440	1		3
	前年比	-447	-3			-62	-8	-26	-15	6	-5				-15			-2
	搬送人員	4,925	5			307	46	15	606	11	28	11			437			
	前年比	-399	1			-53	-8	-27	-11	5	-3				-16			
令和元年	出動件数	5,636	8		3	370	54	41	644	8	53	8			455	1		5
	搬送人員	5,324	4			360	54	42	617	6	31	6			453			

# 曜日別救急出動状況

令和2年1月～12月

	事故種別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院	医師	資機材	その他
計	出動件数	5,189	5		3	308	46	15	629	14	48	3,677	440	1		3
	搬送人員	4,925	5			307	46	15	606	11	28	3,470	437			
日	出動件数	699				43	2	2	91	3	11	508	38	1		
	搬送人員	660				45	2	2	85	3	7	479	37	/	/	
月	出動件数	790	1		1	39	10	3	95	3	4	563	70			1
	搬送人員	744	1			37	10	3	92	3	2	527	69	/	/	
火	出動件数	761	1		1	44	6	2	79	1	11	543	73			
	搬送人員	720	1			45	6	2	78	1	5	509	73	/	/	
水	出動件数	735	1			52	6		80		7	507	80			2
	搬送人員	704	1			50	6		78		6	483	80	/	/	
木	出動件数	747	2			46	10		89	4	5	527	64			
	搬送人員	707	2			42	10		84	2	2	502	63	/	/	
金	出動件数	724				46	4	1	94	2	8	494	75			
	搬送人員	689				46	4	1	92	2	4	465	75	/	/	
土	出動件数	733			1	38	8	7	101	1	2	535	40			
	搬送人員	701				42	8	7	97		2	505	40	/	/	

# 救急隊員の行った応急処置

令和2年1月～12月

応急処置 事故種別	応急処置 対象人員	止血	固定	人工呼吸	心臓マッサージ		心肺蘇生		酸素吸入	気道確保				保温	被覆
					うち自動	うち自動	うち自動	*1		*2	*3	*4			
急病	3,470	13	10	21	0	0	172	27	920	222	0	8	58	3	3
交通	304	13	85	1	1	0	6	2	26	9	0	0	1	0	8
一般負傷	605	68	45	3	0	0	8	2	44	13	0	2	5	0	42
その他	542	21	20	3	0	0	9	1	151	12	0	0	2	0	12
計	4,921	115	160	28	1	0	195	32	1,141	256	0	10	66	3	65

\*1には、経鼻エアウェイを使用して気道確保を行った件数を内数として記載。  
\*2には、喉頭鏡・鉗子等を使用して異物除去を行った件数を内数として記載。  
\*3には、救急救命士がラリゲングマスク等を使用して気道確保を行った件数を内数として記載。  
\*4には、救急救命士が気管挿管処置を実施して気道確保を行った件数を内数として記載。

応急処置 事故種別	在宅療法継続			ショックによる パニック 血圧保持	除細動	静脈路 確保	アドレナリン 投与	ブドウ糖 投与	聴診器に よる心音、 呼吸音等 の聴取	血中酸素 飽和度の 測定	心電図		合計	
	*A	*B	*C								うち伝送	その他の 応急処置		
急病	11	1	2	10	8	117	27	15	753	3,279	3,330	0	3,327	19,152
交通	0	0	0	0	0	1	0	0	36	292	215	0	264	1,553
一般負傷	1	0	0	1	0	6	2	0	66	582	549	0	579	3,217
その他	0	0	0	0	0	4	2	0	57	526	469	0	506	2,882
計	12	1	2	11	8	128	31	15	912	4,679	4,563	0	4,676	26,804

\*Aには、在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴が施されている傷病者に対して応急処置を行った件数を内数として記載。  
\*Bには、気管切開孔又は、気管瘻・人工肛門等の外傷が施されている傷病者に対して応急処置を行った件数を内数として記載。  
\*Cには、\*A・\*B以外の在宅療法継続中の施されている傷病者に対して応急処置を行った件数を内数として記載。

# 事故種別救助出動件数・救助人員数

(令和2年1月～12月)

事故種別 発生場所	火 災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機 械 に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	爆発事故	そ の 他 の 事 故	合 計
	建 物	災 害 建物以外									
大 曲			17 ( 6)	3 ( 3)						4 ( 1)	24 ( 10)
神 岡											
西 仙 北			5				1			1	7
中 仙			5 ( 2)	1 ( 1)						1 ( 1)	7 ( 4)
協 和			7 ( 2)								7 ( 2)
南 外			3								3
仙 北			3							1	4
太 田			3							1	4
角 館			4								4
田 沢 湖			2 ( 1)	1						2	5 ( 1)
西 木			4 ( 2)							1	5 ( 2)
千 畑			2 ( 2)			1 ( 1)					3 ( 3)
六 郷			3 ( 1)							1	4 ( 1)
仙 南			1								1
圏 外											
合 計			59 ( 16)	5 ( 4)		1 ( 1)	1			12 ( 2)	78 ( 23)
令 和 元 年			75 ( 8)	5 ( 1)		3 ( 2)	1			18 ( 9)	102 ( 20)
前 年 比			-16 ( -8)	(+3)		-2 ( -1)				-6 ( -7)	-24 ( +3)

注：( ) 内は救助人員数

# 全国消防救助技術大会 出場者一覧

年	回	開催地	種 目	隊 員 氏 名				
昭和52年	第6回	千葉市	ロープ登はん	鈴木幸一	—	—	—	—
昭和63年	第17回	横浜市	ロープブリッジ救	杉澤 衛	小笠原伸一	斉藤幸勇	湯川雅浩	—
平成元年	第18回	名古屋市	ロープ応用登はん	高橋幹夫	池田 透	—	—	—
			はしご登はん	進藤政喜	—	—	—	—
平成2年	第19回	広島市	ロープブリッジ救	杉澤 衛	小笠原伸一	斉藤幸勇	三浦 肇	—
平成3年	第20回	大阪市	ロープ応用登はん	後藤康文	池田 透	—	—	—
平成4年	第21回	千葉市	はしご登はん	嶋津寛興	—	—	—	—
			ロープ応用登はん	伊藤 清	高橋 倫	—	—	—
平成6年	第23回	京都市	ほふく救出	八木克司	進藤政喜	齋藤雅樹	—	—
平成10年	第27回	大阪市	ロープブリッジ救	佐藤玲緒奈	齋藤広幸	齋藤典之	湯川雅浩	—
平成11年	第28回	横浜市	ほふく救出	戸島浩樹	稲葉和也	佐々木伸吾	—	—
平成13年	第30回	東京都	ほふく救出	戸島浩樹	小山田芳成	高橋秀明	—	—
平成15年	第32回	仙台市	ロープブリッジ救	三浦祐樹	田口博康	齋藤典之	後藤正浩	—
平成16年	第33回	兵庫県三木市	ロープブリッジ救	三浦祐樹	田口博康	齋藤典之	後藤正浩	—
			ロープブリッジ救	佐藤玲緒奈	富樫 寛	伊藤 岳	加藤俊美	—
			ロープ応用登はん	鈴木一伊	伊藤貴之	—	—	—
平成18年	第35回	札幌市	はしご登はん	三浦寛幸	—	—	—	—
			ロープ応用登はん	鈴木一伊	伊藤貴之	—	—	—
			ほふく救出	高橋 篤	小山田芳成	高橋秀明	—	—
平成19年	第36回	東京都	はしご登はん	中嶋美彰	—	—	—	—
平成20年	第37回	北九州市	ロープ応用登はん	坂本 哲	木元智昭	—	—	—

年	回	開催地	種 目	隊 員 氏 名				
平成22年	第39回	京 都 市	ロープ応用登はん	熊谷健太郎	木元智昭	—	—	—
			基本泳法	佐藤玲緒奈	—	—	—	—
平成24年	第41回	東 京 都	はしご登はん	伊藤和馬	—	—	—	—
			溺者救助	佐藤玲緒奈	木元智昭	武田洋	—	—
平成25年	第42回	広 島 市	ロープ応用登はん	右谷慎悟	熊谷健太郎	—	—	—
			はしご登はん	倉橋大地	—	—	—	—
平成26年	第43回	千 葉 市	引揚救助	菊地剛仁	三浦祐樹	坂本哲	伊藤貴之	佐々木 絢
平成27年	第44回	神 戸 市	はしご登はん	高橋大貴	—	—	—	—
			ロープブリッジ救出	高橋俊幸	右谷慎悟	中谷壮志	高橋明士	—
				佐藤巧也	伊藤弘己	岡本一毅	富樫亮太	—
平成28年	第45回	松 山 市	はしご登はん	滝沢清栄	—	—	—	—
			ほふく救出	小松田知至	高橋明士	進藤佳祐	—	—
			ロープ応用登はん	愛甲祥之	伊藤和馬	—	—	—
平成29年	第46回	利 府 町	はしご登はん	高橋 広	—	—	—	—
平成30年	第47回	京 都 市	ロープ応用登はん	大石知滉	倉橋重吾	—	—	—
平成31年 ・ 令和元年	第48回	岡 山 市	はしご登はん	佐々木竜之助	—	—	—	—
			ロープ応用登はん	武藤修平	倉橋重吾	—	—	—
			ロープブリッジ救出	浅利貴司	高橋明士	小松田知至	高橋公也	—
			ほふく救出	鶴谷岳志	豊嶋圭人	進藤佳祐	—	—

※平成23年は東日本大震災のため、全国消防救助技術大会をはじめ、東北地区支部指導会、秋田県大会も中止となった。

※平成26年は8月20日に広島市で発生した土石流災害により甚大な被害が生じ、中国ブロックを中心とする緊急消防援助隊が派遣され、全国消防救助技術大会は中止となった。

※平成30年は非常に強い勢力の台風20号が日本列島に接近したことに伴い、全国消防救助技術大会は中止となった。

※令和2年は新型コロナウイルス感染症対策のため、全国消防救助技術大会をはじめ、東北地区支部指導会、秋田県大会も中止となった。

# 通信指令関係



高機能消防指令センター



# 消防無線局設置状況

(令和3年4月1日現在)

常置場所	名 称	呼出名称	デジタル送信周波数						備 考
			活動波				主運用波	統制波	
			1	2	3	4			
消防本部	曲消本部	きょくしょうほんぶ	○	○	○	○	○	○	基地局
	本部予防1	ほんぶよぼう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	本部警防1	ほんぶけいぼう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	本部指揮1	ほんぶしき1	○	○	○	○	○	○	車載型
	本部携帯1	ほんぶけいたい1	○	○	○	○	○	○	携帯型
	本部携帯2	ほんぶけいたい2	○	○	○	○	○	○	携帯型
	本部携帯3	ほんぶけいたい3	○	○	○	○	○	○	携帯型
	本部可搬1	ほんぶかはん1	○	○	○	○	○	○	可搬型
大曲消防署	大曲署1	おおまがりしょ1	○	○	○	○	○	○	卓上型
	大曲ポンプ1	おおまがりぼんぶ1	○	○	○	○	○	○	車載型
	大曲ポンプ2	おおまがりぼんぶ2	○	○	○	○	○	○	車載型
	大曲タンク1	おおまがりたんく1	○	○	○	○	○	○	車載型
	大曲救助1	おおまがりきゅうじょ1	○	○	○	○	○	○	車載型
	大曲救助2	おおまがりきゅうじょ2	○	○	○	○	○	○	車載型
	大曲資材1	おおまがりしぎい1	○	○	○	○	○	○	車載型
	大曲梯子1	おおまがりはしご1	○	○	○	○	○	○	車載型
	大曲化学1	おおまがりかがく1	○	○	○	○	○	○	車載型
	大曲指揮1	おおまがりしき1	○	○	○	○	○	○	車載型
	大曲補給1	おおまがりほきゅう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	大曲救急1	おおまがりきゅうきゅう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	大曲救急2	おおまがりきゅうきゅう2	○	○	○	○	○	○	車載型
	大曲救急3	おおまがりきゅうきゅう3	○	○	○	○	○	○	車載型
	大曲携帯1	おおまがりけいたい1	○	○	○	○	○	○	携帯型
	大曲携帯2	おおまがりけいたい2	○	○	○	○	○	○	携帯型
	大曲携帯3	おおまがりけいたい3	○	○	○	○	○	○	携帯型
	大曲携帯4	おおまがりけいたい4	○	○	○	○	○	○	携帯型
	大曲携帯5	おおまがりけいたい5	○	○	○	○	○	○	携帯型
	大曲携帯6	おおまがりけいたい6	○	○	○	○	○	○	携帯型
	大曲携帯7	おおまがりけいたい7	○	○	○	○	○	○	携帯型
	大曲携帯8	おおまがりけいたい8	○	○	○	○	○	○	携帯型
	大曲携帯9	おおまがりけいたい9	○	○	○	○	○	○	携帯型
	大曲携帯10	おおまがりけいたい10	○	○	○	○	○	○	携帯型
	大曲携帯11	おおまがりけいたい11	○	○	○	○	○	○	携帯型
	大曲携帯12	おおまがりけいたい12	○	○	○	○	○	○	携帯型
大曲携帯13	おおまがりけいたい13	○	○	○	○	○	○	携帯型	
南分署	南分署1	みなみぶんしょ1	○	○	○	○	○	○	卓上型
	南ポンプ1	みなみぼんぶ1	○	○	○	○	○	○	車載型
	南ポンプ2	みなみぼんぶ2	○	○	○	○	○	○	車載型
	南広報1	みなみこうほう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	南救急1	みなみきゅうきゅう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	南携帯1	みなみけいたい1	○	○	○	○	○	○	携帯型
	南携帯2	みなみけいたい2	○	○	○	○	○	○	携帯型
	南携帯3	みなみけいたい3	○	○	○	○	○	○	携帯型
	南携帯4	みなみけいたい4	○	○	○	○	○	○	携帯型
	南携帯5	みなみけいたい5	○	○	○	○	○	○	携帯型
南携帯6	みなみけいたい6	○	○	○	○	○	○	携帯型	

常置場所	名 称	呼出名称	デジタル送信周波数						備 考
			活動波				主運用波	統制波	
			1	2	3	4	1	1～3	
東分署	東分署1	ひがしぶんしょ1	○	○	○	○	○	○	卓上型
	東ポンプ1	ひがしぼんぷ1	○	○	○	○	○	○	車載型
	東ポンプ2	ひがしぼんぷ2	○	○	○	○	○	○	車載型
	東広報1	ひがしこうほう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	東救急1	ひがしきゅうきゅう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	東携帯1	ひがしけいたい1	○	○	○	○	○	○	携帯型
	東携帯2	ひがしけいたい2	○	○	○	○	○	○	携帯型
	東携帯3	ひがしけいたい3	○	○	○	○	○	○	携帯型
	東携帯4	ひがしけいたい4	○	○	○	○	○	○	携帯型
	東携帯5	ひがしけいたい5	○	○	○	○	○	○	携帯型
	東携帯6	ひがしけいたい6	○	○	○	○	○	○	携帯型
西分署	曲消西	きょくしょうにし	○		○	○	○		基地局
	西分署1	にしぶんしょ1	○	○	○	○	○	○	卓上型
	西ポンプ1	にしぼんぷ1	○	○	○	○	○	○	車載型
	西ポンプ2	にしぼんぷ2	○	○	○	○	○	○	車載型
	西広報1	にしこうほう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	西救急1	にしきゅうきゅう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	西携帯1	にしけいたい1	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西携帯2	にしけいたい2	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西携帯3	にしけいたい3	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西携帯4	にしけいたい4	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西携帯5	にしけいたい5	○	○	○	○	○	○	携帯型
西携帯6	にしけいたい6	○	○	○	○	○	○	携帯型	
西仙北分署	曲消西仙	きょくしょうにしせん	○		○	○	○		基地局
	西仙北分署1	にしせんぼくぶんしょ1	○	○	○	○	○	○	卓上型
	西仙ポンプ1	にしせんぼんぷ1	○	○	○	○	○	○	車載型
	西仙広報1	にしせんこうほう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	西仙救急1	にしせんきゅうきゅう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	西仙携帯1	にしせんけいたい1	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西仙携帯2	にしせんけいたい2	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西仙携帯3	にしせんけいたい3	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西仙携帯4	にしせんけいたい4	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西仙携帯5	にしせんけいたい5	○	○	○	○	○	○	携帯型
協和分署	曲消協和	きょくしょうきょうわ	○		○	○	○		基地局
	協和分署1	きょうわぶんしょ1	○	○	○	○	○	○	卓上型
	協和ポンプ1	きょうわぼんぷ1	○	○	○	○	○	○	車載型
	協和広報1	きょうわこうほう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	協和救急1	きょうわきゅうきゅう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	協和携帯1	きょうわけいたい1	○	○	○	○	○	○	携帯型
	協和携帯2	きょうわけいたい2	○	○	○	○	○	○	携帯型
	協和携帯3	きょうわけいたい3	○	○	○	○	○	○	携帯型
	協和携帯4	きょうわけいたい4	○	○	○	○	○	○	携帯型
	協和携帯5	きょうわけいたい5	○	○	○	○	○	○	携帯型

常置場所	名 称	呼出名称	デジタル送信周波数						備 考	
			活動波				主運用波	統制波		
			1	2	3	4	1	1～3		
角館消防署	曲消角館	きょくしょうかくのだて		○	○	○	○	○	○	基地局
	角館消防署 1	かくのだてしょ 1	○	○	○	○	○	○	○	卓上型
	角館ポンプ 1	かくのだてぼんぷ 1	○	○	○	○	○	○	○	車載型
	角館タンク 1	かくのだてたんく 1	○	○	○	○	○	○	○	車載型
	角館救助 1	かくのだてきゅうじょ 1	○	○	○	○	○	○	○	車載型
	角館資材 1	かくのだてしぎい 1	○	○	○	○	○	○	○	車載型
	角館指揮 1	かくのだてしき 1	○	○	○	○	○	○	○	車載型
	角館救急 1	かくのだてきゅうきゅう 1	○	○	○	○	○	○	○	車載型
	角館携帯 1	かくのだてけいたい 1	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
	角館携帯 2	かくのだてけいたい 2	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
	角館携帯 3	かくのだてけいたい 3	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
	角館携帯 4	かくのだてけいたい 4	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
	角館携帯 5	かくのだてけいたい 5	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
	角館携帯 6	かくのだてけいたい 6	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
角館携帯 7	かくのだてけいたい 7	○	○	○	○	○	○	○	携帯型	
中仙分署	中仙分署 1	なかせんぶんしょ 1	○	○	○	○	○	○	○	卓上型
	中仙ポンプ 1	なかせんぼんぷ 1	○	○	○	○	○	○	○	車載型
	中仙広報 1	なかせんこうほう 1	○	○	○	○	○	○	○	車載型
	中仙救急 1	なかせんきゅうきゅう 1	○	○	○	○	○	○	○	車載型
	中仙携帯 1	なかせんけいたい 1	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
	中仙携帯 2	なかせんけいたい 2	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
	中仙携帯 3	なかせんけいたい 3	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
	中仙携帯 4	なかせんけいたい 4	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
田沢湖分署	曲消田沢	きょくしょうたざわ		○	○	○	○	○	○	基地局
	田沢湖分署 1	たざわこぶんしょ 1	○	○	○	○	○	○	○	卓上型
	田沢ポンプ 1	たざわぼんぷ 1	○	○	○	○	○	○	○	車載型
	田沢梯子 1	たざわはしご 1	○	○	○	○	○	○	○	車載型
	田沢広報 1	たざわこうほう 1	○	○	○	○	○	○	○	車載型
	田沢救急 1	たざわきゅうきゅう 1	○	○	○	○	○	○	○	車載型
	田沢携帯 1	たざわけいたい 1	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
	田沢携帯 2	たざわけいたい 2	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
	田沢携帯 3	たざわけいたい 3	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
	田沢携帯 4	たざわけいたい 4	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
	田沢携帯 5	たざわけいたい 5	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
	田沢携帯 6	たざわけいたい 6	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
西木分署	曲消西木	きょくしょうにしき		○	○	○	○	○	○	基地局
	西木分署 1	にしきぶんしょ 1	○	○	○	○	○	○	○	卓上型
	西木ポンプ 1	にしきぼんぷ 1	○	○	○	○	○	○	○	車載型
	西木広報 1	にしきこうほう 1	○	○	○	○	○	○	○	車載型
	西木救急 1	にしききゅうきゅう 1	○	○	○	○	○	○	○	車載型
	西木携帯 1	にしきけいたい 1	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西木携帯 2	にしきけいたい 2	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西木携帯 3	にしきけいたい 3	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西木携帯 4	にしきけいたい 4	○	○	○	○	○	○	○	携帯型
西木携帯 5	にしきけいたい 5	○	○	○	○	○	○	○	携帯型	

合計	無線局種別	基地局	卓上移動局	車載移動局	携帯移動局	可搬移動局
		7	10	50	67	1

## 一般回線からの119番受信件数

統計月日：令和2年

内 容	火 災	救 急	救 助	その他災害	間 違 い いたずら	通報訓練	病院照会	問い合わせ	試験	その他	転送・ FAX	合計
1月	1	138			2	11		3	24	130		309
2月		126	1		5	28		3	19	166		348
3月		118		6	3	42		2	57	135		363
4月	1	108		2	4	8		2	29	109		263
5月		131		3	4	20		1	32	111		302
6月	2	123		1	2	75		4	44	169		420
7月		138		9	2	37		2	28	161		377
8月		160		6	5	20		3	14	162		370
9月		141		3	4	29			61	124		362
10月	1	145		1	7	58			50	110		372
11月	1	133			2	70		1	43	21		271
12月	1	166		2	5	35		4	26	21		260
合 計	7	1,627	1	33	45	433	0	25	427	1,419	0	4,017

## 携帯電話からの119番受信件数

統計月日：令和2年

内 容	火 災	救 急	救 助	その他災害	間 違 い いたずら	通報訓練	病院照会	問い合わせ	試験	その他	転送・ FAX	合計
1月	4	115		2	5	4	2	2	2	28		164
2月		100		1	7	2		3		34		147
3月	1	109		3	6	2		2	11	24		158
4月	6	83			7	1		1		25		123
5月		109		4	5	2		5	5	26		156
6月	1	119			5				20	35		180
7月	1	104		3	3	6		1		23		141
8月	1	157			7	4		4		47		220
9月	1	140		3	2	3		6	1	40		196
10月		110			17	8	1	5	5	48		194
11月	7	108		2	6	10			29	25		187
12月	6	122			4	5		2	1	38		178
合 計	28	1,376	0	18	74	47	3	31	74	393	0	2,044

## I P電話からの119番受信件数

統計月日：令和2年

内 容	火 災	救 急	救 助	その他災害	間 違 い いたずら	通報訓練	病院照会	問い合わせ	試験	その他	転送・ FAX	合計
1月	6	173			3	4				11		197
2月	1	148		1	2	12		1		12		177
3月	1	166		1	5	19		1	5	7	1	206
4月	3	160		1	1	15		2		12	3	197
5月	1	147		1		13		1	4	5	1	173
6月	2	175		1		29		1	1	25	2	236
7月	1	136		1	1	24		1		8		172
8月	1	157		2	3	17		1		11		192
9月	1	166			3	22		2	2	13		209
10月	1	171			2	42		1	1	7		225
11月	2	151			4	41		1	6	15	7	227
12月	1	174			3	25		2		16	1	222
合 計	21	1,924	0	8	27	263	0	14	19	142	15	2,433

## 119番受信件数（総合計）

統計月日：令和2年

内 容	火 災	救 急	救 助	その他災害	間 違 い いたずら	通報訓練	病院照会	問い合わせ	試験	その他	転送・ FAX	合計
1月	11	426		2	10	19	2	5	26	169		670
2月	1	374	1	2	14	42		7	19	212		672
3月	2	393		10	14	63		5	73	166	1	727
4月	10	351		3	12	24		5	29	146	3	583
5月	1	387		8	9	35		7	41	142	1	631
6月	5	417		2	7	104		5	65	229	2	836
7月	2	378		13	6	67		4	28	192		690
8月	2	474		8	15	41		8	14	220		782
9月	2	447		6	9	54		8	64	177		767
10月	2	426		1	26	108	1	6	56	165		791
11月	10	392		2	12	121		2	78	61	7	685
12月	8	462		2	12	65		8	27	75	1	660
合 計	56	4,927	1	59	146	743	3	70	520	1,954	15	8,494

# 高機能消防指令センター（Ⅱ型）機器構成

装置名	数量	備考
1 指令装置		
(1) 指令台	3 台	1 席 4 画面構成（自動出動、地図装置） 通常時：指令台 1 席 4 画面× 3 輻輳時：指令台 1 席 2 画面× 6 ・指令台機構（音声系制御部内蔵） ・マルチパネル 6 台、ハードキー 6 台
(2) 自動出動指定装置		
① 制御処理装置	1 式	サーバー 2 台による二重化構造
② ディスプレイ	3 台	タッチディスプレイ
③ データメンテナンス装置	1 台	
④ 多目的ディスプレイ	3 台	タッチディスプレイ
⑤ 受付補助ディスプレイ	3 台	タッチディスプレイ
(3) 地図等検索装置		
① 地図等検索装置	1 式	
② 地図用ディスプレイ	3 台	タッチディスプレイ
(4) 長時間録音装置	1 台	
(5) 非常用指令装置	1 式	指令制御装置同等機能
(6) 指令制御装置	1 式	
(7) モノクロプリンタ	14 台	
(8) カラープリンタ	1 台	
(9) スキャナ	1 台	
(10) 署所端末	10 式	車両登録機能、無線バックアップ機能付
2 表示盤		
(1) 車両運用表示盤	1 式	4 面マルチ（92インチ）
(2) 支援情報表示装置	1 式	4 面マルチ（92インチ）
(3) 多目的情報表示装置	1 式	4 面マルチ（92インチ） 映像制御装置・操作部等含む
3 無線統制台	1 式	8 c h 実装 12 型 L C D タッチ操作部
4 指令電送装置		
(1) 指令情報送信装置	1 式	
(2) 指令情報出力装置	11 式	P C、プリンタ構成
5 気象情報収集装置	1 式	

装 置 名	数 量	備 考
6 音声合成装置	1 式	音片蓄積合成方式
7 出動車両運用管理装置		
(1) 管理装置	1 式	
(2) 車両運用端末装置	47 式	A V M一体型ナビゲーション端末装置
8 システム監視装置	1 式	
9 電源設備		
(1) 無停電電源装置 (本部用)	2 式	20 K V A
(2) 無停電電源装置 (署所用)	11 式	2 K V A
(3) 直流電源装置 (DC48V系)	1 式	
10 災害状況等自動案内装置	1 式	電子式、N T Tテレドームと連動
11 統合型位置情報通知装置	1 式	
12 動画像電送装置		
(1) 動画電送装置	2 式	メディアレイ (大曲署、角館署)
(2) 動画受信装置	1 式	
14 Eメール指令装置	1 式	
15 N e t 1 1 9	1 式	
16 1 1 9 F A X受信装置	1 式	
17 1 1 9メール受信装置	1 式	
18 I P電話交換設備	1 式	
19 情報表示盤		
(1) 40型モニタ	1 式	出動準備室
(2) 32型モニタ	2 式	指令センター
20 消防ネットワーク装置	1 式	
21 I T支援情報端末装置		
(1) 情報端末装置 (イントラ)	2 台	21インチTFTモニタ
(2) 情報端末装置 (インターネット)	1 台	21インチTFTモニタ
22 高所監視カメラ装置	1 式	
23 その他装置		
(1) 高速回線避雷ユニット	10 式	



# 消 防 団 関 係



令和2年度美郷町消防団新人団員講習



# 消防団員数・機械等配置状況

令和3年4月1日現在

区 分	人 員													機 械			ホ ー ス	ポ ン プ 置 場 数	ホ ー ス 乾 燥 塔		
	総 数		団 長	副 団 長	支 団 長	副 支 団 長	分 団 長 (監)	副 分 団 長 (監)	主 席 部 長	部 長 (代 理)	副 部 長	班 長 (第 一 班 長)	副 班 長 (第 二 班 長)	団 員	ポ ン プ 車	積 載 車				小 型 動 力 ポ ン プ	
	定 員	実 員																			
総 合 計	2,410	1,903	3	8	8	16	54	100	8	114		300	33	1,259		141	121	3,178	184	117	
大 仙 市	大仙市合計	1,375	1,051	1	3	8	16	34	70	8	65		140	33	673		83	47	1,778	113	73
	本 部	38	22	1	3								3		15						
	大曲支団	343	248			1	2	8	16		21		28	15	157		18	6	413	21	9
	神岡支団	85	65			1	2	2	5		5		9	1	40		5	5	188	5	5
	西仙北支団	146	111			1	2	4	9	8	3		24		60		10	8	269	15	7
	中仙支団	189	137			1	2	5	10		8		16	5	90		16	1	235	16	5
	協和支団	240	195			1	2	4	8		10		34		136		8	22	367	28	24
	南外支団	100	81			1	2	3	6		6		6	4	53		6	3	98	8	11
	仙北支団	123	107			1	2	4	8		8		8	8	68		8	2	124	8	8
太田支団	111	85			1	2	4	8		4		12		54		12		84	12	4	
仙 北 市	630	509	1	3			11	21		37		105		331		30	42	1,020	45	35	
美 郷 町	405	343	1	2			9	9		12		55		255		28	32	380	26	9	

# 正副団長・支団長名簿

令和3年6月1日現在

所 属	階 級	氏 名	採用年月日	現階級任命年月日
大仙市本部	団 長	佐 藤 一	S47. 1. 1	H29. 4. 1
	副 団 長	田 村 健 郎	S55. 7. 15	R 2. 4. 1
	副 団 長	大 友 金己知	S53. 7. 1	R 3. 4. 1
	副 団 長	進 藤 文 隆	S48. 4. 1	R 3. 4. 1
大曲支団	支 団 長	佐 藤 昇	S51. 1. 1	H31. 4. 1
	副支団長	佐々木 忠 雄	S53. 1. 1	R 3. 4. 1
	副支団長	渡 邊 亨	S52. 12. 1	R 3. 4. 1
神岡支団	支 団 長	池 田 君 男	S63. 5. 26	R 2. 4. 1
	副支団長	高 橋 昇	S55. 7. 21	R 2. 4. 1
	副支団長	武 藤 吉 和	H 3. 9. 6	R 2. 4. 1
西仙北支団	支 団 長	佐々木 博 幸	H 3. 12. 1	R 3. 4. 1
	副支団長	藤 原 栄 一	S52. 5. 1	R 1. 6. 1
	副支団長	佐 藤 秀 世	S51. 4. 1	R 3. 4. 1
中仙支団	支 団 長	高 橋 和 美	S50. 4. 10	R 3. 4. 1
	副支団長	鈴 木 和 夫	S56. 8. 1	H29. 4. 21
	副支団長	伊 藤 俊 雄	S55. 6. 1	R 3. 4. 1
協和支団	支 団 長	加 藤 元	S54. 4. 1	R 3. 4. 1
	副支団長	武 藤 和 彦	S60. 11. 25	R 3. 4. 1
	副支団長	佐々木 克 己	S62. 7. 1	R 3. 4. 1
南外支団	支 団 長	今 野 徳 雄	S53. 8. 1	H31. 4. 1
	副支団長	佐々木 正 光	H 1. 10. 5	H28. 6. 1
	副支団長	佐々木 久	S61. 4. 1	H31. 4. 1
仙北支団	支 団 長	小 柳 伸 一	S51. 1. 1	R 3. 4. 1
	副支団長	藤 嶋 俊 彦	S60. 4. 1	H30. 4. 1
	副支団長	小 松 伸 一	S53. 7. 1	R 3. 4. 1
太田支団	支 団 長	藤 谷 知 義	S59. 6. 20	R 3. 4. 1
	副支団長	田 口 浩 秀	S56. 7. 13	R 3. 4. 1
	副支団長	高 貝 真 吾	S61. 8. 1	R 3. 4. 1
仙 北 市	団 長	渡 辺 勇 悦	S57. 12. 1	H31. 4. 1
	副 団 長	佐 藤 乃 三	S57. 4. 21	H29. 4. 1
	副 団 長	下 田 忠 浩	S63. 4. 1	H31. 4. 1
	副 団 長	武 藤 重 和	S62. 8. 1	R 3. 6. 1
美 郷 町	団 長	高 橋 正 尚	S51. 4. 1	H24. 4. 1
	副 団 長	大 坂 久 男	S51. 4. 22	H31. 4. 1
	副 団 長	照 井 正 明	S48. 4. 1	R 3. 4. 1

# 消防団員等報酬調べ

令和3年4月1日現在（単位：円）

	大 仙 市	仙 北 市	美 郷 町
団 長	86,000	83,500	83,500
副 団 長	73,000	66,500	66,500
支 団 長	73,000		
副 支 団 長	69,000		
分 団 長	50,500	51,000	51,000
副 分 団 長	45,500	43,500	43,500
主 席 部 長	38,000		
部 長	38,000	35,000	34,000
副 部 長	38,000		
班 長	37,000	32,500	32,500
副 班 長	37,000		
団 員	36,500	30,000	基本消防団員 30,000 機能別消防団員 5,000
費用弁償等	出動手当（日額） 4,400円 誤報等出動手当（日額） 2,200円 訓練手当（日額） 3,500円 警戒手当（日額） 4,400円	災害出動（1回につき） 5,000円 出動（警戒・訓練・巡回 広報手当）（1回につき） 3,000円 会議等の出務手当 （1回につき） 2,200円	災害出場 4,300円 捜索出場 4,300円 警戒訓練出場 2,900円 会議等出席 2,900円
定 年 制	全団員 70歳	全団員 70歳	副分団長以上及び 機能別消防団員 70歳 団員～部長 65歳

## 過去消防操法大会成績一覽表

年 度	優 勝 消 防 団	県大会順位
昭和 46 年度	六郷町消防団第 3 分団 (小型ポンプ)	
昭和 47 年度	太田町消防団第 3 分団 (小型ポンプ)	
昭和 48 年度	南外村消防団第 4 分団 (小型ポンプ)	
昭和 49 年度	南外村消防団第 4 分団 (小型ポンプ)	
昭和 50 年度	西木村消防団第 3 分団 (小型ポンプ)	第 6 位
	田沢湖町消防団第 5 分団 (ポンプ車)	第 5 位
昭和 51 年度	西木村消防団第 3 分団 (小型ポンプ)	第 8 位
	田沢湖町消防団第 5 分団 (ポンプ車)	第 2 位
昭和 52 年度	田沢湖町消防団第 6 分団 (小型ポンプ)	第 4 位
	田沢湖町消防団第 5 分団 (ポンプ車)	第 1 位
昭和 53 年度	太田町消防団第 5 分団 (小型ポンプ)	第 1 位
	西仙北町消防団第 2 分団 (ポンプ車)	第 9 位
昭和 54 年度	千畑町消防団第 1 分団 (小型ポンプ)	第 2 位
	西仙北町消防団第 2 分団 (ポンプ車)	第 9 位
昭和 55 年度	太田町消防団第 1 分団 (小型ポンプ)	第 2 位
	神岡町消防団第 1 分団 (ポンプ車)	第 9 位
昭和 56 年度	西仙北町消防団第 4 分団 (小型ポンプ)	第 4 位
	田沢湖町消防団第 5 分団 (ポンプ車)	第 2 位
昭和 57 年度	西仙北町消防団第 4 分団 (小型ポンプ)	第 7 位
	田沢湖町消防団第 5 分団 (ポンプ車)	第 2 位
昭和 58 年度	田沢湖町消防団第 6 分団 (小型ポンプ)	第 2 位
	神岡町消防団第 1 分団 (ポンプ車)	第 6 位
昭和 59 年度	西仙北町消防団第 4 分団 (小型ポンプ)	第 1 位
	神岡町消防団第 1 分団 (ポンプ車)	第 4 位
昭和 60 年度	田沢湖町消防団第 6 分団 (小型ポンプ)	第 3 位
	神岡町消防団第 1 分団 (ポンプ車)	第 3 位
昭和 61 年度	田沢湖町消防団第 6 分団 (小型ポンプ)	第 4 位
	西仙北町消防団第 6 分団 (ポンプ車)	第 7 位
	角館町堂の口婦人消防隊 (軽可搬ポンプ車)	最優秀賞
昭和 62 年度	太田町消防団第 5 分団 (小型ポンプ)	第 6 位
	南外村消防団本部分団 (ポンプ車)	第 7 位
	西仙北町八木山婦人消防隊 (軽可搬ポンプ車)	優秀賞
昭和 63 年度	田沢湖町消防団第 6 分団 (小型ポンプ)	第 8 位
	角館町雲然婦人消防隊 (軽可搬ポンプ車)	最優秀賞

年 度	優 勝 消 防 団	県大会順位
平成元年度	田沢湖町消防団第6分団 (小型ポンプ) 西仙北町大場台婦人消防隊 (軽可搬ポンプ)	第 4 位 最 優 秀 賞
平成2年度	田沢湖町消防団第6分団 (小型ポンプ) 角館町下川原婦人消防隊 (軽可搬ポンプ)	第 4 位 最 優 秀 賞
平成3年度	仙南村消防団第3分団 (小型ポンプ) 中仙町清水婦人消防隊 (軽可搬ポンプ)	第 4 位 優 秀 賞
平成4年度	仙南村消防団第3分団 (小型ポンプ) 中仙町清水婦人消防隊 (軽可搬ポンプ)	第 2 位 最 優 秀 賞
平成5年度	角館町消防団第3分団 (小型ポンプ)	第 5 位
平成6年度	仙南村消防団第3分団 (小型ポンプ)	第 2 位
平成7年度	仙南村消防団第3分団 (小型ポンプ)	第 8 位
平成8年度	仙南村消防団第3分団 (小型ポンプ)	第 1 位
平成9年度	千畑町消防団第3分団 (小型ポンプ)	第 4 位
平成10年度	田沢湖町消防団第6分団 (小型ポンプ)	第 4 位
平成11年度	仙南村消防団第3分団 (小型ポンプ)	第 1 位
平成12年度	仙南村消防団第3分団 (小型ポンプ)	第 2 位
平成13年度	田沢湖町消防団第6分団 (小型ポンプ)	第 3 位
平成14年度	千畑町消防団第3分団 (小型ポンプ)	第 7 位
平成15年度	田沢湖町消防団第6分団 (小型ポンプ)	第 2 位
平成16年度	千畑町消防団第3分団 (小型ポンプ)	第 3 位
平成17年度	美郷町消防団第10分団 (小型ポンプ)	第 7 位
平成18年度	仙北市田沢湖消防団第6分団 (小型ポンプ)	第 4 位
平成19年度	仙北市田沢湖消防団第6分団 (小型ポンプ)	第 1 位
平成20年度	仙北市消防団第4分団 (小型ポンプ)	第 2 位
平成21年度	大仙市消防団大曲支団2分団 (小型ポンプ)	第 4 位
平成22年度	仙北市消防団第4分団 (小型ポンプ)	第 7 位
平成23年度	大仙市消防団大曲支団第2分団 (小型ポンプ)	第 4 位
平成24年度	大仙市消防団大曲支団第2分団 (小型ポンプ)	第 2 位
平成25年度	美郷町消防団第2分団 (小型ポンプ)	第 3 位
平成26年度	美郷町消防団第2分団 (小型ポンプ)	第 1 位
平成27年度	美郷町消防団第2分団 (小型ポンプ)	第 1 位
平成28年度	美郷町消防団第2分団 (小型ポンプ) 大仙市女性消防団 (軽可搬ポンプ)	第 2 位 第 1 位
平成29年度	美郷町消防団第2分団 (小型ポンプ) 大仙市女性消防団 (軽可搬ポンプ)	第 1 位 第 2 位
平成30年度	美郷町消防団第2分団 (小型ポンプ) 大仙市女性消防団 (軽可搬ポンプ)	第 1 位 第 4 位
令和元年度	美郷町消防団第2分団 (小型ポンプ)	第 1 位
令和2年度	中止 (新型コロナウイルス感染症のため)	—

※ ■■■ 網かけ部分は全国消防操法大会出場分団

※仙南村消防団は、平成8年10月16日、横浜市で開催された全国消防操法大会、小型ポンプ操法の部でみごと優勝に輝く。



災 害 記 録



西暦	年 号	種 別	記 録
807	大同2年	噴 火	生保内駒ヶ岳
1618	元和4年	洪 水	西明寺洪水にて河流変る
1619	元和5年	〃	6月 角館洪水13人溺死する
1682	天和2年	火 災	3月12日 刈和野大火
1687	貞享4年	飢 饉	正月角館飢饉、長野村飢饉数百人死亡
〃	〃	洪 水	角館洪水4度あり
1704	宝永元年	火 災	3月13日 生保内村大火
1709	宝永6年	〃	9月 刈和野大火
1720	享保5年	大 雪	10月 仙北大雪により稲、雪の下となる
1724	享保9年	洪 水	5月 仙北地方大洪水
1732	享保17年	火 災	4月22日 生保内村大火
1736	元文元年	〃	5月22日 長野村46棟焼失
1738	元文3年	〃	5月20日 生保内村大火49棟焼失
1744	延享元年	〃	5月15日 生保内村大火
1745	延享2年	洪 水	玉川洪水
1767	明和4年	火 災	5月14日 生保内大火
1779	安永8年	〃	9月19日 六郷大火110棟焼失
1785	天明5年	洪 水	玉川洪水
1786	天明6年	火 災	4月9日 角館大火350棟焼失
〃	〃	〃	5月26日 長野大火39棟焼失
1788	天明8年	飢 饉	飢饉のため六郷の住民騒ぐ
1798	寛政10年	火 災	5月2日 角館150棟焼失
1810	文化7年	〃	5月1日 六郷139棟焼失
〃	〃	〃	7月6日 角館105棟焼失
1828	文政11年	洪 水	7月8日 大曲地方洪水
1840	天保12年	火 災	7月22日 六郷大火全町焼失
1854	安政元年	洪 水	6月17日 角館大洪水
1874	明治7年	火 災	3月27日 刈和野150棟焼失
1880	明治13年	大 雪	1月より仙北地方で2丈4尺の積雪
1882	明治15年	火 災	8月6日 角館260棟焼失
1885	明治18年	〃	6月13日 角館110棟焼失
1886	明治19年	〃	3月14日 六郷町120棟焼失
1896	明治29年	地 震	8月31日 17時6分六郷を震源とする地震〔陸羽地震〕マグニチュード7.2、死者209人、負傷者779人、住家全壊6,079棟 (仙北郡のみ死者184人、傷者603人、住宅全壊3,295棟)
1900	明治33年	火 災	5月21日 角館町262棟焼失、死者2名
1902	明治35年	〃	5月5日 刈和野246棟焼失
1904	明治37年	大 雨	土川村明光沢の大堰決壊、水田40町歩、畑10町歩流失
1907	明治41年	雷	六郷町で落雷のため死者1名
1909	明治42年	洪 水	4月8日 雄物川洪水、刈和野一峰吉川にて連結貨物乗員とともに峰吉川水中に転落する。

西暦	年 号	種 別	記 録
1914	大正3年	地 震	3月15日 4時58分、仙北郡強首・大沢郷村を中心に震度7の激震（秋田は震度6）〔秋田仙北地震（強首地震）〕 マグニチュード7.1。震域は南は新潟から北は青森まで東北一円に及んだ。被害は北の2都を除く1市7郡におよび、死者94名、傷者31名、住家全壊640棟、非住家全壊285棟
1921	大正10年	洪 水	4月4日 角館川床上浸水53棟、床下35棟
1922	大正11年	雷 雨	8月8日 桧木内村に大雷雨おこり堤防決壊橋梁流失等数ヶ所あり、刈和野町にて水田50町歩、畑30町歩浸水
〃	〃	強 風	12月15日～16日 大曲一角館間電灯線200本傾倒
1923	大正12年	洪 水	6月30日 花館水位5.8メートル
1924	大正13年	火 災	5月24日 六郷町120棟焼失
1927	昭和2年	水 害	7月14日 長野町200棟、角館床上10棟、床下70棟、山津波のため鉄道路線の被害大
1932	昭和7年	噴 火	7月下旬駒ヶ岳活動を始め泥流火山灰有毒ガス噴出するも被害なし
1935	昭和10年	火 災	5月17日 生保内村宿大火、役場・郵便局・農業組合・駐在所など110棟全焼
1946	昭和21年	〃	5月17日 北檜岡村火災167棟焼失
1947	昭和22年	水 害	7月24日 雄物川水系60年来の洪水T.P26.06m、刈和野町流失家屋112棟
1948	昭和23年	〃	9月16日～17日 アイオン台風により雄物川が増水し、大曲で水位5.3m
1951	昭和26年	火 災	5月4日 12時40分西明寺火災、全焼54棟、山林20町歩焼失
1952	昭和27年	降 雹	6月20日 角館、千屋方面雀卵大の降雹
〃	〃	火 災	10月2日 仙北医療組合病院火災、635坪全焼
〃	〃	〃	5月19日 刈和野町火災128棟焼失
1954	昭和29年	〃	2月8日 午前2時高梨小学校火災1,362坪全焼、宿直の助教諭死亡
〃	〃	〃	5月29日 午前3時30分角館町駅通り34棟焼失
〃	〃	〃	9月16日 9時20分刈和野中学校火災1,367坪全焼
1955	昭和30年	落 雷	6月10日 7時頃南外村雄物川つり舟に落雷、1名行方不明
〃	〃	火 災	7月15日 生保内町駅前大火23棟全焼
1956	昭和31年	大雨洪水	6月20日～21日 田沢湖周辺で140mmの豪雨あり、床下浸水54棟、水田冠水5町歩、道路損壊3、堤防決壊8
〃	〃	火 災	10月9日 田沢湖町生保内駅前大火、住家22棟全焼
〃	〃	〃	10月23日 角館町白岩中学校から出火6教室及び雨天体操場焼失
1957	昭和32年	雪 崩	1月30日 角館町山谷国有林地内作業小屋つぶれ1名死亡、2名重傷
〃	〃	火 災	5月10日 神岡町北檜岡で大火317棟全焼
〃	〃	〃	12月18日 大曲駅前仙北協同農業倉庫7棟、事務所及び政府保管米45,000俵焼失、損害2億500万円

西暦	年 号	種 別	記 録
1959	昭和34年	火 災	2月12日 大曲市内デパートから出火、6棟全半焼、1,232㎡焼失
1960	昭和35年	〃	5月9日 0時頃仙南村飯詰上深井から出火、住家など35棟20世帯を全焼し1時50分鎮火した。
〃	〃	大 雨	8月3日 田沢湖町生保内字沼田地内で生保内川が氾濫し、死者11名、行方不明4名、流出、埋没、耕地140haなど総被害額4億5千万円
〃	〃	火 災	8月7日 午後3時40分頃協和村火災、住家5棟、非住家6棟全焼
1961	昭和36年	〃	2月12日 大曲市内デパートから出火、7棟全半焼2,433㎡焼失
〃	〃	雪 崩	3月3日 午後1時西仙北町大沢郷雪崩、1名死亡
〃	〃	水 害	4月4日～5日 田沢湖周辺に大雨が降り死者1名、家屋浸水65棟、田畑冠水230ha、道路決壊12ヶ所、橋梁損壊8ヶ所、堤防決壊6ヶ所、山崩れ2ヶ所発生
〃	〃	火 災	7月24日 午前1時2分頃大曲市大曲字土屋館歯科医院より出火。全焼3棟、半焼1棟、部分焼1棟、死者2名、傷者2名
1963	昭和38年	大 雨	7月16日から17日の朝まで60mmの大雨となり、大曲仙北地区で死者2名のほか、住家の床上浸水15棟、床下浸水245棟、非住家88棟、水田147.7ha、畑950ha、農業用施設14ヶ所、道路決壊21ヶ所、橋梁損壊8ヶ所、堤防決壊110ヶ所、砂防1ヶ所など5億5,836万円余りの被害がでた。
1964	昭和39年	火 災	1月3日 午前11時頃仙南村日通飯詰駅前倉庫より出火。米一万俵以上、肥料等1億円以上が消失
〃	〃	地 震	6月16日 13時2分新潟沖を震源とする地震〔新潟地震〕、仙北地方震度3
〃	〃	水 害	7月14日 桧木内125mm、田沢湖113mm、鎧畑106mmの降雨があり、被害総額全県6億6,200万円に達した。
1965	昭和40年	火 災	1月9日 大曲市高関上郷から出火、死者1名、住家、非住家1棟をそれぞれ焼失した。
〃	〃	豪 雪	3月16日～18日 豪雪のため交通マヒ状態になっている大曲市は、陸上自衛隊秋田駐屯地に対し、除雪作業を要請し16日から3日間100人の隊員が除雪に当たった。
〃	〃	火 災	3月31日 午後2時10分頃神岡町本郷から出火、死者1名、住家1棟全焼、非住家1棟半焼した。
〃	〃	〃	4月13日 午後11時10分頃西仙北町刈和野から出火、死者1名、住家7棟、非住家1棟を全焼した。
〃	〃	融 雪	4月14日 大曲市内小友中山地内の貯水池の排水道付近が融雪による水の増加により、住家2棟、非住家2棟が床下浸水し、水田埋没0.75ha、道路50m（県道大曲～大森線）が冠水した。また、中山地区、堂の沢溜池西側堤防（巾40m、高さ8m）が急激に増水した雪解け水で破れ、溜池の下流地区の水田1.2haが土砂で埋没した。

西暦	年 号	種 別	記 録
1965	昭和40年	融 雪	4月20日 大曲市中山地内で、かんがい用溜池が雪解け水のため決壊した。
〃	〃	水 害	7月14日から15日にかけて県南部に降った雨により、丸子川が氾濫し大曲市・仙北村に災害救助法が発動された。
〃	〃	〃	7月28日 田沢湖駒ヶ岳、乳頭山など山岳地帯に集中豪雨があり、県道西山～生保内線、国道46号線、仙岩峠等で道路決壊、土砂崩れがあった。
1966	昭和41年	強 風	1月6日 大曲飯田縫製工場が強風のため倒壊した。損害額130万円
〃	〃	火 災	1月12日 午後1時15分頃、角館町中学校体育館から出火、同体育館が全焼した。損害額1,000万円、原因はたばこの不始末
〃	〃	水 害	7月12日 午後7時10分頃、中仙町長野齊内川堤防が巾25mにわたり決壊し、近くの聖浄寺の本堂の地下がえぐられ、木造の本堂が半壊した。
〃	〃	火 災	8月21日 12時10分協和村荒川字水沢から出火、住家など40棟17世帯を全焼、17時鎮火した。原因は子どもの火遊び
1967	昭和42年	竜 卷	10月31日 角館町岩瀬に竜巻発生、住宅の屋根1棟吹き飛ばされた。
1968	昭和43年	地 震	5月16日 9時49分青森県東方沖を震源地とする地震〔十勝沖地震〕マグニチュード7.9、秋田震度4、鎧畑震度2を記録した。
〃	〃	火 災	8月2日 大曲市内店舗から出火、3棟全半焼767㎡焼失
1970	昭和45年	集中豪雨	8月1日 田沢湖周辺に162mmの豪雨があり、仙岩峠六枚沢で土砂崩れ
〃	〃	噴 火	9月18日 田沢湖駒ヶ岳が、昭和7年以来38年ぶりに噴火活動
〃	〃	地 震	10月16日 14時26分秋田県内陸南部（東成瀬村）を震源地とする地震、マグニチュード6.2
1971	昭和46年	集中豪雨	7月3日～4日 集中豪雨、大曲市内で200mmの降雨があり、被害は全郡に及んだ。
1972	昭和47年	水 害	7月7日～9日にわたり秋田県全域に大雨をもたらす雄物川、玉川水系の河川が氾濫し、大曲市・角館町・西仙北町・中仙町で被害を受ける。
1974	昭和49年	豪 雪	昨年12月上旬から近年にない大雪となり、積雪は連日の降雪で増加の一途をたどり、特に1月下旬から2月半ばにかけては大規模な寒波が襲来し、明治以来の豪雪になった。里雪型の豪雪であったため、除排雪が難渋し人身事故が数多く発生、住家の倒壊・浸水等のほか農林業、公共施設などに甚大な被害を与えた。〔48豪雪〕
〃	〃	火 災	6月7日 大曲市内印刷工場から出火2棟1,305㎡焼失
1975	昭和50年	〃	2月14日 千畑村土崎で火災、死者4名、傷者1名
1976	昭和51年	火 災	12月1日 南外村医院より出火、138㎡焼失、死者4名、傷者2名
1977	昭和52年	〃	12月29日 田沢湖町先達沢旅館放火される。1棟719㎡全焼
1979	昭和54年	〃	7月25日 協和町船沢で旅館が放火される。517㎡全焼

西暦	年 号	種 別	記 録
1979	昭和54年	火 災	9月5日 田沢湖町神代樺細工工場火災1,234㎡全焼
1980	昭和55年	〃	4月26日 西仙北町刈和野で火災、6棟1,279㎡全焼
1981	昭和56年	〃	10月25日 中仙町豊川火災、住家及び非住家2棟全半焼、死者2名
〃	〃	〃	11月13日 太田町長信田火災、住家及び非住家2棟全半焼、死者2名
1982	昭和57年	〃	4月14日 角館町西長野火災、住家1棟全焼、死者4名
〃	〃	〃	11月14日 大曲市須和町火災、住家3棟729㎡全半焼、死者1名、傷者1名
〃	〃	〃	12月10日 太田町小神成火災、住家及び非住家4棟全半焼、焼失面積1,166㎡
1983	昭和58年	〃	2月20日 大曲市あけぼの町料理店火災、1,050㎡全焼
〃	〃	〃	4月15日 仙北町板見内で空き家放火される。住家及び非住家4棟全焼、焼失面積488㎡
〃	〃	地 震	5月26日 11時59分秋田県沖を震源とする地震〔日本海中部地震〕マグニチュード7.7 県内被害：死者83名、負傷者265名、住家全壊1,132棟、住家半壊2,632棟
1985	昭和60年	火 災	4月23日 角館町岩瀬で倉庫が放火される。倉庫1棟1,412㎡全焼
〃	〃	〃	11月16日 太田町県立大曲農業高等学校太田分校火災1,990㎡全焼
1986	昭和61年	〃	12月18日 大曲市中通町火災、住家1棟全焼、死者1名、傷者2名
1987	昭和62年	〃	1月21日 田沢湖駒ヶ岳高原田沢荘火災1,178㎡全焼
〃	〃	水 害	8月17日～18日にわたり秋田県全域に大雨をもたらし、雄物川玉川水系の河川が氾濫し圏内12市町村が被害を受け、浸水面積4,686ha、床上浸水319棟、床下浸水468棟、被災人口3,260名に及んだ。
〃	〃	火 災	10月20日 大曲市丸の内町火災、住家1棟全焼、死者2名
1989	平成元年	〃	2月25日 角館町白岩火災、住家及び非住家3棟全半焼、死者3名
〃	〃	〃	3月3日 大曲市丸の内町、飲食ビル火災、住宅及び非住宅3棟全半焼
〃	〃	〃	5月19日 大曲市丸の内町、料理店火災、住家5棟全半焼、焼失面積1,195㎡、死者1名
〃	〃	〃	6月8日 角館町藪田火災、住家1棟全焼、死者2名
〃	〃	〃	6月29日 田沢湖町卒田火災、住家1棟全焼、死者1名
1990	平成2年	火 災	1月7日 千畑町金沢東根火災、住家1棟全焼、死者1名
〃	〃	〃	2月27日 角館町山根町火災、住家1棟全焼、死者1名、傷者1名

西暦	年 号	種 別	記 録
1990	平成 2 年	水 害	7月18日～19日の大雨により、田沢湖町、西木村に被害を受け、床上浸水3棟、床下浸水7棟、道路損壊9ヶ所、河川損壊7ヶ所におよんだ。
〃	〃	火 災	11月30日 角館町白岩火災、車両1台全焼、死者1名
1991	平成 3 年	火 災	12月21日 中仙町火災、住家1棟全焼、住家1棟部分焼、死者1名
〃	〃	強 風	9月28日 台風19号により、建物の全半壊が506棟、農林産を含め損害額約48億円におよんだ。最大瞬間風速51.4m/sを観測
1992	平成 4 年	火 災	1月19日 角館町火災、住家1棟全焼、死者1名、負傷者1名
〃	〃	〃	11月3日 千畑町火災、非住家1棟全焼、死者1名
1993	平成 5 年	〃	3月23日 仙北町火災、住家1棟全焼、死者1名
〃	〃	作業事故	7月7日 田沢湖町玉川地区にて建設中に橋梁が崩落し9名が転落、死者4名
〃	〃	火 災	8月19日 南外村火災、住家1棟全焼、死者1名
〃	〃	〃	9月23日 田沢湖町火災、住家1棟全焼、死者1名
〃	〃	〃	10月14日 六郷町火災、住家1棟全焼、死者1名
〃	〃	〃	10月27日 角館町火災、住家1棟全焼、死者1名
〃	〃	〃	12月17日 南外村火災、住家1棟全焼、死者1名
1994	平成 6 年	〃	1月14日 協和町火災、ホテル1棟592㎡全焼
〃	〃	〃	4月9日 大曲市火災、軽自動車1台焼損、死者1名
〃	〃	〃	12月5日 中仙町火災、住家1棟全焼、死者1名
1995	平成 7 年	〃	3月13日 中仙町火災、住家1棟全焼、死者2名
〃	〃	〃	3月18日 神岡町火災、住家1棟全焼、死者1名
〃	〃	〃	6月27日 仙北町火災、工場併用住宅等3棟全焼1,057㎡、死者1名
〃	〃	〃	7月4日 田沢湖町火災、住家1棟全焼、死者1名
〃	〃	〃	9月2日 千畑町火災、住家1棟全焼、死者1名
〃	〃	〃	12月10日 神岡町火災、住家1棟全焼、死者1名
1997	平成 9 年	火 災	2月24日 西仙北町火災、住家1棟全焼、死者2名
〃	〃	〃	3月14日 協和町火災、住家1棟全焼、死者1名
〃	〃	土砂崩落	5月14日 田沢湖町先達川上流土砂崩落、孫六、妙ノ湯温泉に避難要請
〃	〃	水 害	9月2日～3日 集中豪雨、中仙町、角館町、大曲市を中心に床上浸水28棟、床下浸水219棟、道路損壊10カ所
〃	〃	火 災	12月12日 太田町火災、住家1棟、非住家1棟全焼、死者1名
1998	平成10年	火 災	2月19日 大曲市火災、住家1棟全焼、死者1名
〃	〃	〃	3月9日 協和町火災、住家1棟全焼、死者1名
〃	〃	家屋微動	4月15日 太田町真木地区で家屋微動6世帯22人に避難勧告
〃	〃	火 災	11月8日 角館町火災、住家1棟全焼、死者2名
1999	平成11年	火 災	6月3日 西木村火災、住家1棟、非住家1棟全焼、死者1名
2000	平成12年	火 災	2月23日 西仙北町火災、住家1棟、非住家1棟全焼、死者1名

西暦	年 号	種 別	記 録
2000	平成12年	火 災	10月19日 協和町火災、住家1棟全焼、死者2名
〃	〃	〃	12月21日 大曲市秋田自動車道車両火災、死者1名
2001	平成13年	〃	1月22日 大曲市火災、住家及び店舗5棟全焼
〃	〃	〃	5月7日 太田町火災、住家1棟全焼、死者1名
〃	〃	〃	12月16日 西木村火災、住家1棟、非住家1棟全焼、死者1名、 負傷者1名
〃	〃	〃	12月20日 中仙町火災、住家1棟全焼、死者2名
2002	平成14年	台 風	7月11日 千畑町、台風6号により増水した川に転落、死者1 名
〃	〃	火 災	10月3日 千畑町火災、住宅1棟全焼、死者1名
〃	〃	〃	11月3日 角館町火災、町営住宅1棟部分焼、死者1名、負傷 者1名
2003	平成15年	火 災	1月2日 六郷町火災、住家1棟全焼、死者1名
〃	〃	地 震	5月26日 18時24分宮城県沖を震源とする地震〔三陸南地震〕 マグニチュード7.1、国内最大震度6強（大仙市5強、仙北市、 美郷町4）（塀崩壊・落石等の被害、負傷者2名）
〃	〃	林野火災	5月30日 田沢湖町火災、田沢字先達地内林野134a焼損
〃	〃	火 災	7月23日 角館町火災、町営住宅3棟全焼、4棟部分焼、死者 1名
〃	〃	〃	10月29日 神岡町火災、豚舎1棟5,334㎡全焼、豚約4,800頭焼死
2004	平成16年	火 災	1月25日 大曲市火災、住家2棟全焼、1棟部分焼、死者1名、 負傷者2名
〃	〃	〃	4月25日 太田町火災、住家1棟部分焼、死者1名
〃	〃	〃	10月18日 角館町火災、住宅1棟全焼、1棟部分焼、死者1名
〃	〃	〃	11月8日 大曲市火災、住家1棟全焼、死者2名
2005	平成17年	雪山遭難	3月29日 田沢湖町乳頭山で登山中の43名が行方不明、翌日全 員無事下山
2006	平成18年	雪 崩	2月10日 仙北市田沢湖鶴の湯温泉で雪崩発生、死者1名、負 傷者16名
〃	〃	豪 雪	平成17年12月～平成18年3月にかけて豪雪による雪害が頻発 〔平成18年豪雪〕管内雪害件数105件、死者8名、負傷者77名
〃	〃	火 災	3月12日 大仙市火災、住家1棟全焼、1棟部分焼、死者1名
〃	〃	〃	8月2日 仙北市火災、住家1棟全焼、死者1名
〃	〃	〃	8月21日 大仙市火災、住家1棟全焼、2棟部分焼、死者1名
2007	平成19年	〃	3月28日 大仙市火災、住家1棟全焼、死者1名
〃	〃	〃	4月23日 大仙市火災、住家1棟全焼、死者2名
〃	〃	〃	5月22日 大仙市火災、住家1棟全焼、死者2名
〃	〃	〃	11月26日 大仙市火災、住家1棟全焼、1棟部分焼、非住家1 棟全焼、1棟部分焼、死者1名
2008	平成20年	火 災	1月4日 美郷町火災、住家1棟全焼・2棟部分焼、死者1名
〃	〃	林野火災	5月2日 仙北市田沢湖地区火災、田沢湖尻高沢国有林1,081a 焼損（秋田防災ヘリ、岩手防災ヘリが空中消火活動実施）

西暦	年 号	種 別	記 録
2008	平成20年	火 災	6月5日 美郷町火災、住家1棟全焼、死者1名
〃	〃	地 震	6月14日 8時43分 岩手県内陸南部を震源とする地震〔岩手・宮城内陸地震〕、マグニチュード7.2、国内最大震度6強（大仙市・美郷町5弱、仙北市4）死者17名、行方不明6名、全壊30棟、半壊146棟、火災4件 緊急消防援助隊として、指揮隊・救助隊・消火隊・救急隊・後方支援隊計5隊が出動、宮城県栗原市駒の湯温泉現場にて救助活動を行う
〃	〃	〃	7月24日 0時26分 岩手県沿岸北部を震源とする地震、マグニチュード6.8、国内最大震度6弱（大仙市・美郷町4）死者1名、全壊1棟、火災2件 緊急消防援助隊として、指揮隊・救助隊・消火隊・後方支援隊計4隊が出動
2009	平成21年	火 山	10月27日 気象庁は、秋田駒ヶ岳に「噴火警戒レベル」を導入し、噴火時等にとるべき防災対応を踏まえた5段階レベル（5避難・4避難準備・3入山規制・2火口周辺規制・1平常）のうち、現在のレベルを「1平常」とした
〃	〃	火 災	11月9日 大仙市火災、住家1棟全焼、3棟部分焼、非住家1棟全焼、1棟半焼、1棟部分焼、焼損面積919㎡
2010	平成22年	〃	7月1日 美郷町火災、住家1棟全焼、死者2名
〃	〃	〃	8月29日 大仙市火災、住家1棟全焼、1棟部分焼、非住家2棟全焼、死者1名、負傷者1名
2011	平成23年	地 震	3月11日 14時46分 三陸沖を震源とする地震〔東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）〕、マグニチュード9.0、国内最大震度7（大仙市5強、仙北市4、美郷町4）死者19,335名、行方不明2,600名、住家全壊124,690棟、住家半壊275,118棟 （H27.9.9現在、総務省消防庁調べ） 緊急消防援助隊として、指揮隊・救助隊・消火隊2隊・救急隊・後方支援隊3隊計8隊が出動
〃	〃	火 災	3月11日 大仙市火災、住家1棟全焼、1棟部分焼、非住家1棟部分焼、死者1名
〃	〃	地 震	4月7日 宮城県を震源とする地震（東北地方太平洋沖地震の余震）、マグニチュード7.4、国内最大震度6強（大仙市5強、仙北市5弱、美郷町4）
〃	〃	水 害	6月23日から24日にかけての梅雨前線による大雨により、大仙市で住家床上浸水115棟、床下浸水282棟、非住家浸水153棟
2012	平成24年	雪 崩	2月1日 仙北市田沢湖玉川温泉岩盤浴場で雪崩発生、死者3名
〃	〃	雪山遭難	2月12日 秋田県駒ヶ岳で登山中の1名が行方不明、13日発見死亡
〃	〃	火 災	8月10日 大仙市大曲地区火災 住家1棟全焼、部分焼3棟、ぼや2棟、非住家4棟全焼、1棟部分焼

西暦	年 号	種 別	記 録
2012	平成24年	風 害	4月3日～4日にかけて、急速に発達した低気圧の影響により、管内各地で強風による被害が発生。(瞬間最大風速39m/s 4月4日2時03分消防本部観測) 大仙市にて非住家全壊71棟、半壊33棟、住家一部破損475棟、重傷1名、軽傷2名 仙北市にて住家一部破損多数、非住家全壊・半壊多数 美郷町にて住家・非住家被害289棟
2013	平成25年	火 災	2月21日美郷町六郷地区火災 住家1棟全焼、部分焼2棟、非住家2棟全焼、部分焼1棟、死者1名、負傷者1名
〃	〃	火 山	7月25日、気象庁は秋田焼山に「噴火警戒レベル」を導入し、噴火時等にとるべき防災対応を踏まえた5段階レベル(5避難・4避難準備・3入山規制・2火口周辺規制・1平常)のうち、現在のレベルを「1平常」とした
〃	〃	土 石 流	8月9日、仙北市田沢湖田沢字供養仏地内にて土石流が発生、死者6名、負傷者2名 9日から19日にかけて広域消防延べ195人、消防団延べ455人、警察260人、自衛隊474人、その他重機オペレーター等33人が捜索救助活動を実施 鎧畑観測所では、最大24時間降水量292mm、日降水量278mm、最大時間降水量88mmと観測史上最大の降水量を記録した
2014	平成26年	火 災	1月14日 美郷町六郷地区火災、住宅1棟全焼、死者1名
2015	平成27年	作業事故	3月18日、仙北市田沢湖生保内字駒ヶ岳地内乳頭温泉郷カラ吹き源泉にて、源泉を調整中の作業員が倒れる 死者3名、負傷者1名
〃	〃	林野火災	4月28日、大仙市協和地区火災、奥山沢国有林1.11ha、私有林12ha、計13.11ha焼損 (秋田防災ヘリ、山形防災ヘリ、自衛隊ヘリ3機、計5機が空中消火活動実施)
2016	平成28年	火 災	1月12日、美郷町六郷地区火災、住宅3棟全焼、部分焼1棟、死者2名
〃	〃	〃	2月2日、大仙市協和地区火災、住宅1棟全焼、死者1名
〃	〃	〃	6月4日、大仙市協和地区火災、豚舎4棟6,301㎡全焼、部分焼1棟、豚約3,730頭焼死
2017	平成29年	火 災	6月27日、大仙市仙北地区火災、住宅1棟全焼、部分焼3棟、死者1名
		水 害	7月22日から23日にかけての大雨により、大仙市で住家床上浸水66棟、床下浸水175棟、仙北市で住家床上浸水24棟、床下浸水85棟、非住家半壊1棟、美郷町で床下浸水3棟の建物被害を受ける。これにより要救助者92名を救出
2018	平成30年	火 災	1月5日、大仙市大曲地区火災、住宅1棟、部分焼3棟、死者1名、負傷者1名

西暦	年 号	種 別	記 録
2018	平成30年	地 震	9月6日 北海道胆振地方中東部を震源とする地震（北海道胆振東部地震）、マグニチュード6.7、国内最大震度7、死者41名、住家全壊415棟、住家半壊1,346棟 （H30.11.6現在、総務省消防庁調べ） 緊急消防援助隊として、救助隊（一次隊及び二次隊）が出動
2019	令和元年	台 風	10月13日～18日 令和元年東日本台風（台風19号）に伴い宮城県伊具郡丸森町へ緊急消防援助隊として指揮隊、消火隊、救急隊、後方支援隊が出動（1次隊及び2次隊、延べ8隊30名）
〃	〃	火 災	12月22日 大仙市大曲地域火災 住宅4棟全焼、4棟部分焼、非住家1棟全焼、1棟部分焼、負傷者1名
2020	令和2年	火 災	10月26日、仙北市西木地域火災 住宅1棟全焼、死者1名

※平成以降の建物火災については死者が発生したもの（自損を除く）及び特異な火災を列記。

※平成11年秋田県消防防災航空隊発足以降の林野火災については、大規模特殊災害時における広域航空消防応援に基づき応援を受けたものを記載。

表紙写真：令和2年度田沢湖分署に更新配備となったはしご車  
背景「仙北市田沢湖」

裏表紙写真：大仙市四季

- |   |                    |
|---|--------------------|
| ① | ①春「大台スキー場から望む田園風景」 |
| ② | ②夏「大曲の花火」          |
| ③ | ③秋「旧池田庭園の紅葉」       |
| ④ | ④冬「玉川橋から望む冬景色」     |

以上写真提供：裏表紙／大仙市

## 消 防 年 報

令 和 3 年 度

令和3年4月1日

発行 大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

〒014-0061 秋田県大仙市大曲栄町 13-47

TEL (0187) 63-0150

FAX (0187) 62-3493

E-mail:hombu@os-fd119.jp

